

令和 7 年度
羽村市市政世論調査
報告書

令和 7 年 9 月
羽 村 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施状況	1
4	調査項目	1
5	本報告書を読む際の留意点	1
6	分析記述及び図表中の記号について	3
7	標本誤差について	3
8	地区・ブロック別の回収状況	4
9	回答者の属性	5
	(1) 性別	5
	(2) 年齢	5
	(3) 婚姻の有無	5
	(4) 職業	6
	(4)-①通勤・通学地	7
	(5) 家族人数	7
	(6) 居住年数	8
	(7) 居住形態	8
	(8) 居住地区	9
II	羽村市市政世論調査の結果	10
1	定住性と住みよさ	10
	(1) 住みよさ	10
	(1)-①住みよい理由	12
	(1)-②住みにくい理由	13
	(2) 定住意向	14
	(2)-①定住意向の回答理由	16
2	市の取組に対する満足度・重要度	18
	(1) コンセプト1：自分らしく生きる	18
	(2) コンセプト2：成長をはぐくむ	20
	(3) コンセプト3：スマートに過ごす	22
	(4) コンセプト4：にぎわいを創る	24
	(5) コンセプト5：暮らしを守る	26
	(6) 自治体運営の方針	28
	(6) 満足度と重要度から見たゾーニング分析	30
	(6)-①【ゾーニング分析】コンセプト1：自分らしく生きる	31
	(6)-②【ゾーニング分析】コンセプト2：成長をはぐくむ	32
	(6)-③【ゾーニング分析】コンセプト3：スマートに過ごす	33

(6) - ④【ゾーニング分析】コンセプト4：にぎわいを創る	34
(6) - ⑤【ゾーニング分析】コンセプト5：くらしを守る	35
(6) - ⑥【ゾーニング分析】自治体運営の方針	36
3 羽村市の魅力・羽村らしさ	37
(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事	37
(2) 希望する将来の市のまちづくり	40
4 暮らしへの満足度・幸福度について	43
(1) 幸福度	43
(2) 地域の暮らしへの満足度	45
5 市政への関心度	47
(1) 市政への関心度	47
(2) 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組	49
(3) 市政への参加・協働意向	52
(4) 市政に関する情報の入手手段	54
6 市民活動	56
(1) 市民活動への参加状況	56
(2) 町内会・自治会組織への不参加理由	58
(3) 市民活動への不参加理由	60
7 男女共同参画	62
(1) 各分野における男女平等感	62
(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと	64
(3) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと	66
(4) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度	68
(5) 男女間の暴力を防止するために必要なこと	69
(6) 主な家事従事者	71
(7) 男女共同参画に必要なこと	77
(8) 男女共同参画に関する用語の認知度	79
8 行財政改革	81
(1) 行財政改革に対する考え	81
9 水道事業	84
(1) 市水道事業の水源の周知度	84
(2) 市水道水の印象	85
10 環境	86
(1) 環境への取組として重点をおくべきもの	86
(2) 「グリーン購入」制度の認知度	88
(2) - ①「グリーン購入」の製品の購入状況	89
11 高齢者福祉	90
(1) 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組	90
(2) 老後の暮らし方	92

12	障害者福祉	94
	(1) 今後必要な障害者福祉に関する取組.....	94
13	子育て支援	96
	(1) 今後必要な子育て支援に関する取組.....	96
14	防災・防犯対策	99
	(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの.....	99
	(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの.....	101
15	都市基盤	104
	(1) 市の都市基盤整備に望むこと.....	104
	(2) 市の道路整備で優先すべきもの.....	107
	(3) まちの活性化のために必要な取組.....	110
16	生涯学習	112
	(1) 「学び」に関する活動の実施.....	112
	(2) 「学び」を行う目的.....	113
	(2)-①「学び」の分野.....	114
	(3) これからの「学び」に取り組むための目的	115
	(3)-①「学び」に取り組まなかった理由.....	116
	(4) 月間の読書冊数.....	117
	(4)-①読書の目的.....	118
	(4)-②本の入手方法.....	119
	(5) スポーツ・運動の頻度.....	121
	(5)-①スポーツ・運動を行う理由.....	123
	(5)-②この1年間に行ったスポーツ・運動の種目.....	124
Ⅲ	調査票	125

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、今後の市の取組や施策に生かすことを目的に実施しました。

2 調査対象

住民基本台帳から層化二段無作為抽出した、羽村市在住の満18歳以上の男女1,200人。
(令和7年6月1日基準日)

3 調査の実施状況

実施時期	実施方法	回収状況
令和7年6月30日から 令和7年7月18日まで	郵送配付・ 郵送／インターネット併用回収	有効回収数 545件 (郵送351件、インターネット194件) 有効回収率 45.4%

4 調査項目

調査項目	
(1)定住性と住みやすさ	(10)環境
(2)市の取組に対する満足度・重要度	(11)高齢者福祉
(3)羽村市の魅力・羽村らしさ	(12)障害者福祉
(4)暮らしへの満足度・幸福度について	(13)子育て支援
(5)市政への関心度	(14)防災・防犯対策
(6)市民活動	(15)都市基盤
(7)男女共同参画	(16)生涯学習
(8)行財政改革	(17)あなた自身のことについて
(9)水道事業	

5 本報告書を読む際の留意点

- 図表中の「n」は、設問への回答者数を表しています。
- 図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、いずれも回答率(%)を表示しています。
- 回答率(%)は、全て小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までを表示しています。したがって、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 回答には、単数回答と複数回答があり、複数回答は、回答率が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計では、分析軸の「その他」や「無回答」等を省略している場合があります、分析軸のnの合計値と全体が一致しない場合があります。
- クロス集計の回答者数が傾向を分析する上で十分とは言えない30サンプル未満の結果も含まれますが、参考値として掲載しています。また、本報告書全体について、分析記述の考え方は「6. 分析記述及び図表中の記号について」のとおりとします。

- 各回答率について、小数点以下第二位を四捨五入し、小数点以下第一位までを表示しています。そのため、図表中では「6. 分析記述及び図表中の記号について」の条件を満たしている場合でも、文章として記述していない場合もあります。
- ゾーニング分析については、小数点以下第二位までの表示となっていますが、より正確な分析を行うため、小数点以下第三位までを考慮して分析しています。
- 図表のタイトル及び回答の選択肢は、調査票の表記から簡略化して表現している場合があります。
- 「Ⅱ 羽村市市政世論調査の結果」での地区・ブロック名は、表記の都合上、本文中の分析記述及び図表中において以下のように簡易的に表示しています。

地区・ブロック名		分析記述・図表中での表示名
神明台1～4丁目	→	神明台
双葉町1～3丁目	→	双葉町
五ノ神1～4丁目	→	五ノ神
富士見平1～3丁目 羽 4131～4184・五ノ神番地	→	富士見平・羽 4000 番台
緑ヶ丘1～5丁目	→	緑ヶ丘
栄町1～3丁目	→	栄町
小作台1～5丁目	→	小作台
羽西1～3丁目	→	羽西
羽加美1～4丁目	→	羽加美
羽中1～4丁目	→	羽中
羽東1～3丁目	→	羽東
川崎1～4丁目	→	川崎
玉川1～2丁目・羽 690～744	→	玉川・羽 600～700 番台
横田基地内	→	横田基地内

※「横田基地内」は回答者がいなかったため、図表中では表示を省略しています。

6 分析記述及び図表中の記号について

- クロス集計の結果については、全体との比較を中心に分析記述を行っており、属性（性別、性・年代別、居住地区、居住年数、定住意向）ごとに回答差が最も大きい項目及び、他の項目と比較し特筆すべき特徴を有すると判断した項目を分析記述の対象としています。
- クロス集計の回答者数が傾向を分析する上で十分とは言えない30サンプル未満のものについては、分析記述の対象としていません。
- 記述の目安は、以下の表のとおりとなっています。

全体値より	☆：+20%以上高い（とても高い）	★：-20%以上低い（とても低い）
	○：+15～20%高い（高い）	●：-15～20%低い（低い）
	□：+10～15%高い（やや高い）	■：-10～15%低い（やや低い）

- 時系列比較の記述の目安は、以下の表のとおりとなっています。

前回（R2）、前々回（H27）と比較し、 今回（R7）の値が	±20%	：とても高い／とても低い
	±15～20%	：高い／低い
	±10～15%	：やや高い／やや低い

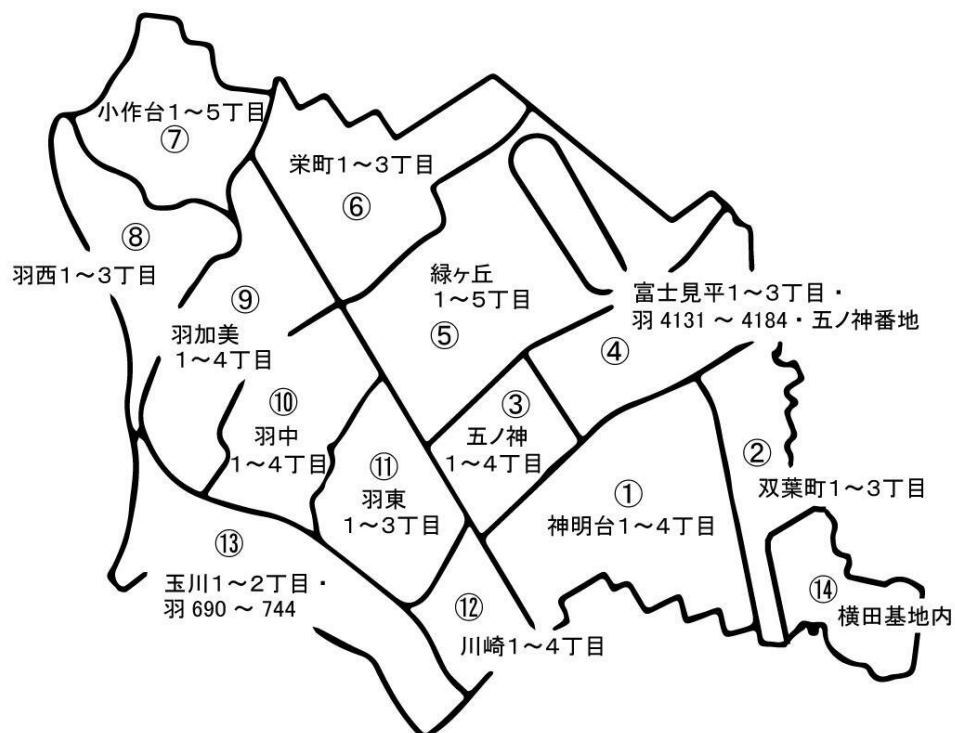
7 標本誤差について

例えば、今回の調査の回答者数（n）を100%とする比率で、ある設問の回答が50%であった場合、母集団（調査の対象となる集団の全体：羽村市在住の18歳以上の男女約47,000人）のこの質問に対する回答は、43.9%（50%－6.1%）～56.1%（50%＋6.1%）の間にあると考えられます。

回答割合	10%または 90%の場合	20%または 80%の場合	30%または 70%の場合	40%または 60%の場合	50%の場合
標準誤差	±3.6%	±4.9%	±5.6%	±5.9%	±6.1%

8 地区・ブロック別の回収状況

地区・ブロック名	対象者（人）			回収数（票）				回収率（％）			
	計	男性	女性	計	男性	女性	不明	計	男性	女性	不明
① 神明台１～４丁目	191	93	98	80	31	46	3	41.9	33.3	46.9	1.6
② 双葉町１～３丁目	61	30	31	29	12	16	1	47.5	40.0	51.6	1.6
③ 五ノ神１～４丁目	83	40	43	40	16	23	1	48.2	40.0	53.5	1.2
④ 富士見平１～３丁目 羽 4131～4184・五ノ神番地	91	46	45	41	19	19	3	45.1	41.3	42.2	3.3
⑤ 緑ヶ丘１～５丁目	140	72	68	61	23	31	7	43.6	31.9	45.6	5.0
⑥ 栄町１～３丁目	111	58	53	50	24	24	2	45.0	41.4	45.3	1.8
⑦ 小作台１～５丁目	141	73	68	55	23	32	0	39.0	31.5	47.1	0.0
⑧ 羽西１～３丁目	60	31	29	29	15	13	1	48.3	48.4	44.8	1.7
⑨ 羽加美１～４丁目	92	45	47	45	18	26	1	48.9	40.0	55.3	1.1
⑩ 羽中１～４丁目	81	40	41	35	13	22	0	43.2	32.5	53.7	0.0
⑪ 羽東１～３丁目	74	37	37	35	16	16	3	47.3	43.2	43.2	4.1
⑫ 川崎１～４丁目	44	21	23	22	8	13	1	50.0	38.1	56.5	2.3
⑬ 玉川１～２丁目・ 羽 690～744	30	14	16	17	7	10	0	56.7	50.0	62.5	0.0
⑭ 横田基地内	1	0	1	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答				6	1	2	3	0.5	0.2	0.3	0.6
合計	1,200	600	600	545	226	293	26	45.4	37.7	48.8	2.2

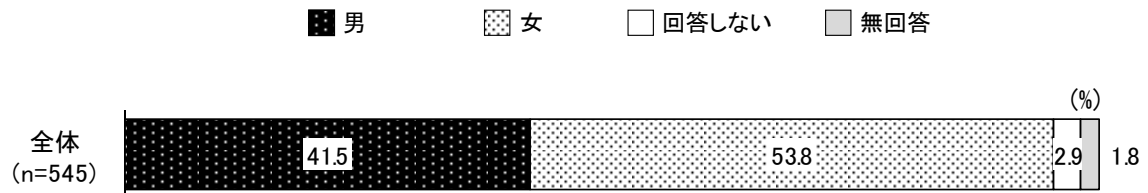


9 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりです。

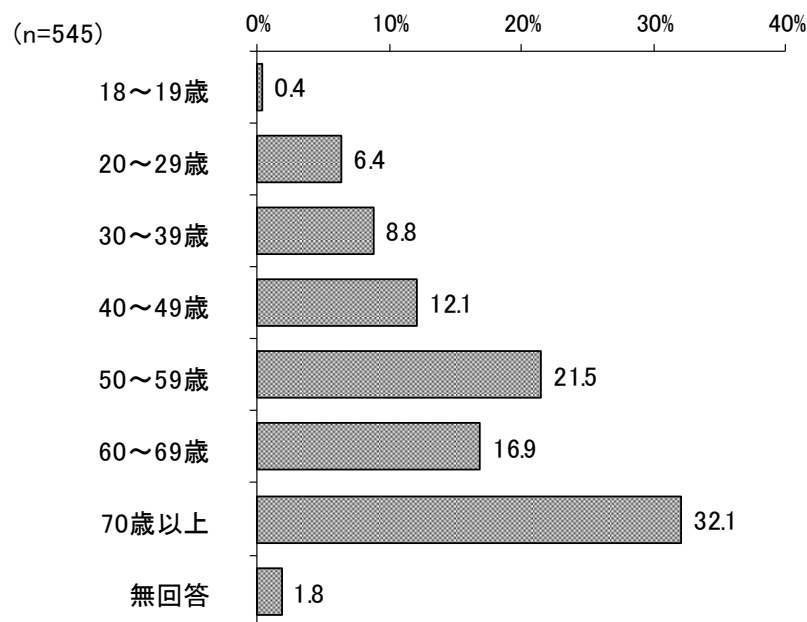
(1) 性別

全体では、「女性」が53.8%、「男性」が41.5%となっています。



(2) 年齢

全体では、「70歳以上」が32.1%と最も高く、次いで「50～59歳」(21.5%)、「60～69歳」(16.9%)と続いています。



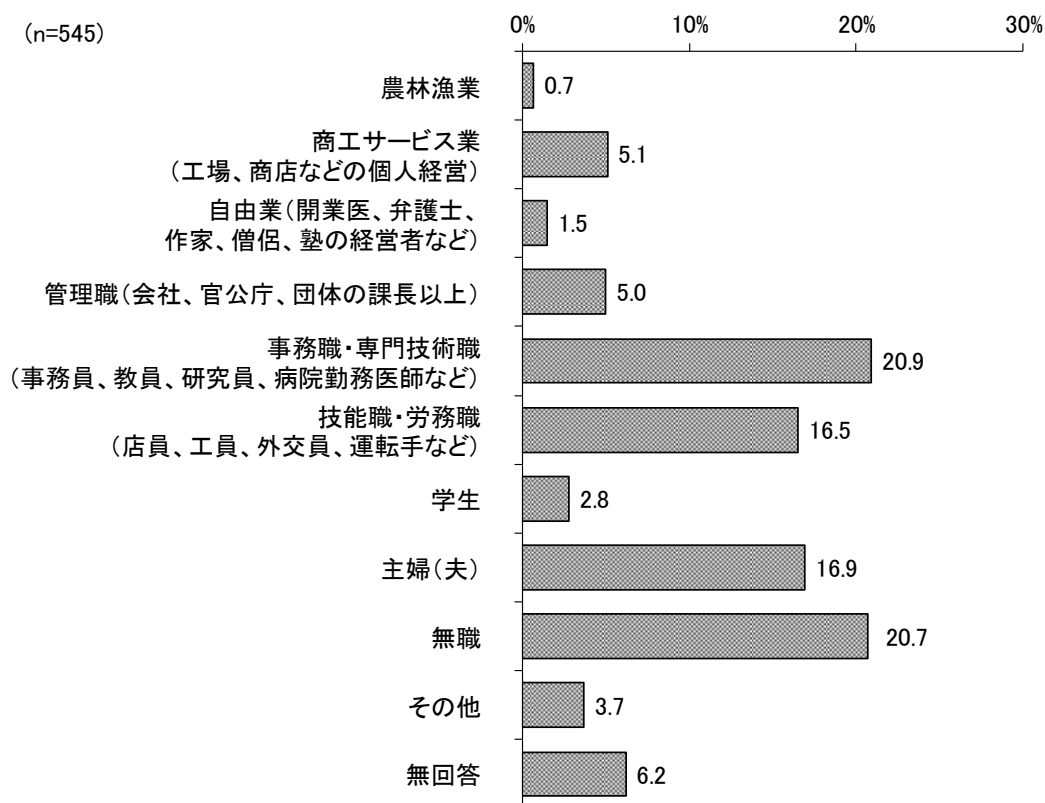
(3) 婚姻の有無

全体では、「配偶者あり (パートナーを含む)」が 64.6%、「離別・死別」が 16.0%、「未婚」が 15.0%となっています。



(4) 職業

全体では、「事務職・専門技術職（事務員、教員、研究員、病院勤務医師など）」が 20.9%と最も高く、次いで「無職」（20.7%）、「主婦（夫）」（16.9%）、「技能職・労務職（店員、工員、外交員、運転手など）」（16.5%）と続いています。

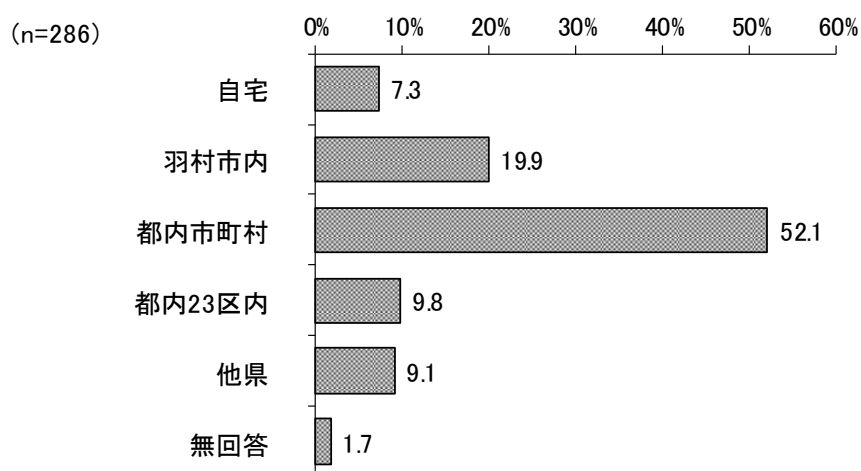


「その他」の回答内容	件数
パート・アルバイト	4
会社員	2
介護職	2
調理・飲食関係	2
その他	8
無回答	2

(4) - ①通勤・通学地

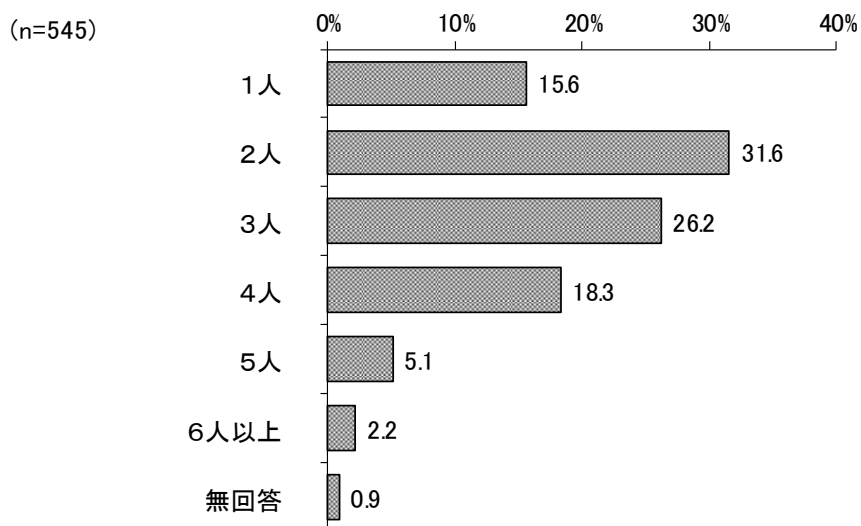
※(4)-①は、(4)で「主婦(夫)」、「その他」以外を回答した方のみの数値です。

全体では、「都内市町村」が52.1%と最も高く、次いで「羽村市内」(19.9%)、「都内23区内」(9.8%)と続いています。



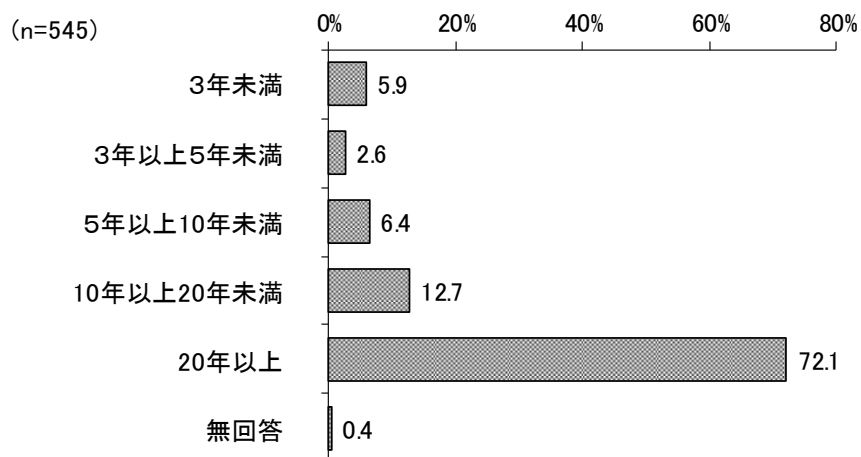
(5) 家族人数

全体では、「2人」が31.6%と最も高く、次いで「3人」(26.2%)、「4人」(18.3%)と続いています。



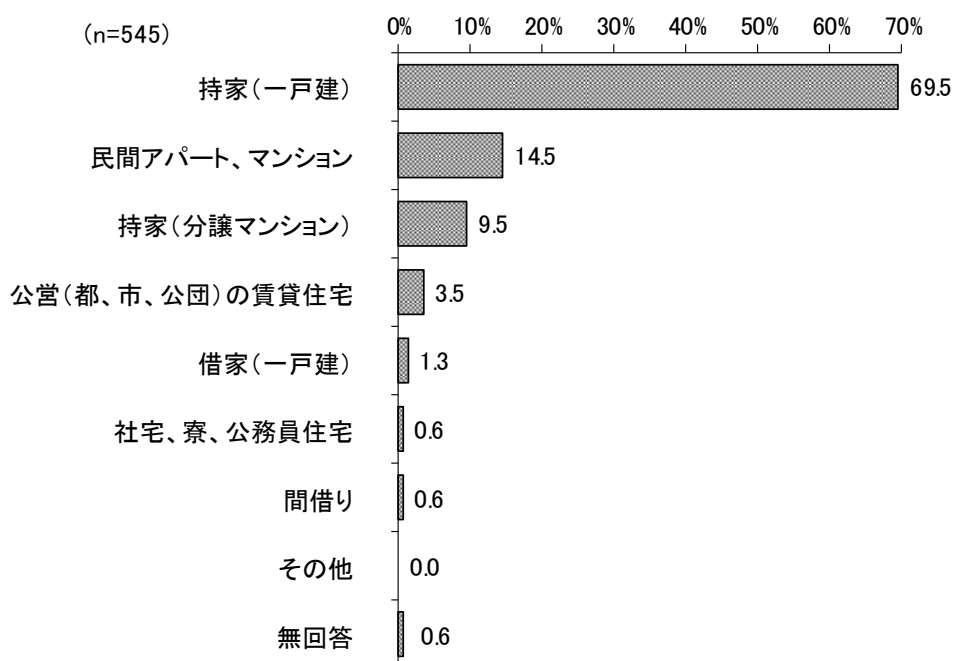
(6) 居住年数

全体では、「20 年以上」が 72.1%と最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」(12.7%)、「5 年以上 10 年未満」(6.4%)と続いています。



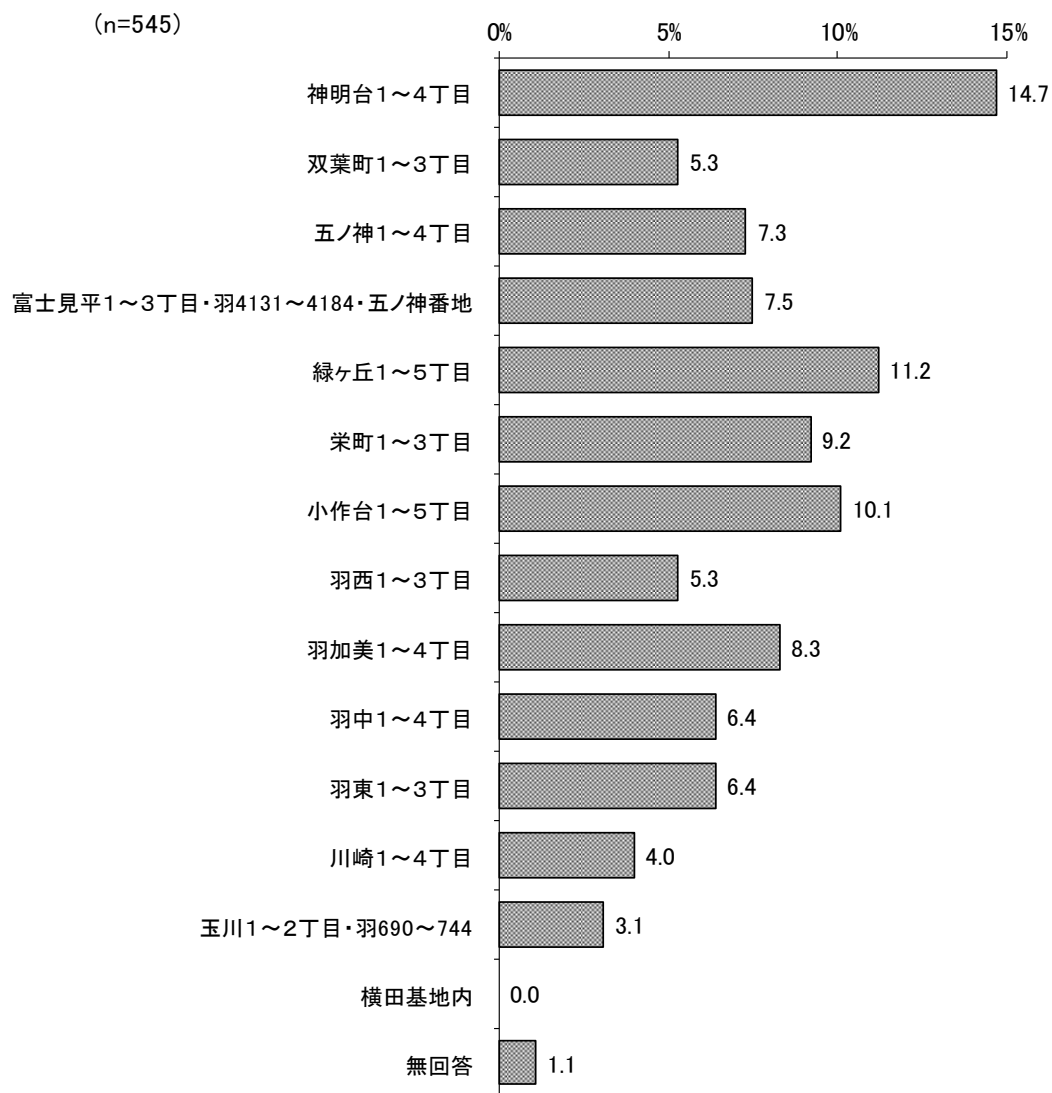
(7) 居住形態

全体では、「持家（一戸建）」が 69.5%と最も高く、次いで「民営アパート、マンション」(14.5%)、「持家（分譲マンション）」(9.5%)と続いています。



(8) 居住地区

全体では、「神明台1～4丁目」が14.7%と最も高く、次いで「緑ヶ丘1～5丁目」(11.2%)、「小作台1～5丁目」(10.1%)と続いています。



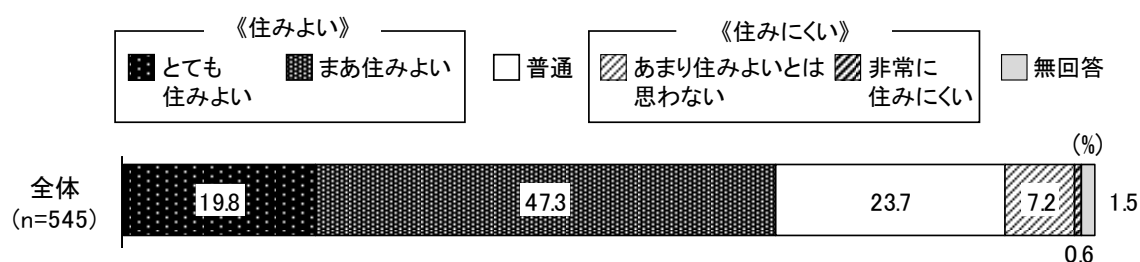
Ⅱ 羽村市市政世論調査の結果

1 定住性と住みよさ

(1) 住みよさ

問1 あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。(○は1つ)

全体では、《住みよい》(「とても住みよい」 + 「まあ住みよい」)が 67.1%、「普通」(23.7%)、《住みにくい》(「あまり住みよいとは思わない」 + 「非常に住みにくい」)(7.8%)となっています。



過去の調査と比較すると、《住みよい》は 60%台後半から 70%台前半、《住みにくい》は 10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	とても 住みよい	まあ 住みよい	普通	あまり 住みよいとは思 わない	非常に 住みにくい
今回 (R7)	19.8	47.3	23.7	7.2	0.6
前回 (R2)	20.8	48.5	21.2	4.5	0.2
前々回 (H27)	22.0	49.2	19.9	4.1	0.4

居住地区で見ると、[五ノ神]と[羽中]で《住みよい》が全体よりやや高くなっています。

居住年数で見ると、[3年未満]で「とても住みよい」(37.5%)が全体より高くなっています。
また、[5年以上10年未満]で「普通」(34.3%)が全体よりやや高くなっています。

定住意向で見ると、[ずっと住みたい]で《住みよい》(83.5%)が全体より高くなっています。
また、[できれば転出したい]で「あまり住みよいと思わない」(36.2%)が全体よりとても高くなっています。

	回答者数 (n)	問1 住みよさ					
		とても 住みよい	まあ 住みよい	普通	あまり 住みよいと は思わない	非常に 住みにくい	無回答
全 体	545	19.8	47.3	23.7	7.2	0.6	1.5
性 別	男	226	21.7	46.0	22.1	8.4	0.9
	女	293	17.7	49.8	24.2	5.8	2.0
	回答しない	16	18.8	★ 18.8	☆ 43.8	□ 18.8	0.0
							0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	● 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	25.0	41.7	33.3	0.0	0.0
	男・30歳代	17	23.5	47.1	■ 11.8	□ 17.6	0.0
	男・40歳代	27	☆ 40.7	■ 37.0	■ 11.1	7.4	3.7
	男・50歳代	54	24.1	42.6	20.4	11.1	1.9
	男・60歳代	44	20.5	45.5	29.5	0.0	4.5
	男・70歳以上	71	12.7	52.1	23.9	11.3	0.0
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	17.4	☆ 69.6	■ 13.0	0.0	0.0
	女・30歳代	28	28.6	46.4	21.4	3.6	0.0
	女・40歳代	36	19.4	47.2	25.0	8.3	0.0
	女・50歳代	57	12.3	○ 63.2	15.8	8.8	0.0
	女・60歳代	47	17.0	42.6	31.9	4.3	4.3
	女・70歳以上	101	16.8	43.6	28.7	5.9	1.0
							4.0
居 住 地 区	神明台	80	16.3	55.0	15.0	8.8	0.0
	双葉町	29	10.3	□ 62.1	24.1	0.0	3.4
	五ノ神	40	25.0	55.0	15.0	5.0	0.0
	富士見平・羽4000番台	41	17.1	53.7	19.5	9.8	0.0
	緑ヶ丘	61	21.3	37.7	31.1	4.9	4.9
	栄町	50	24.0	44.0	22.0	4.0	6.0
	小作台	55	20.0	50.9	27.3	1.8	0.0
	羽西	29	20.7	44.8	27.6	6.9	0.0
	羽加美	45	22.2	37.8	31.1	8.9	0.0
	羽中	35	22.9	54.3	17.1	5.7	0.0
	羽東	35	28.6	■ 34.3	28.6	8.6	0.0
	川崎	22	■ 9.1	■ 36.4	□ 36.4	□ 18.2	0.0
	玉川・羽600～700番台	17	17.6	41.2	17.6	○ 23.5	0.0
							0.0
居 住 年 数	3年未満	32	○ 37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
	3年以上5年未満	14	☆ 42.9	★ 21.4	28.6	7.1	0.0
	5年以上10年未満	35	14.3	48.6	□ 34.3	0.0	2.9
	10年以上20年未満	69	18.8	42.0	24.6	13.0	1.4
	20年以上	393	18.3	49.6	22.4	7.4	1.5
定 住 意 向	ずっと住みたい	273	29.3	54.2	15.4	0.7	0.4
	当分の間住みたい	202	13.4	47.5	30.7	8.4	0.0
	できれば転出したい	47	● 2.1	★ 19.1	○ 40.4	☆ 36.2	2.1
	転出する	8	● 0.0	50.0	□ 37.5	0.0	□ 12.5

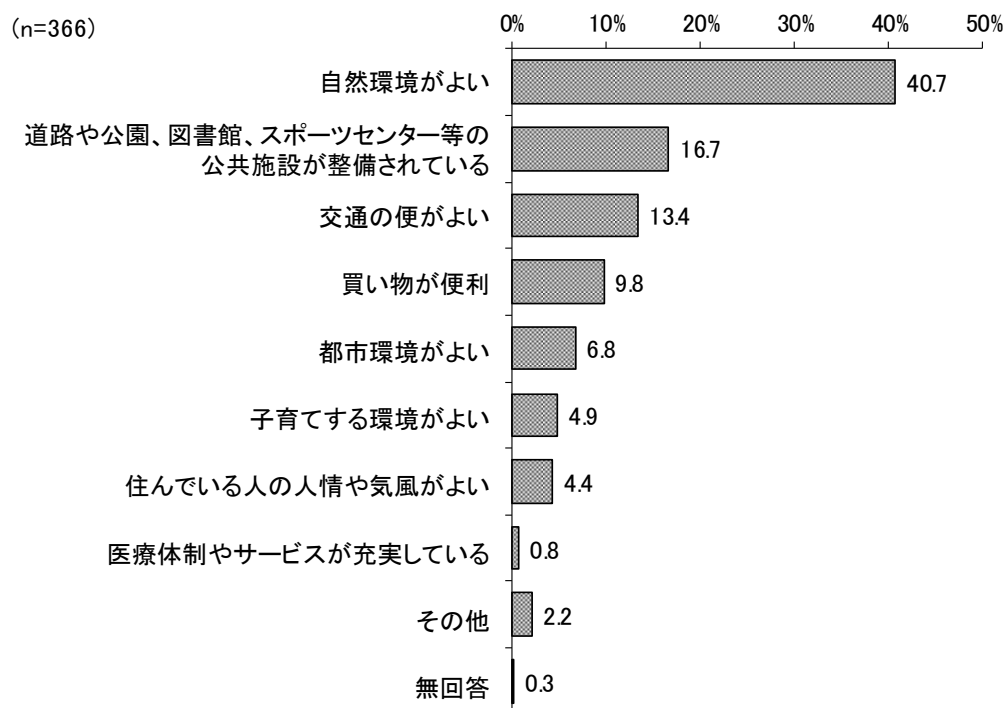
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(1) - ①住みよい理由

※(1)-①は、(1)で「とても住みよい」、「まあ住みよい」と回答した方のみの数値です。

問1-1 羽村市を住みよいと思う主な理由は何ですか。(○は1つ)

《住みよい》(「とても住みよい」 + 「まあ住みよい」) と回答した理由は、「自然環境がよい」が 40.7%と最も高く、次いで「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」(16.7%)、「交通の便がよい」(13.4%)と続いています。



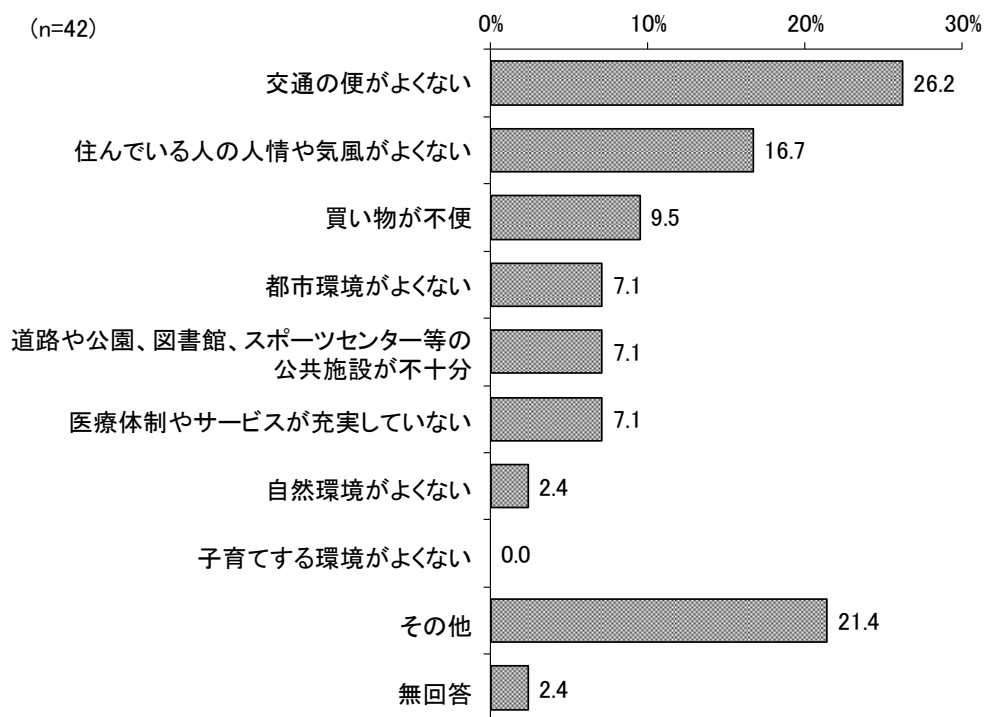
「その他」の回答内容	件数
都会でもなく田舎でもなく、ほどよい	3
治安が悪くなく、静か	1
特筆して嫌なことがない	1
昔から住んでいる	1
その他	2

(1) - ②住みにくい理由

※(1)-②は、(1)で「あまり住み良いとは思わない」、「非常に住みにくい」と回答した方のみの数値です。

問1-2 羽村市を住みよいと思わない理由は何ですか。(○は1つ)

《住みにくい》(「あまり住みよいと思わない」 + 「非常に住みにくい」) と回答した理由は、「交通の便がよいくない」が 26.2%と最も高く、次いで「住んでいる人の人情や気風がよいくない」(16.7%)、「買い物が不便」(9.5%)と続いています。

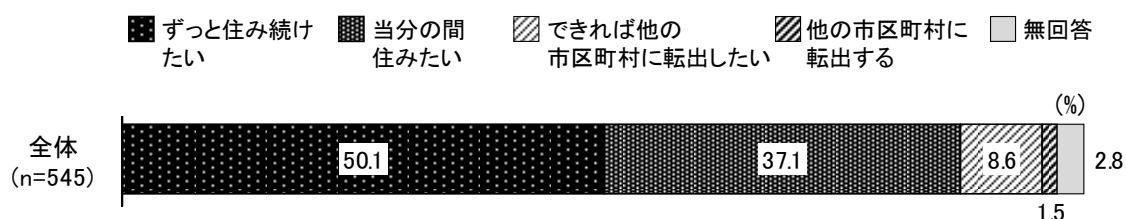


「その他」の回答内容	件数
行政サービスが不足	2
財政悪化による将来の不安	2
飛行機の騒音	1
衰退していると感じている	1
税収が少ない	1
その他	2

(2) 定住意向

問2 あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いますか。(○は1つ)

全体では、「ずっと住み続けたい」が 50.1%と最も高く、次いで「当分の間住みたい」(37.1%)、「できれば他の市区町村に転出したい」(8.6%)と続いています。



過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」は50%台、「当分の間は住みたい」は30～40%程度、「できれば他の市区町村に転出したい」・「他の市区町村に転出する」は10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市区町村に転出したい	他の市区町村に転出する
今回 (R7)	50.1	37.1	8.6	1.5
前回 (R2)	50.2	40.9	5.4	1.3
前々回 (H27)	56.8	33.4	5.6	1.2

性・年代別で見ると、[男性70歳以上]と[女性70歳以上]で「ずっと住み続けたい」が全体よりとても高くなっています。

居住年数で見ると、[3年未満]と[5年以上10年未満]で「当分の間住みたい」が全体よりとても高くなっています。

		回答者数 (n)	問2 定住意向				
			ずっと住み 続けたい	当分の間 住みたい	できれば他の 市区町村に 転出したい	他の市区町村 に転出する	無回答
全 体		545	50.1	37.1	8.6	1.5	2.8
性別	男	226	48.7	39.8	8.4	1.3	1.8
	女	293	52.6	34.8	7.5	1.7	3.4
	回答しない	16	★ 18.8	43.8	☆ 31.3	0.0	6.3
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	● 33.3	33.3	16.7	○ 16.7	0.0
	男・30歳代	17	★ 29.4	☆ 58.8	11.8	0.0	0.0
	男・40歳代	27	■ 37.0	□ 48.1	11.1	3.7	0.0
	男・50歳代	54	■ 37.0	☆ 59.3	3.7	0.0	0.0
	男・60歳代	44	47.7	40.9	6.8	0.0	4.5
	男・70歳以上	71	☆ 70.4	★ 16.9	9.9	0.0	2.8
	女・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	★ 21.7	○ 52.2	○ 26.1	0.0	0.0
	女・30歳代	28	■ 35.7	○ 53.6	3.6	7.1	0.0
	女・40歳代	36	41.7	44.4	11.1	0.0	2.8
	女・50歳代	57	40.4	□ 47.4	7.0	3.5	1.8
	女・60歳代	47	59.6	■ 25.5	6.4	0.0	8.5
	女・70歳以上	101	☆ 72.3	● 18.8	4.0	1.0	4.0
	居 住 地 区	神明台	80	43.8	41.3	8.8	2.5
双葉町		29	41.4	□ 48.3	3.4	0.0	6.9
五ノ神		40	55.0	32.5	7.5	2.5	2.5
富士見平・羽4000番台		41	51.2	39.0	9.8	0.0	0.0
緑ヶ丘		61	49.2	31.1	11.5	0.0	8.2
栄町		50	52.0	34.0	8.0	4.0	2.0
小作台		55	54.5	40.0	3.6	0.0	1.8
羽西		29	48.3	37.9	13.8	0.0	0.0
羽加美		45	48.9	40.0	4.4	4.4	2.2
羽中		35	54.3	28.6	14.3	2.9	0.0
羽東		35	57.1	31.4	11.4	0.0	0.0
川崎		22	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0
玉川・羽600～700番台		17	52.9	35.3	5.9	0.0	5.9
居 住 年 数	3年未満	32	★ 25.0	☆ 71.9	3.1	0.0	0.0
	3年以上5年未満	14	■ 35.7	☆ 57.1	0.0	7.1	0.0
	5年以上10年未満	35	★ 28.6	☆ 57.1	5.7	2.9	5.7
	10年以上20年未満	69	● 30.4	□ 49.3	15.9	1.4	2.9
	20年以上	393	58.0	29.5	8.4	1.3	2.8

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(2) - ①定住意向の回答理由

問2-1 問2で回答した、その主な理由は何ですか。(記述)

定住意向の各選択肢を選んだ理由は以下のとおりです。

《住みたい》理由	ずっと住み 続けたい (件)	当分の間 住みたい (件)
持ち家だから	36	23
生まれ育った場所・ずっと住んでいるから	29	10
住みやすい・住み慣れているから	27	21
自然環境がよいから	26	7
転出したくない・転出する理由がない	17	16
交通の便がよい・都心に出やすい	14	9
交友関係が確立しているから	10	1
買い物がしやすい・便利	9	5
高齢のため転出したくない	8	7
子育てによいから	7	2
公共施設・サービスが充実している	7	1
家族・親戚が羽村市に住んでいるから	6	5
治安がいいから	6	3
都会でもなく田舎でもなく、ほどよいから	6	1
通勤に便利・仕事のため	4	9
静か	4	5
地域の人間関係がよいから	4	3
災害が少ない	3	0
医療機関が充実している	2	1
羽村が好きだから	2	0
土地・家賃がお手頃	1	2
水がおいしい	1	1
将来は転出も考えている	0	17
高齢になったときに生活しやすいか不安	0	8
子育て中だから	0	5
他に住みたいところがないから	0	5
羽村市の財政が心配	0	5
いずれは出身地に戻りたい	0	2
住環境が悪化しなければ住み続けたい	0	2
区画整理によっては転出を考える	0	2
人口が少ない	0	2
その他	11	18

《転出したい》理由	できれば 他の市区町村 に転出したい (件)	他の市区町村 に転出する (件)
交通の便がよいくない	6	1
通勤・通学に不便	6	1
高齢になったら生活が不便になりそう	3	0
市政・公共サービスに不満	3	1
都心に住みたいから	3	0
住み続けるメリットがない	3	0
病院が少ない	2	0
近隣住民の気風がよいくない	2	0
治安がよいくない	2	0
税金が有効に使われていない	2	0
家族・親戚の近くに住みたい	1	2
商業施設・飲食店が少ない	1	1
住みやすいくない	1	0
飛行機の騒音	1	0
街灯が少なく暗い	1	0
子育て支援が充実していない	1	0
一人暮らしをしたいため	1	0
働くところがない	1	0
いろいろなところに住んでみたい	1	0
住民税が高い	1	0
買い物が不便	1	0
その他	8	3

2 市の取組に対する満足度・重要度

本節の本文、図表中にある項目の番号は、調査票の項目の番号に対応しています。そのため、第六次羽村市長期総合計画のコンセプトごとに並べた際に、順不同となっています。

問3 羽村市が取り組んでいる以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを1～4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

(1) コンセプト1：自分らしく生きる

「コンセプト1：自分らしく生きる」では、生涯にわたり、だれもが、家庭、学校、職場、地域などで、自分らしい生き方ができるまちを目指す取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「⑩市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくりの取組」が71.9%と最も高く、次いで「①小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉」（71.6%）、「②高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組」（67.1%）と続いています。

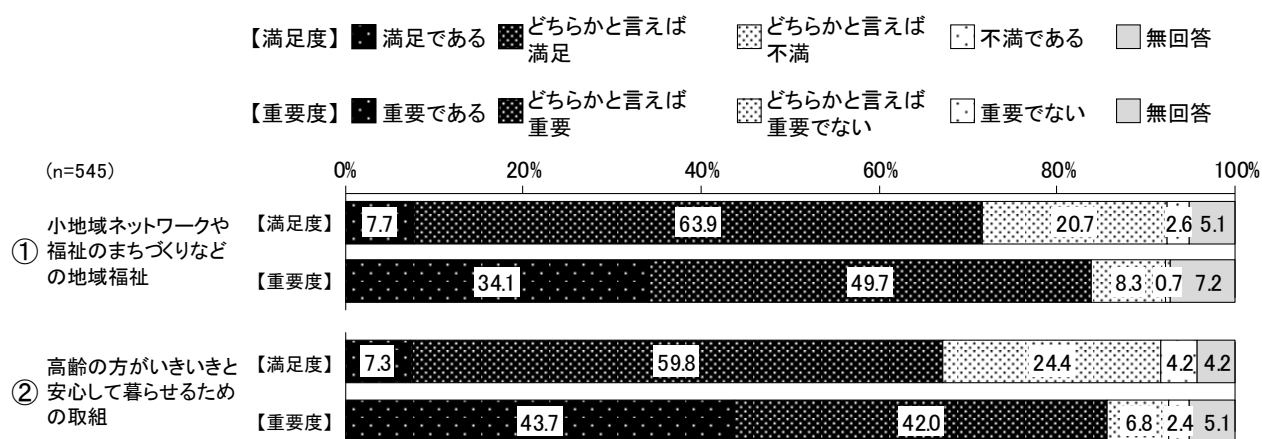
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「⑨国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」が37.6%と最も高く、次いで「⑧後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談」（37.0%）、「⑪医療体制や福生病院の充実に向けた支援」（36.0%）と続いています。

重要度

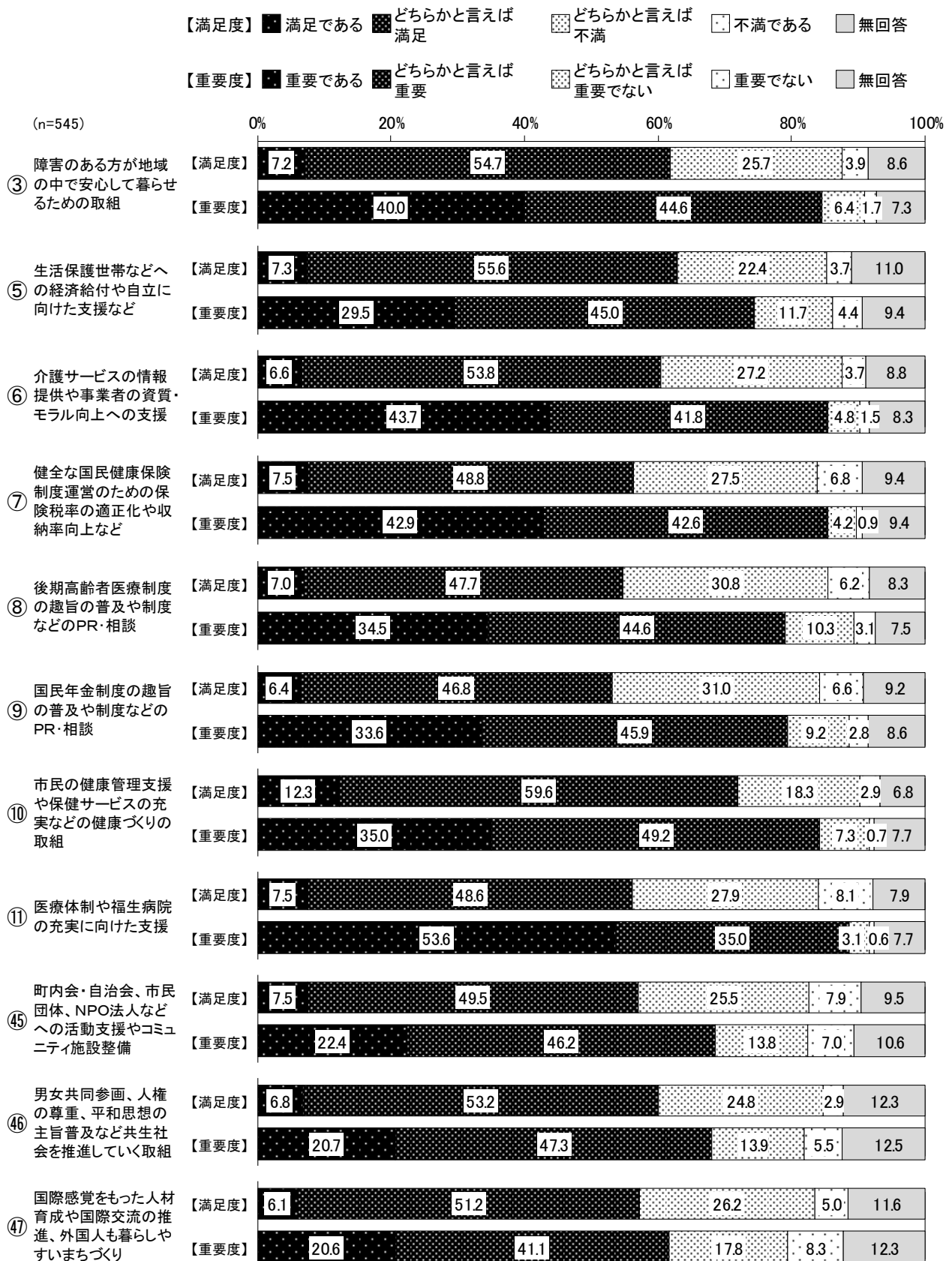
《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「⑪医療体制や福生病院の充実に向けた支援」が88.6%と最も高く、次いで「②高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組」（85.7%）、「⑥介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援」・「⑦健全な国民健康保険制度運営のための保険税率の適正化や収納率向上など」（共に85.5%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「④国際感覚をもった人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり」が26.1%と最も高く、次いで「⑤町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備」（20.8%）、「④男女共同参画、人権の尊重、平和思想の主旨普及など共生社会を推進していく取組」（19.4%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（コンセプト1：自分らしく生きる）



(続き) 問3 市の取組に対する満足度・重要度 (コンセプト1: 自分らしく生きる)



(2) コンセプト2：成長をはぐくむ

「コンセプト2：成長をはぐくむ」では、子どもから高齢者まで、生涯を通じて成長し、さまざまなつながりを持ち続けることができるまちを目指す取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「⑤生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）」が72.9%と最も高く、次いで「⑨羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり」（71.7%）、「④安心して子どもを産み、育てられる子育て支援」（69.4%）と続いています。

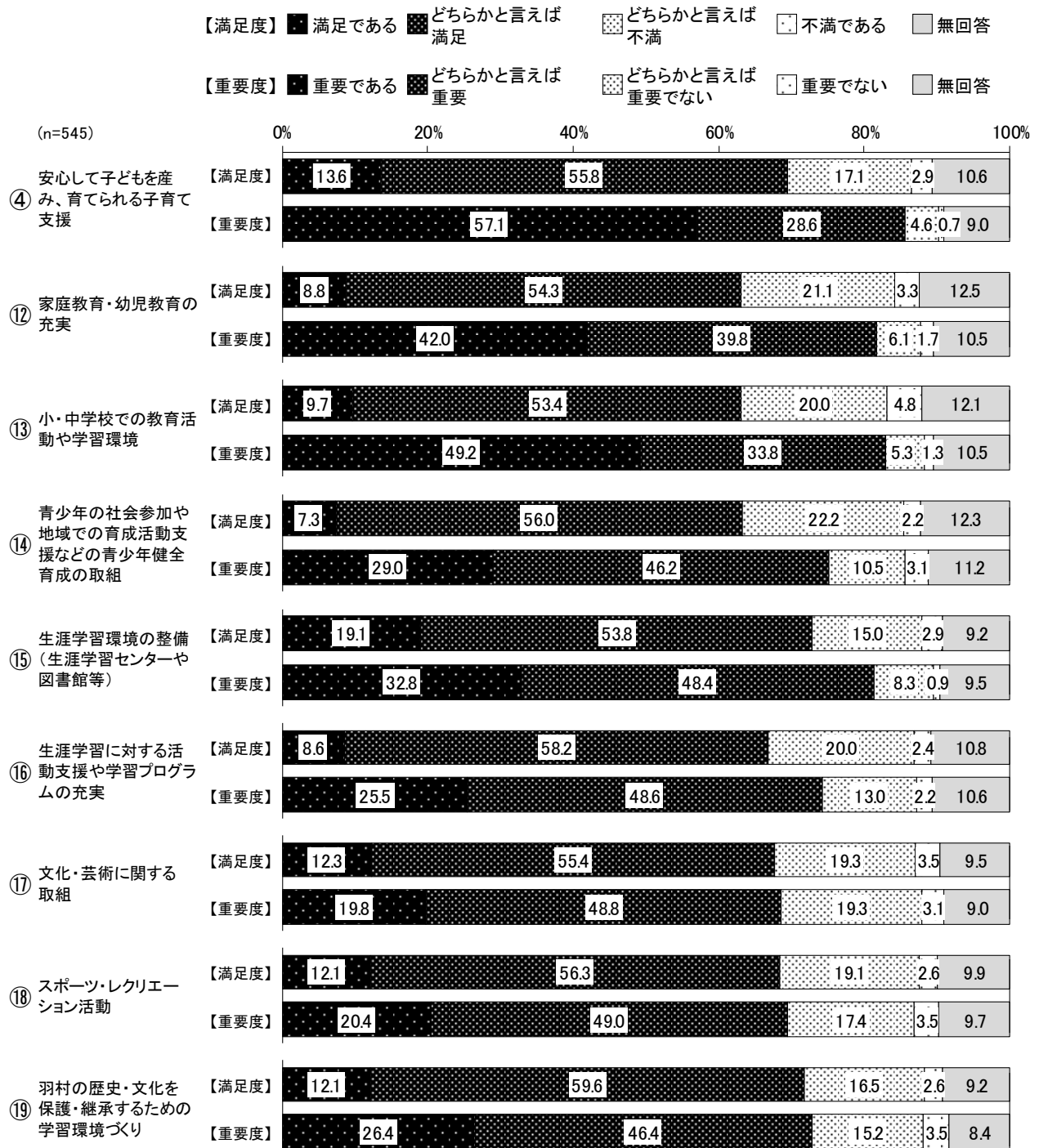
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「⑬小・中学校での教育活動や学習環境」が24.8%と最も高く、次いで「⑫家庭教育・幼児教育の充実」・「⑭青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の取組」（共に24.4%）と続いています。

重要度

《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「④安心して子どもを産み、育てられる子育て支援」が85.7%と最も高く、次いで「⑬小・中学校での教育活動や学習環境」（83.0%）、「⑫家庭教育・幼児教育の充実」（81.8%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「⑰文化・芸術に関する取組」が22.4%と最も高く、次いで「⑱スポーツ・レクリエーション活動」（20.9%）、「⑨羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり」（18.7%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（コンセプト2：成長をはぐくむ）



(3) コンセプト3：スマートにくらす

「コンセプト3：スマートにくらす」では、自然環境を大切にしながら、日々の“くらし”の中で、便利さや快適さが感じられるまちを目指す取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「③羽村市独自（市単独）の水道事業」が 82.7%と最も高く、次いで「⑳水や緑などの自然環境の保全」（76.5%）、「㉑ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築」（76.1%）と続いています。

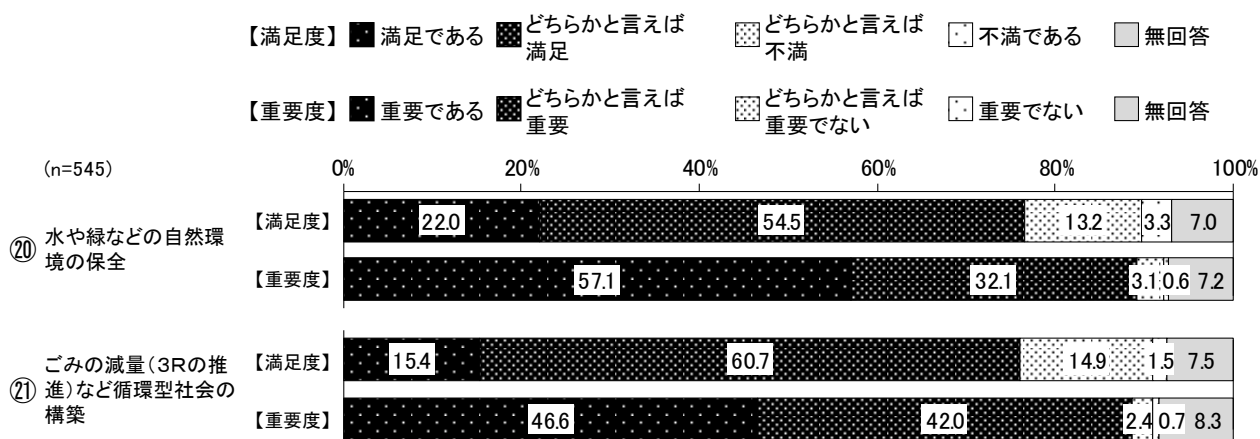
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「㉑区画整理やバリアフリーのまちづくりなどの市街地整備」が 50.1%と最も高く、次いで「㉓道路の整備状況」（48.2%）、「㉔地域特性にあった土地利用」（42.0%）と続いています。

重要度

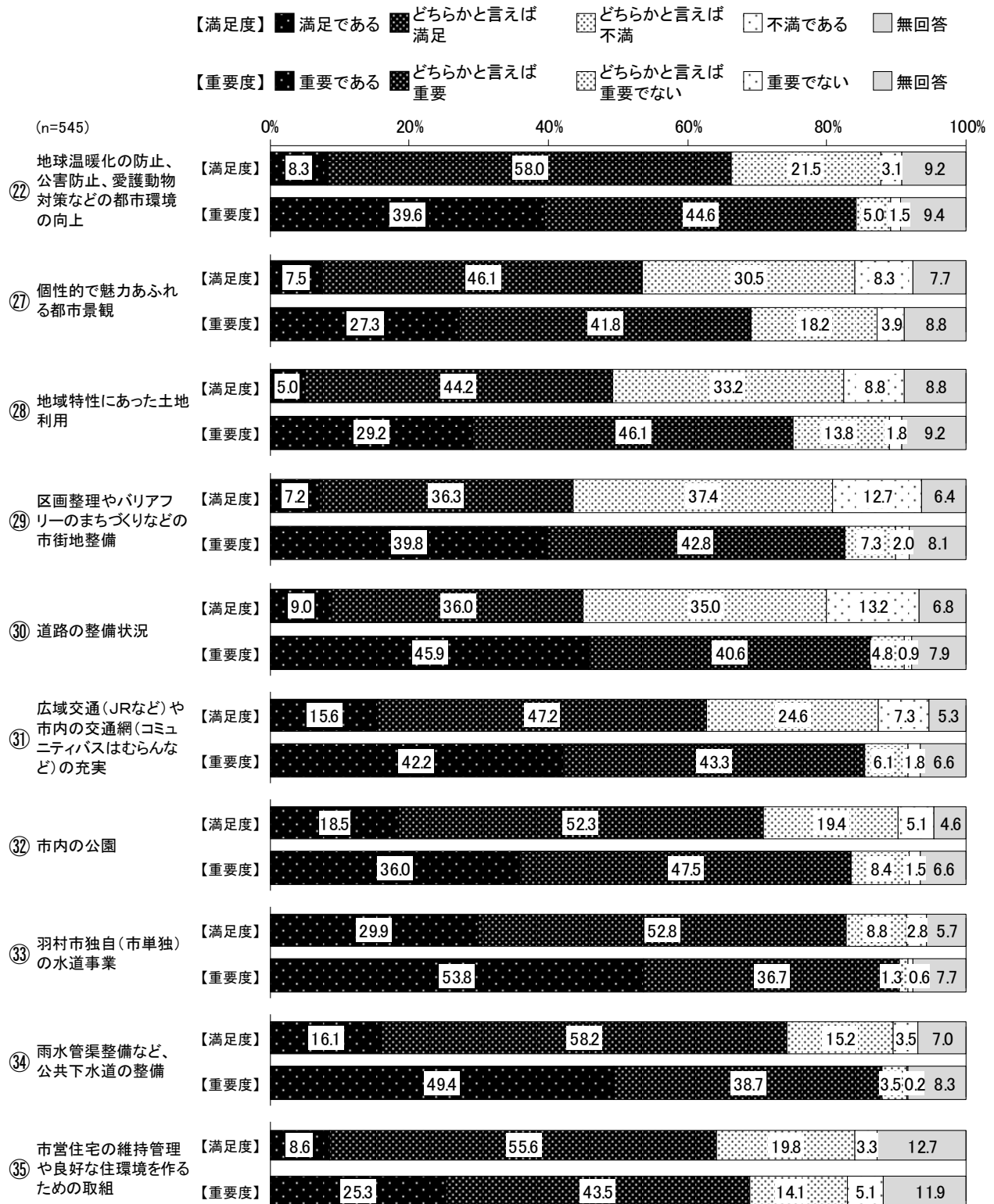
《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「③羽村市独自（市単独）の水道事業」が 90.5%と最も高く、次いで「㉑水や緑などの自然環境の保全」（89.2%）、「㉑ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築」（88.6%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「㉑個性的で魅力あふれる都市景観」が 22.1%と最も高く、次いで「㉑市営住宅の維持管理や良好な住環境を作るための取組」（19.2%）、「㉔地域特性にあった土地利用」（15.6%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（コンセプト3：スマートにくらす）



(続き) 問3 市の取組に対する満足度・重要度 (コンセプト3: スマートにくらす)



（４）コンセプト４：にぎわいを創る

「コンセプト４：にぎわいを創る」では、市内経済活動の基盤強化や市内産業の活性化を図り、羽村市を訪れる人との交流の輪を広げることで、にぎわいがあふれるまちを目指す取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「④市の行事や観光情報、事業者・農業者などの活動のPRなど、市の魅力発信」が58.7%と最も高く、次いで「③⑧農業の振興と農地の保全」（57.4%）、「③⑨観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化」（53.9%）と続いています。

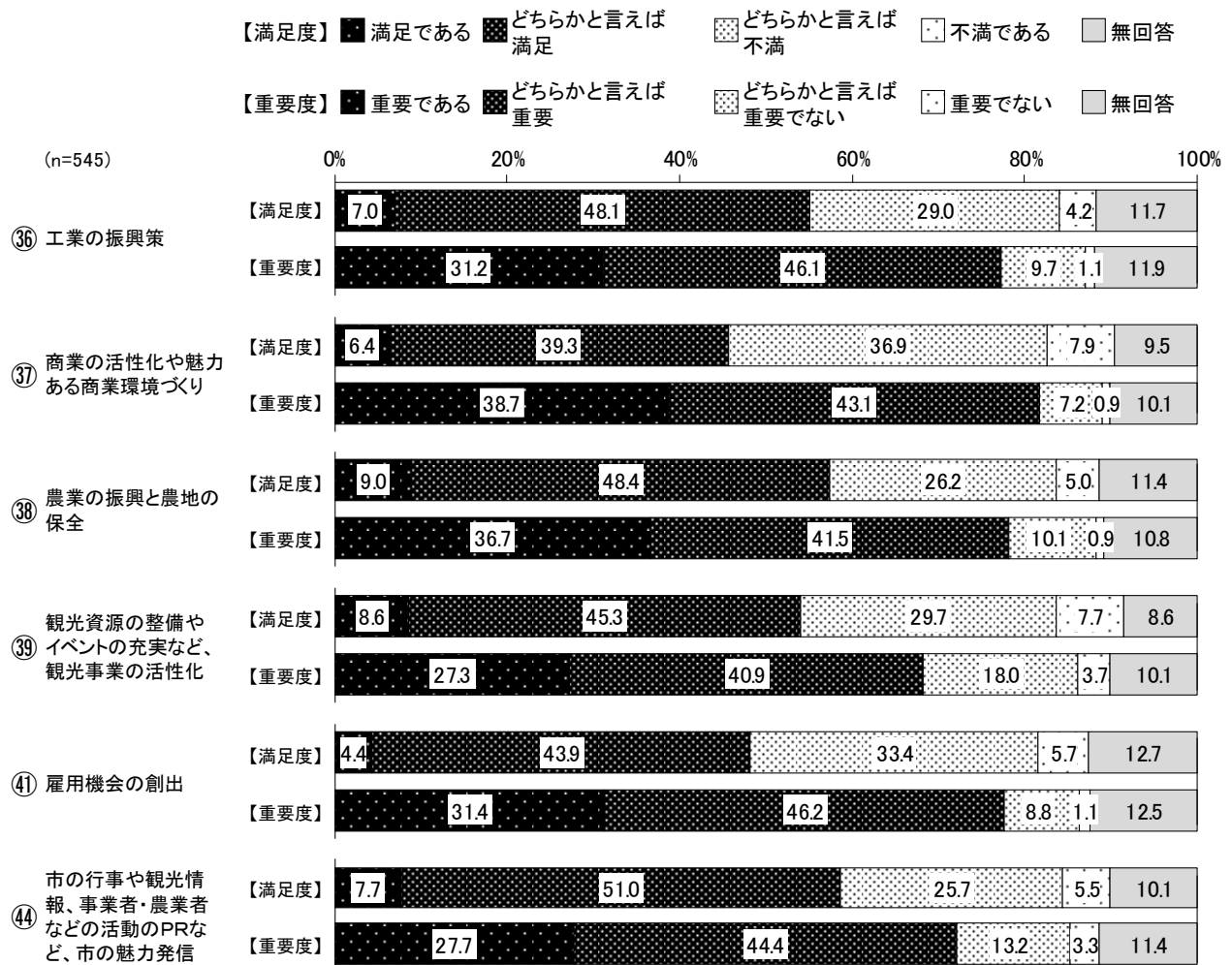
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「③⑦商業の活性化や魅力ある商業環境づくり」が44.8%と最も高く、次いで「④雇用機会の創出」（39.1%）、「③⑨観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化」（37.4%）と続いています。

重要度

《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「③⑦商業の活性化や魅力ある商業環境づくり」が81.8%と最も高く、次いで「③⑧農業の振興と農地の保全」（78.2%）、「④雇用機会の創出」（77.6%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「③⑨観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化」が21.7%と最も高く、次いで「④市の行事や観光情報、事業者・農業者などの活動のPRなど、市の魅力発信」（16.5%）、「③⑧農業の振興と農地の保全」（11.0%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（コンセプト4：にぎわいを創る）



(5) コンセプト5：くらしを守る

「コンセプト5：くらしを守る」では、災害や犯罪などから、自助・共助・公助により、私たちの“くらし”を守ることができるまちを目指す取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「②④交通安全対策」が63.6%と最も高く、次いで「②③災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実」（62.6%）、「②⑤防犯体制の充実」（58.9%）と続いています。

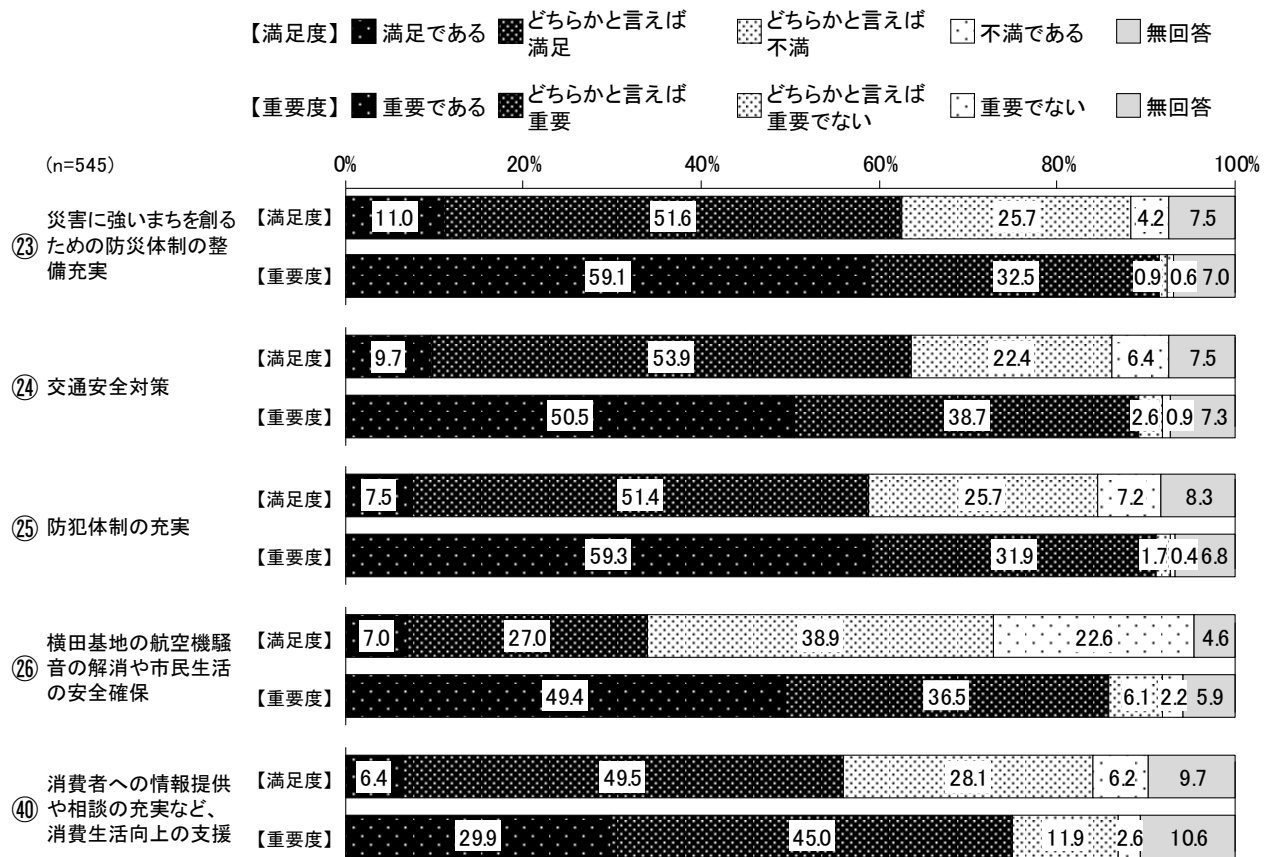
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「②⑥横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保」が61.5%と最も高く、次いで「④⑩消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活向上の支援」（34.3%）、「②⑤防犯体制の充実」（32.9%）と続いています。

重要度

《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「②③災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実」が91.6%と最も高く、次いで「②⑤防犯体制の充実」（91.2%）、「②④交通安全対策」（89.2%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「④⑩消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活向上の支援」が14.5%と最も高く、次いで「②⑥横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保」（8.3%）、「②④交通安全対策」（3.5%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（コンセプト5：くらしを守る）



（６）自治体運営の方針

「自治体運営の方針」では、市が保有する経営資源を最大限に活用し、新たな時代に順応した行政サービスの提供や、健全な財政運営を行い、効率的で質の高い行政サービスの提供ができるよう、行財政改革を一層推進していく取組を位置付けています。

満足度

《満足》（「満足である」＋「どちらかと言えば満足」）と回答した割合は、「⑤②羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応」が 74.0%と最も高く、次いで「④③わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動」（64.9%）、「④⑨窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営」（62.0%）と続いています。

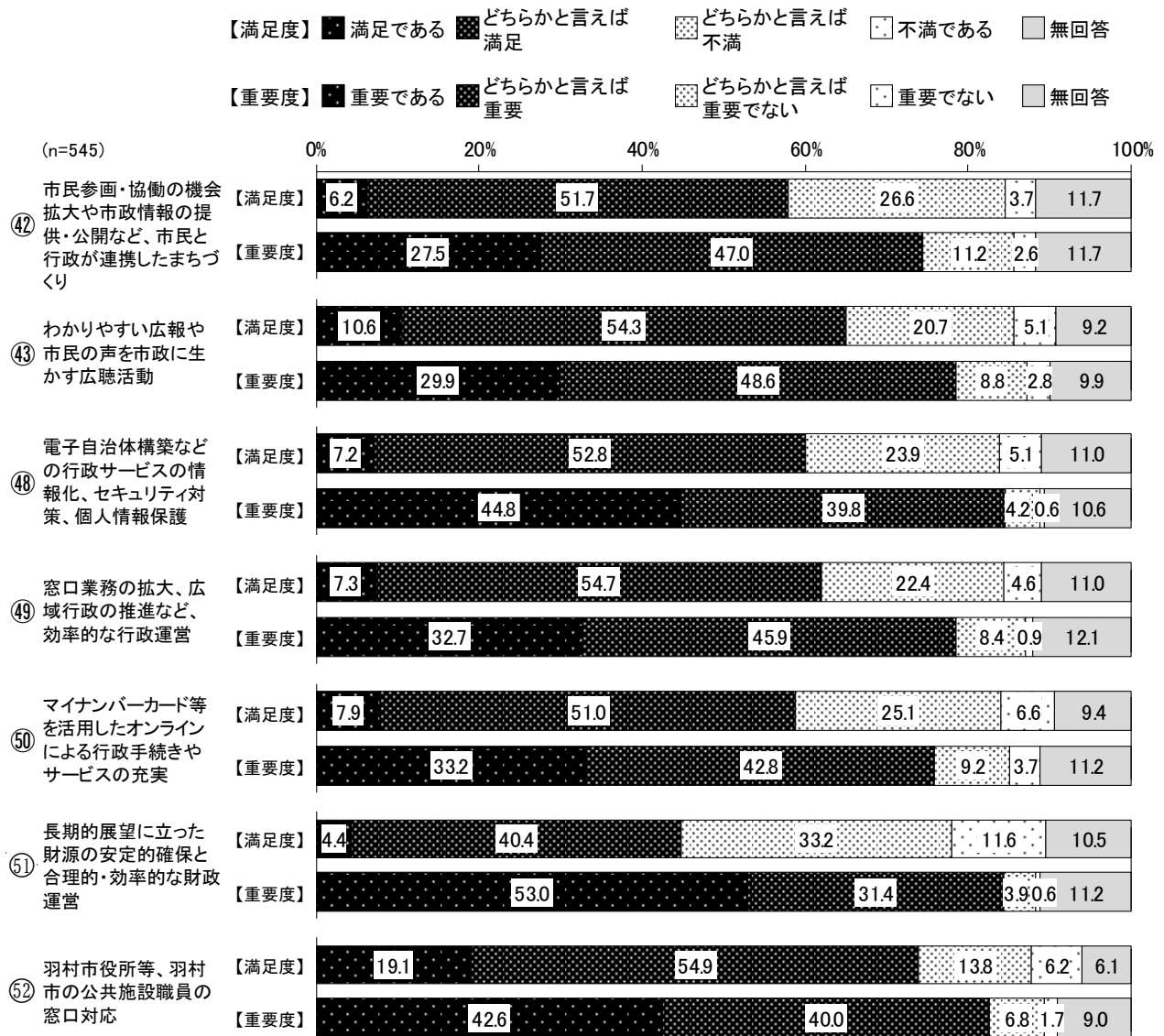
《不満》（「どちらかと言えば不満」＋「不満である」）と回答した割合は、「⑤①長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営」が 44.8%と最も高く、次いで「⑤⑩マイナンバーカード等を活用したオンラインによる行政手続きやサービスの充実」（31.7%）、「④②市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり」（30.3）と続いています。

重要度

《重要》（「重要である」＋「どちらかと言えば重要」）と回答した割合は、「④⑧電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護」が 84.6%と最も高く、次いで「⑤①長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営」（84.4%）、「⑤②羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応」（82.6%）と続いています。

《重要でない》（「どちらかと言えば重要でない」＋「重要でない」）と回答した割合は、「④②市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり」が 13.8%と最も高く、次いで「⑤⑩マイナンバーカード等を活用したオンラインによる行政手続きやサービスの充実」（12.9%）、「④③わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動」（11.6%）と続いています。

問3 市の取組に対する満足度・重要度（自治体運営の方針）



(6) 満足度と重要度から見たゾーニング分析

各項目を相対的に評価するため、満足度を横軸に、重要度を縦軸にとり、各基本目標の施策の平均値を境として4つのゾーンに分け、各項目を分類しました。

① 満足度、重要度それぞれの得点の与え方は以下のとおりです。

選択肢		得点
満足度	重要度	
「満足である」	「重要である」	= 4
「どちらかと言えば満足」	「どちらかと言えば重要」	= 3
「どちらかと言えば不満」	「どちらかと言えば重要でない」	= 2
「不満である」	「重要でない」	= 1

② 以上の得点を用いて、「4」から「1」の回答者をベースに加重平均値を計算しました。

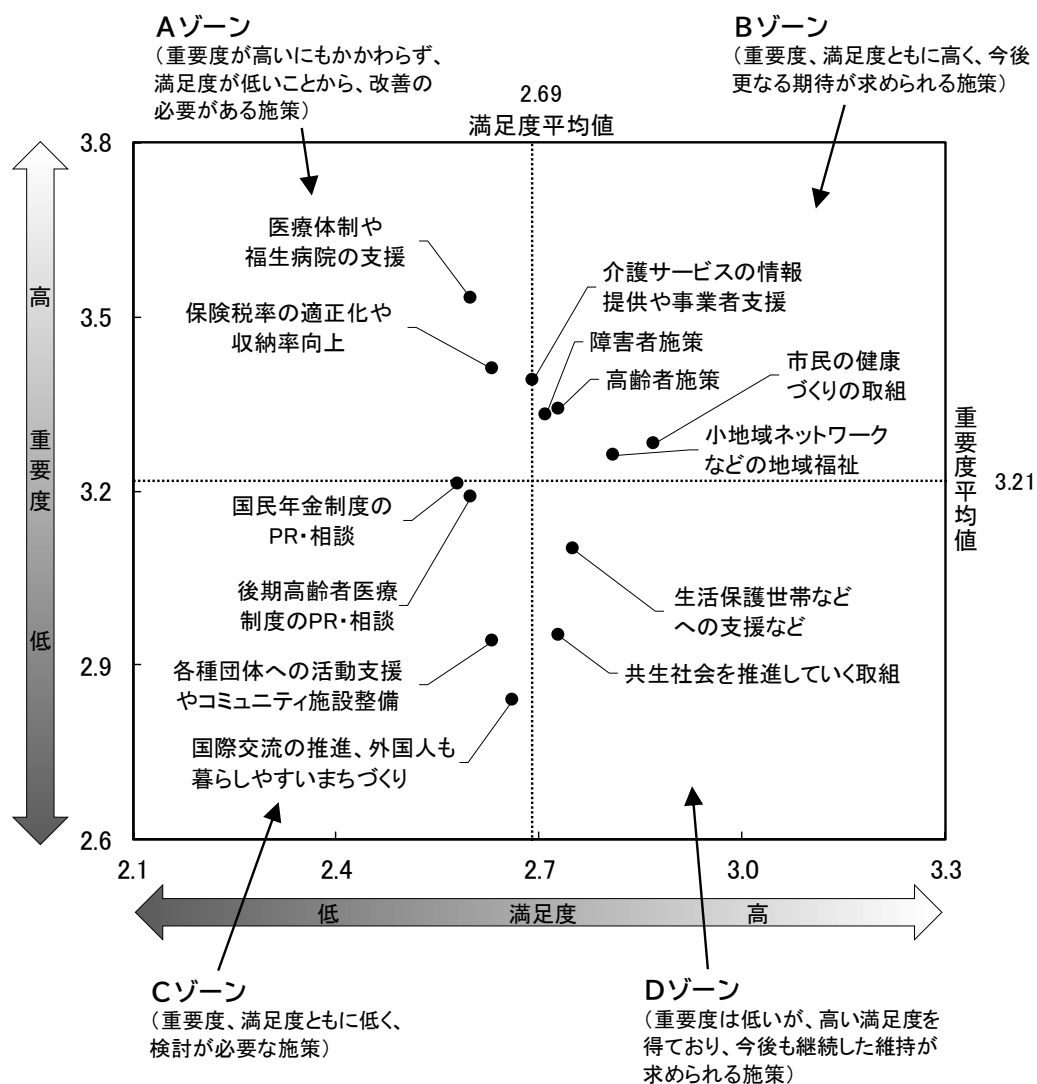
$$\text{満足度} = \frac{4 \times \text{「満足である」の人数} + 3 \times \text{「どちらかと言えば満足」の人数} + 2 \times \text{「どちらかと言えば不満」の人数} + 1 \times \text{「不満である」の人数}}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{4 \times \text{「重要である」の人数} + 3 \times \text{「どちらかと言えば重要」の人数} + 2 \times \text{「どちらかと言えば重要でない」の人数} + 1 \times \text{「重要でない」の人数}}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

③ 4つのゾーンの特性は以下のとおりです。

各ゾーンの特性	
Aゾーン	Bゾーン
【重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】 重要度が高いにもかかわらず、満足度が低いことから、改善の必要がある施策	【重要度、満足度ともに平均値より高い項目】 重要度、満足度ともに高く、今後更なる期待が求められる施策
Cゾーン	Dゾーン
【重要度、満足度ともに平均値より低い項目】 重要度、満足度ともに低く、検討が必要な施策	【重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目】 重要度は低いですが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策

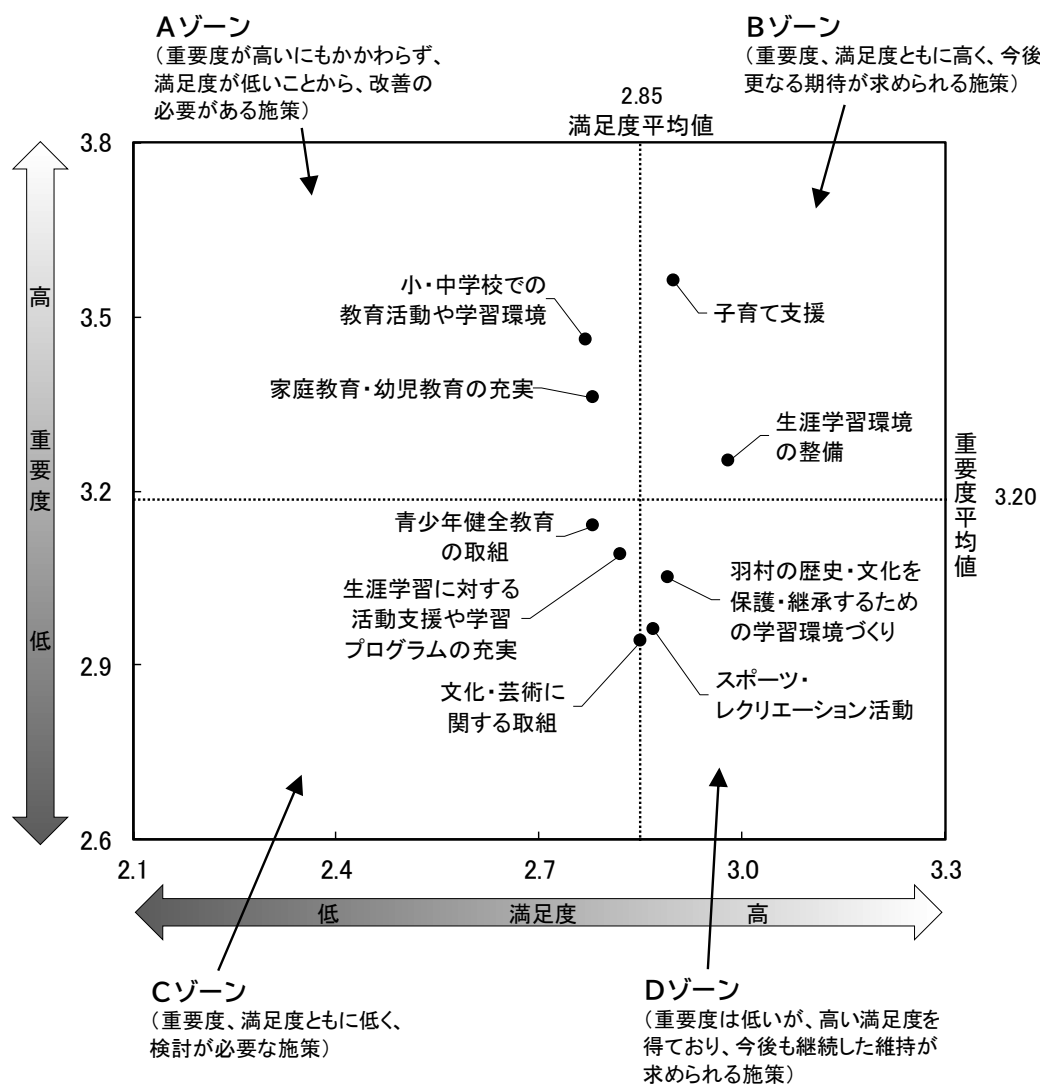
(6)-①【ゾーニング分析】コンセプト1：自分らしく生きる



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	保険税率の適正化や収納率向上	2.63	3.41
	医療体制や福生病院の支援	2.60	3.53
Bゾーン	小地域ネットワークなどの地域福祉	2.81	3.26
	高齢者施策	2.73	3.34
	障害者施策	2.71	3.33
	介護サービスの情報提供や事業者支援	2.69	3.39
	市民の健康づくりの取組	2.87	3.28
Cゾーン	後期高齢者医療制度のPR・相談	2.60	3.19
	国民年金制度のPR・相談	2.58	3.21
	国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.66	2.84
	各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.63	2.94
Dゾーン	生活保護世帯などへの支援など	2.75	3.10
	共生社会を推進していく取組	2.73	2.95
平均値		2.69	3.21

※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

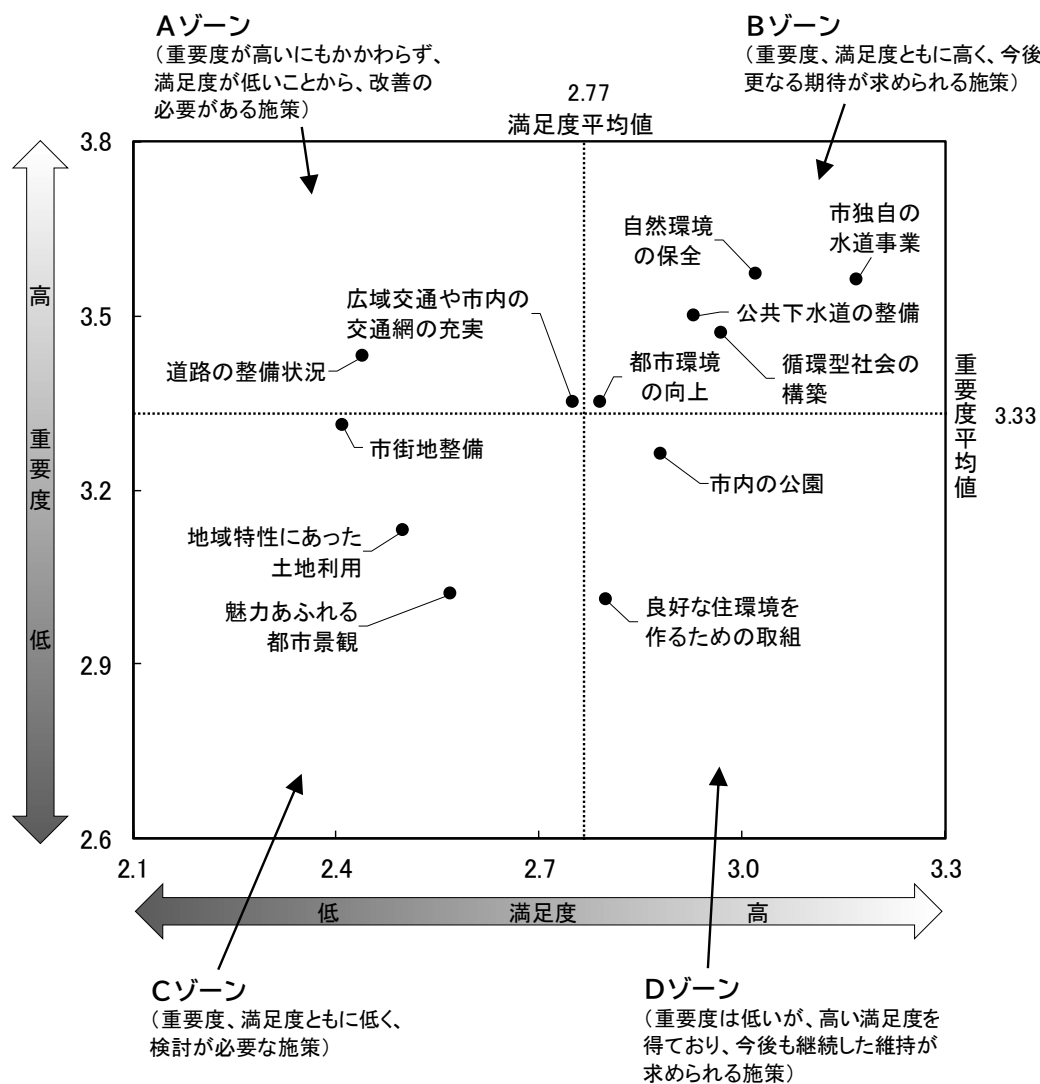
(6)-②【ゾーニング分析】コンセプト2：成長をはぐくむ



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	家庭教育・幼児教育の充実	2.78	3.36
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.77	3.46
Bゾーン	子育て支援	2.90	3.56
	生涯学習環境の整備	2.98	3.25
Cゾーン	青少年健全教育の取組	2.78	3.14
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.82	3.09
	文化・芸術に関する取組	2.85	2.94
Dゾーン	スポーツ・レクリエーション活動	2.87	2.96
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.89	3.05
平均値		2.85	3.20

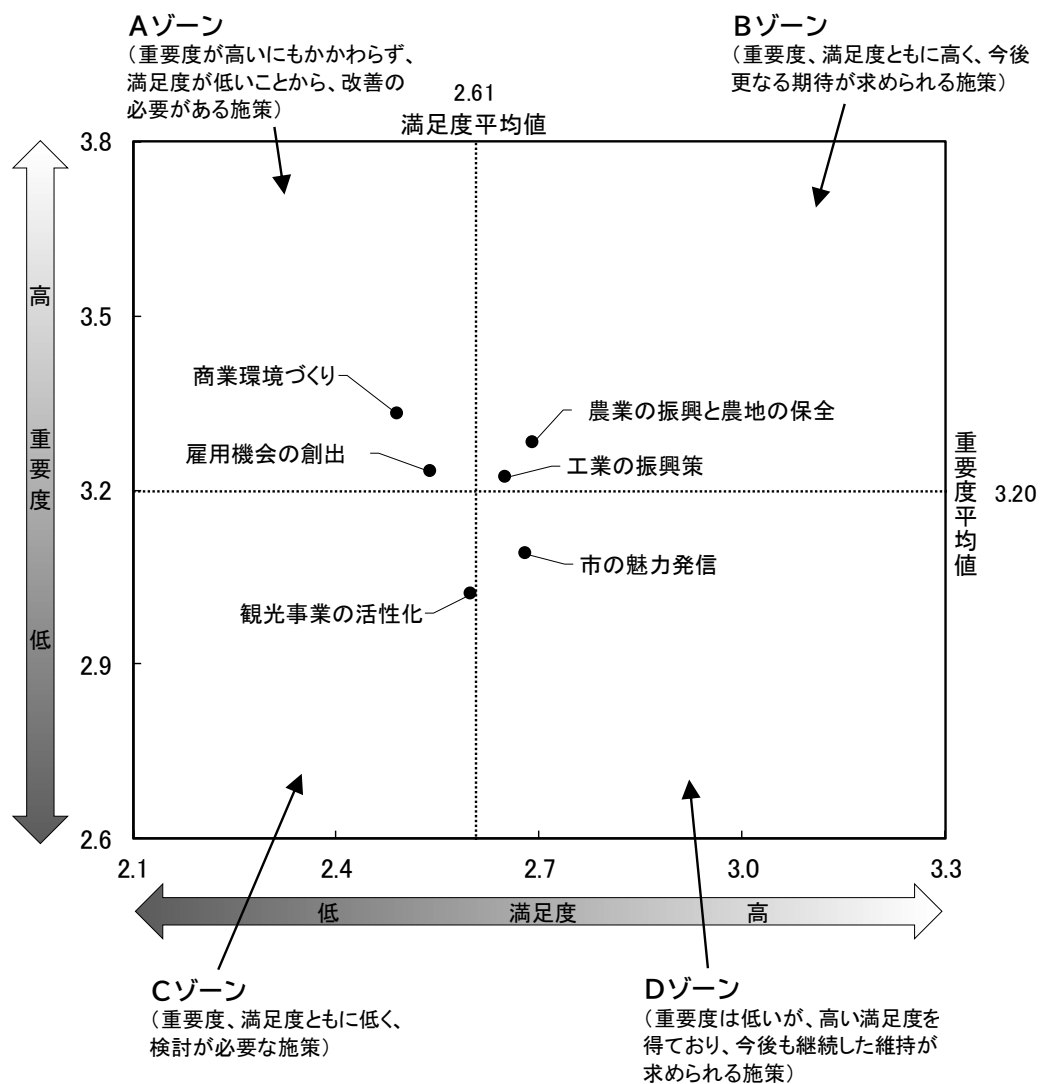
※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

(6)-③【ゾーニング分析】コンセプト3：スマートにくらす



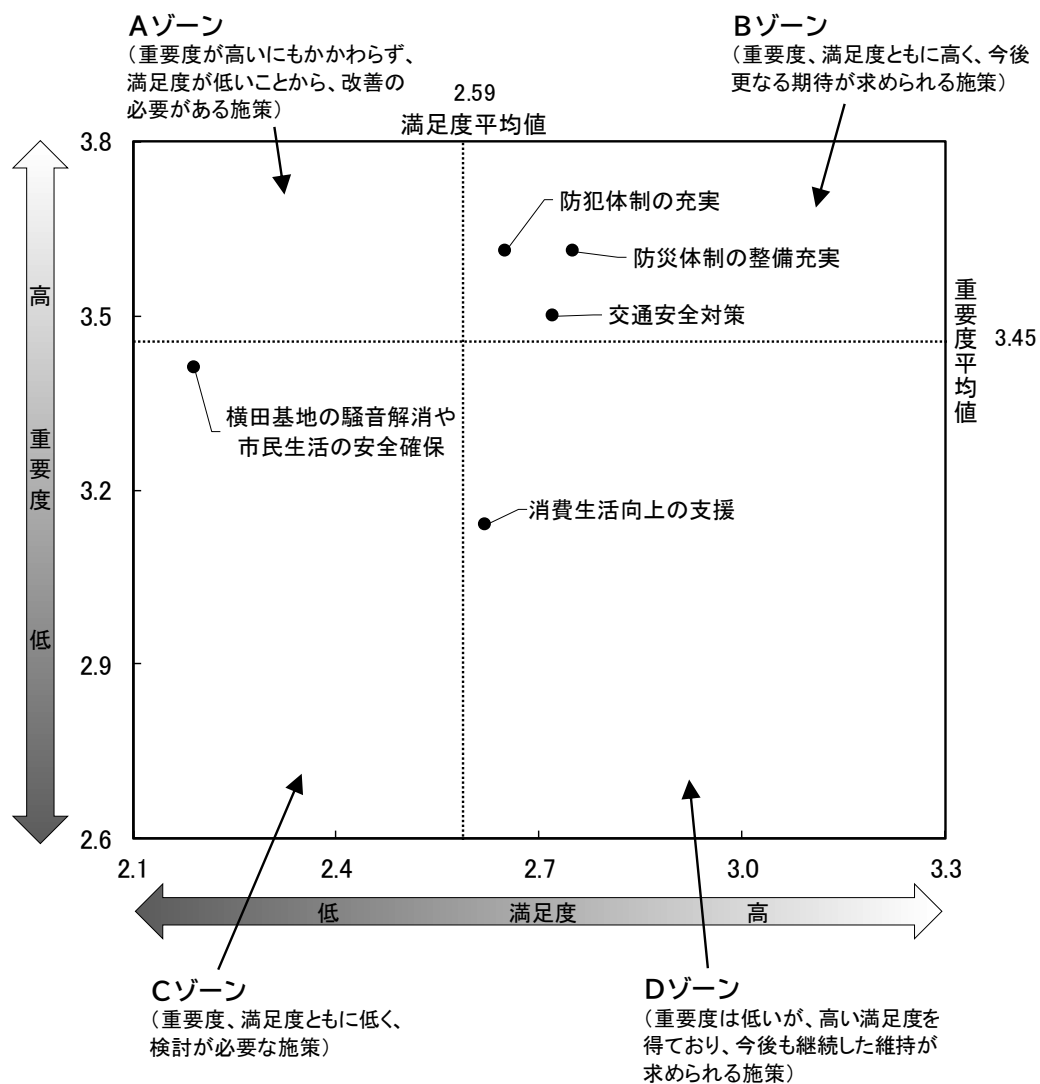
ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	道路の整備状況	2.44	3.43
	広域交通や市内の交通網の充実	2.75	3.35
Bゾーン	自然環境の保全	3.02	3.57
	循環型社会の構築	2.97	3.47
	都市環境の向上	2.79	3.35
	市独自の水道事業	3.17	3.56
	公共下水道の整備	2.93	3.50
Cゾーン	魅力あふれる都市景観	2.57	3.02
	地域特性にあった土地利用	2.50	3.13
	市街地整備	2.41	3.31
Dゾーン	市内の公園	2.88	3.26
	良好な住環境を作るための取組	2.80	3.01
平均値		2.77	3.33

(6) - ④【ゾーニング分析】コンセプト4：にぎわいを創る



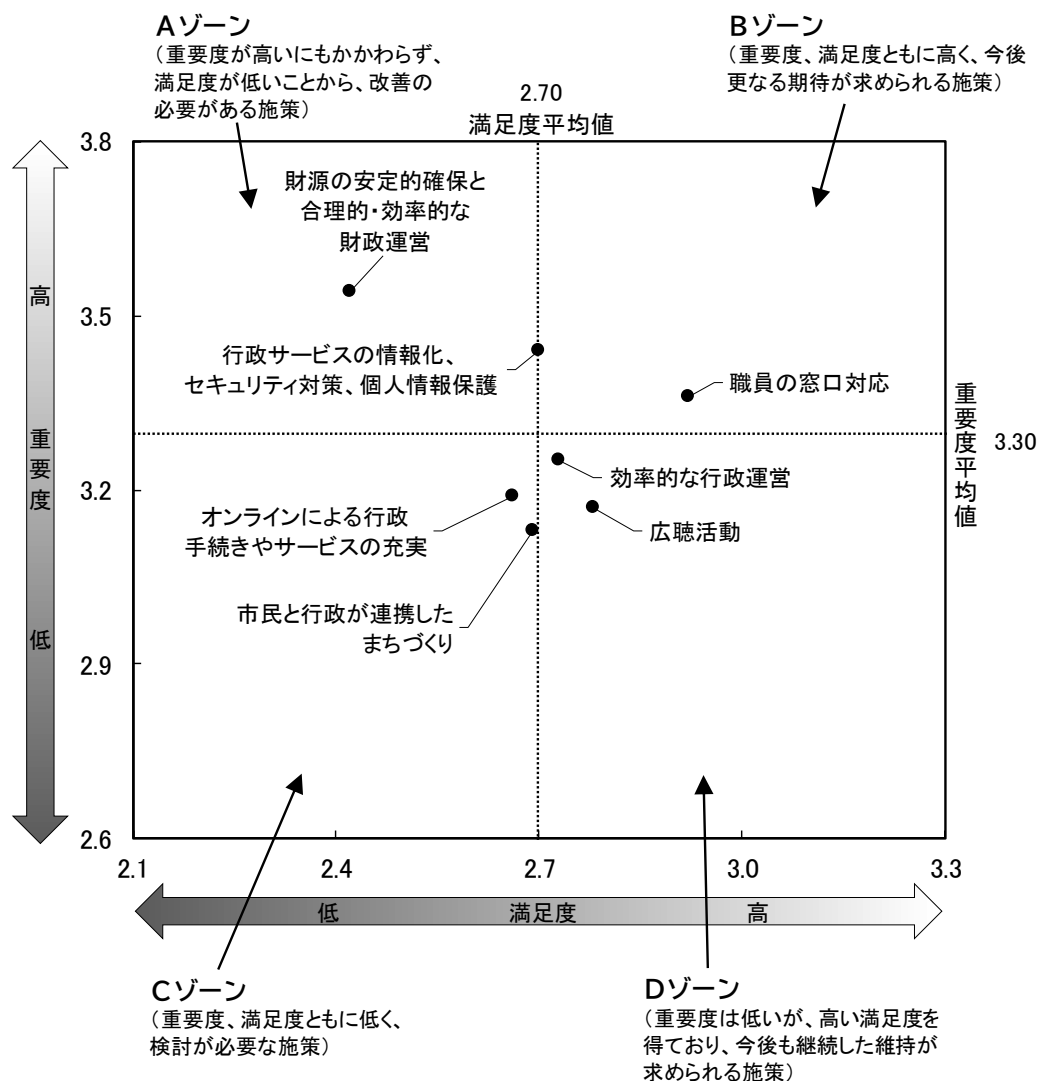
ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	商業環境づくり	2.49	3.33
	雇用機会の創出	2.54	3.23
Bゾーン	工業の振興策	2.65	3.22
	農業の振興と農地の保全	2.69	3.28
Cゾーン	観光事業の活性化	2.60	3.02
Dゾーン	市の魅力発信	2.68	3.09
平均値		2.61	3.20

(6) - ⑤【ゾーニング分析】コンセプト5：くらしを守る



ゾーン	項目	満足度	重要度
Bゾーン	防災体制の整備充実	2.75	3.61
	交通安全対策	2.72	3.50
	防犯体制の充実	2.65	3.61
Cゾーン	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.19	3.41
Dゾーン	消費生活向上の支援	2.62	3.14
平均値		2.59	3.45

(6)-⑥【ゾーニング分析】自治体運営の方針



ゾーン	項目	満足度	重要度
Aゾーン	行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.70	3.44
	財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	2.42	3.54
Bゾーン	職員の窓口対応	2.92	3.36
Cゾーン	市民と行政が連携したまちづくり	2.69	3.13
	オンラインによる行政手続きやサービスの充実	2.66	3.19
Dゾーン	広聴活動	2.78	3.17
	効率的な行政運営	2.73	3.25
平均値		2.70	3.30

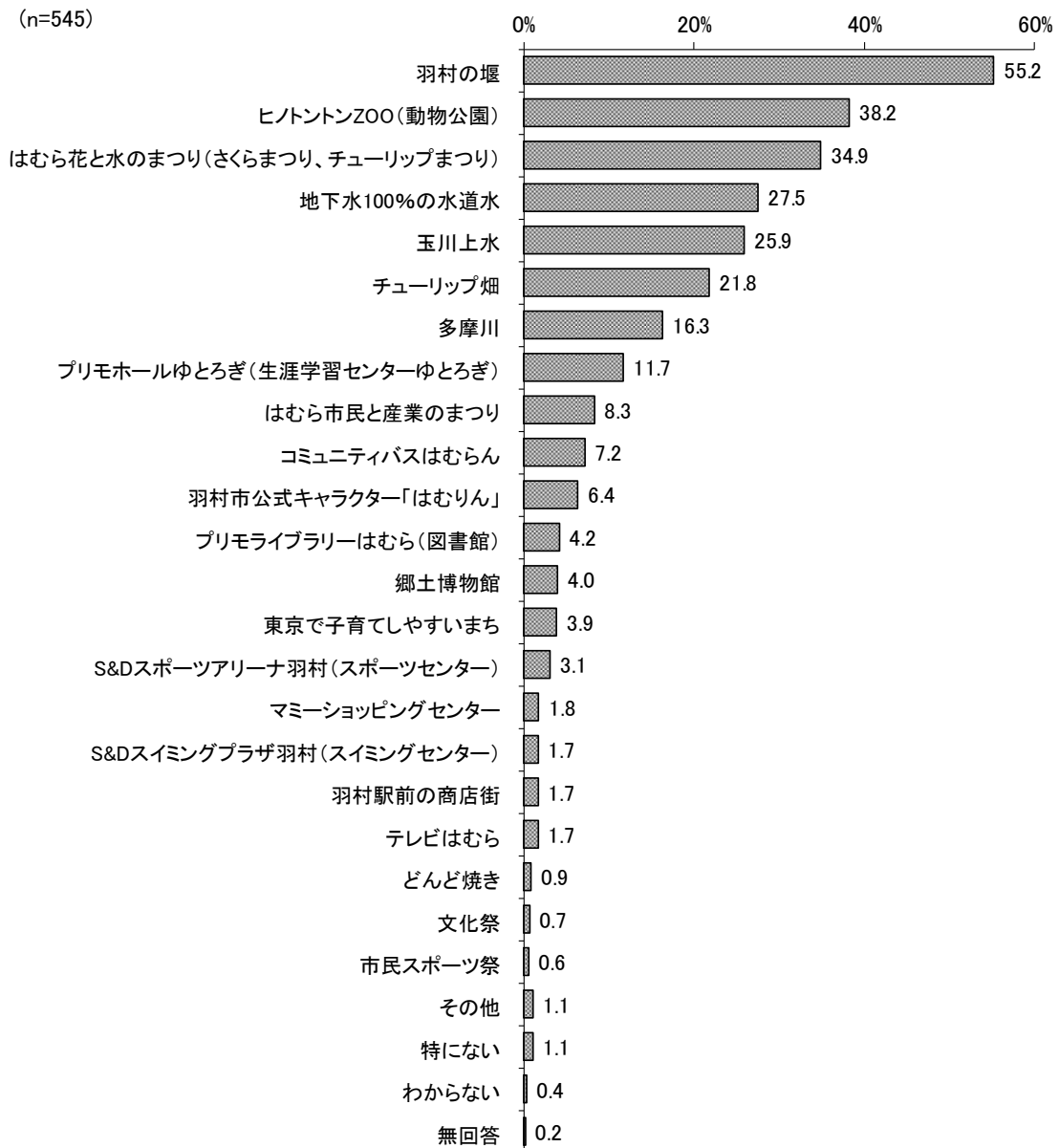
※平均値と同じ得点の項目については、小数点以下第三位までを考慮しています。

3 羽村市の魅力・羽村らしさ

(1) 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事

問4 羽村市に関するキーワードの中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。(〇は3つまで)

全体では、「羽村の堰」が 55.2%と最も高く、次いで「ヒノトントン ZOO（動物公園）」(38.2%)、「はむら花と水のまつり（さくらまつり、チューリップまつり）」(34.9%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
水が美味しい、井戸	2
農産物直売所の地元野菜	1
街全体の美観・景観がきれい 消費者活動・啓蒙運動独自性、歴史	1
その他	2

上位10項目について、過去の調査との比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	羽村の堰	ヒノトン トン Z00 (動物公園) (※1)	はむら花 と水のまつり (さ くらまつり、チュ ーリップ まつり) (※2)	地下水 100%の 水道水(※ 3)	玉川上水	チューリ ップ畑	多摩川	プリモホ ールゆと ろぎ (生 涯学習セ ンターゆ とろぎ) (※4)	はむら市 民と産業 のまつり (※5)	コミュニ ティバス はむらん
今回 (R7)	55.2	38.2	34.9	27.5	25.9	21.8	16.3	11.7	8.3	7.2
前回 (R2)	58.4	42.0	27.0	23.2	17.1	24.0	17.1	6.9	7.1	4.1
前々回 (H27)	57.9	40.3	27.0	22.6	20.7	19.7	19.9	9.1	7.5	6.8

※1 R2、H27 の選択肢は「動物公園」

※2 R2、H27 の選択肢は「花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)」

※3 R2、H27 の選択肢は「地下水 100%の水道水 (ペットボトル水「水はむら」)」

※4 R2、H27 の選択肢は「生涯学習センター「ゆとろぎ」

※5 R2、H27 の選択肢は「産業祭」

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性40歳代]で「ヒノトントン ZOO（動物公園）」（58.3%）が全体よりとても高くなっています。

居住地区で見ると、[羽中]で「多摩川」（40.0%）が全体よりとても高くなっています。

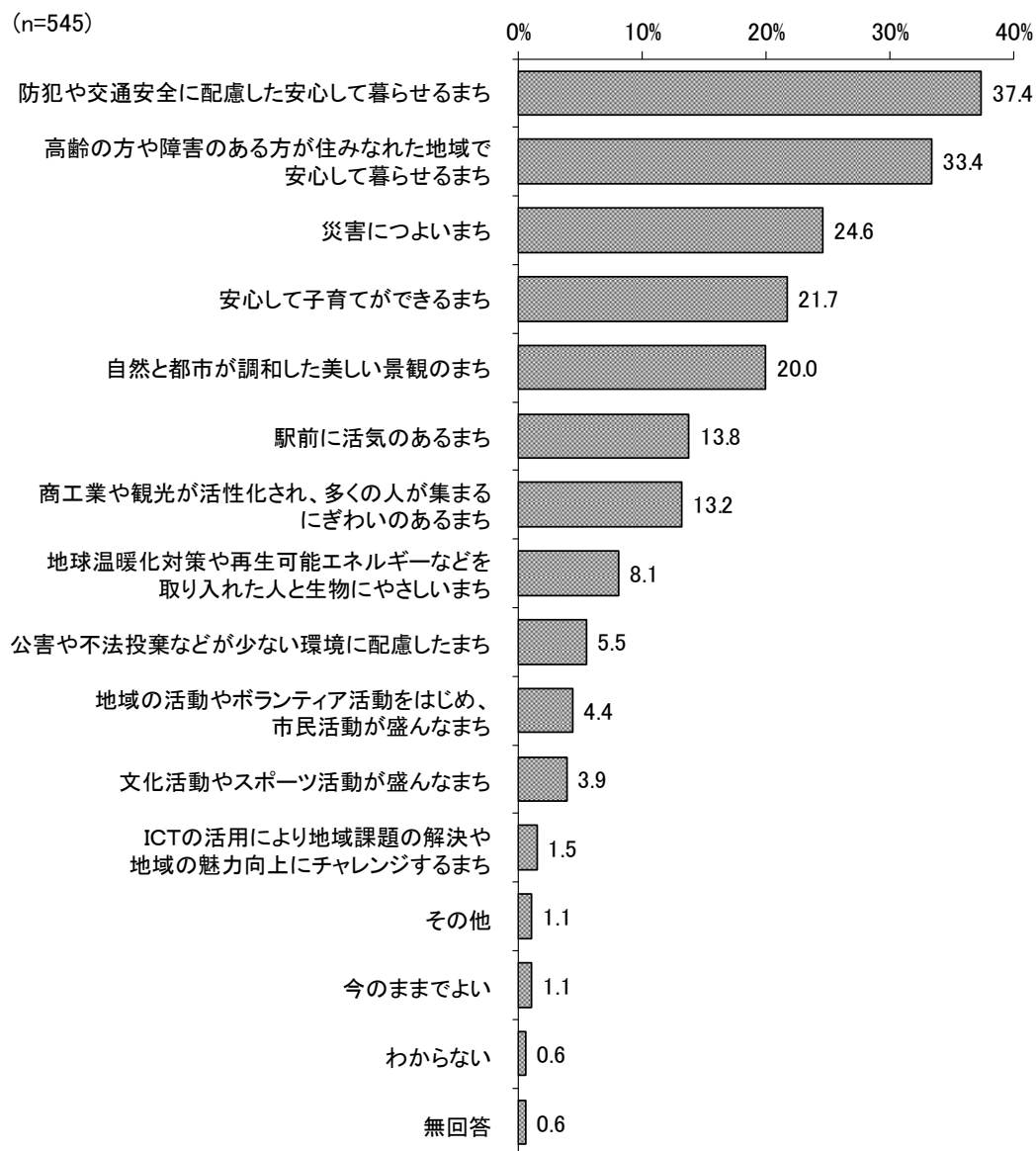
		回答者数(n)	問4 魅力や羽村らしさを感じる市の施設や行事									
			羽村の堰	ヒノトントンZOO(動物公園)	はむら花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)	地下水100%の水道水	玉川上水	チューリップ畑	多摩川	プリモホールゆとろぎ(生涯学習センターゆとろぎ)	はむら市民と産業のまつり	コミュニティバスはむらん
全 体		545	55.2	38.2	34.9	27.5	25.9	21.8	16.3	11.7	8.3	7.2
性別	男	226	60.2	37.6	31.0	22.6	29.6	21.7	19.9	10.6	8.8	3.5
	女	293	51.5	37.9	38.2	31.7	22.2	22.9	14.3	11.9	7.2	9.9
	回答しない	16	■ 43.8	○ 56.3	31.3	18.8	□ 37.5	● 6.3	12.5	6.3	□ 18.8	6.3
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	★ 16.7	□ 50.0	25.0	● 8.3	25.0	16.7	16.7	■ 0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	17	■ 41.2	47.1	29.4	● 11.8	■ 11.8	■ 11.8	23.5	5.9	17.6	□ 17.6
	男・40歳代	27	55.6	☆ 63.0	29.6	● 11.1	25.9	○ 37.0	■ 3.7	14.8	0.0	3.7
	男・50歳代	54	59.3	40.7	27.8	24.1	○ 42.6	20.4	18.5	3.7	5.6	1.9
	男・60歳代	44	63.6	40.9	36.4	18.2	34.1	20.5	20.5	13.6	15.9	0.0
	男・70歳以上	71	○ 73.2	● 19.7	32.4	33.8	23.9	21.1	□ 26.8	15.5	9.9	4.2
	女・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	★ 34.8	43.5	☆ 60.9	□ 39.1	● 8.7	17.4	■ 4.3	17.4	4.3	8.7
	女・30歳代	28	★ 25.0	○ 53.6	☆ 57.1	■ 14.3	25.0	21.4	21.4	7.1	10.7	7.1
	女・40歳代	36	55.6	☆ 58.3	33.3	27.8	■ 11.1	□ 33.3	■ 2.8	11.1	16.7	2.8
	女・50歳代	57	61.4	43.9	35.1	29.8	21.1	17.5	15.8	14.0	3.5	5.3
	女・60歳代	47	53.2	36.2	42.6	19.1	31.9	23.4	10.6	12.8	6.4	14.9
女・70歳以上	101	55.4	● 21.8	28.7	○ 42.6	24.8	23.8	19.8	10.9	5.9	13.9	
居住地区	神明台	80	55.0	42.5	30.0	26.3	26.3	18.8	21.3	12.5	6.3	1.3
	双葉町	29	48.3	□ 48.3	■ 24.1	34.5	31.0	24.1	10.3	6.9	10.3	13.8
	五ノ神	40	47.5	□ 52.5	□ 47.5	25.0	■ 12.5	22.5	■ 2.5	17.5	□ 22.5	10.0
	富士見平・羽4000番台	41	51.2	○ 53.7	26.8	24.4	31.7	22.0	9.8	9.8	7.3	7.3
	緑ヶ丘	61	57.4	42.6	31.1	27.9	23.0	14.8	14.8	□ 23.0	11.5	4.9
	栄町	50	46.0	38.0	36.0	32.0	28.0	28.0	12.0	14.0	4.0	□ 18.0
	小作台	55	52.7	32.7	40.0	32.7	29.1	23.6	7.3	10.9	9.1	7.3
	羽西	29	55.2	34.5	31.0	24.1	■ 13.8	31.0	24.1	6.9	10.3	10.3
	羽加美	45	51.1	■ 24.4	42.2	31.1	20.0	31.1	20.0	11.1	4.4	4.4
	羽中	35	○ 74.3	● 20.0	31.4	28.6	20.0	20.0	☆ 40.0	5.7	0.0	5.7
	羽東	35	□ 65.7	28.6	□ 48.6	22.9	34.3	14.3	17.1	5.7	11.4	2.9
	川崎	22	63.6	40.9	40.9	27.3	22.7	13.6	18.2	4.5	9.1	0.0
	玉川・羽600～700番台	17	64.7	29.4	■ 23.5	17.6	○ 41.2	17.6	23.5	5.9	0.0	11.8
定住意向	ずっと住み続けたい	273	59.3	35.2	39.2	27.1	27.1	24.2	16.1	12.1	8.4	8.4
	当分の間住みたい	202	52.5	39.6	32.2	29.7	26.2	19.8	16.8	10.4	8.4	5.0
	できれば転出したい	47	53.2	44.7	● 19.1	27.7	23.4	19.1	21.3	10.6	4.3	8.5
	転出する	8	★ 25.0	□ 50.0	37.5	★ 0.0	■ 12.5	25.0	12.5	□ 25.0	0.0	0.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(2) 希望する将来の市のまちづくり

問5 将来の羽村市はどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)

全体では、「防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」が 37.4%と最も高く、次いで「高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」(33.4%)、「災害につよいまち」(24.6%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
飢える人のいないまち ある程度食料を自給自足できるまち	1
他所のまねごとばかりでなく、羽村だからこそその良さを生かしたオリジナリティのある市であってほしい	1
人口が減り、少子高齢化が進んでも子育て世代も高齢者も買い物に困らず、誰もが安心して楽しく暮らせるまち	1
30年前の財政が健全な羽村	1
その他	2

上位10項目について、過去の調査と比較すると、今回「災害につよいまち」を新しく設定したため、「防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」が前回の「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」よりやや低くなっています。その他の選択肢は、いずれも大きな変化は見られません。

	防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち(※1)	高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	災害につよいまち(※2)	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち	駅前に活気のあるまち(※3)	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち	地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち	公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち
今回 (R7)	37.4	33.4	24.6	21.7	20.0	13.8	13.2	8.1	5.5	4.4
前回 (R2)	51.9	40.7	-	27.7	23.2	-	10.8	11.3	10.4	3.9
前々回 (H27)	47.3	45.8	-	27.8	23.7	-	12.5	9.5	9.5	7.7

※1 R2、H27の選択肢は「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」

※2 「災害につよいまち」はR7から新設

※3 「駅前に活気のあるまち」はR7から新設

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性70歳以上]で「高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」（53.5%）が全体よりとても高くなっています。

居住地区で見ると、[玉川・羽600～700番台]で「安心して子育てができるまち」（41.2%）が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問5 希望する将来の市のまちづくり									
			防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち	高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち	災害に強いまち	安心して子育てができるまち	自然と都市が調和した美しい景観のまち	駅前に活気のあるまち	商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち	地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち	公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち	地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち
全 体		545	37.4	33.4	24.6	21.7	20.0	13.8	13.2	8.1	5.5	4.4
性 別	男	226	39.8	31.4	18.6	22.1	23.9	15.0	13.7	8.4	7.1	2.2
	女	293	35.2	36.5	28.7	22.5	16.7	11.9	12.3	8.2	4.4	6.1
	回答しない	16	43.8	★ 6.3	31.3	● 6.3	□ 31.3	12.5	18.8	6.3	6.3	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	★ 0.0	★ 8.3	16.7	☆ 41.7	16.7	□ 25.0	□ 25.0	0.0	8.3	0.0
	男・30歳代	17	29.4	★ 11.8	● 5.9	☆ 58.8	29.4	11.8	○ 29.4	5.9	5.9	0.0
	男・40歳代	27	40.7	★ 3.7	25.9	□ 33.3	□ 33.3	18.5	11.1	0.0	7.4	0.0
	男・50歳代	54	□ 48.1	25.9	■ 13.0	16.7	25.9	11.1	14.8	11.1	11.1	1.9
	男・60歳代	44	45.5	38.6	20.5	■ 9.1	□ 34.1	15.9	11.4	9.1	2.3	4.5
	男・70歳以上	71	39.4	○ 50.7	21.1	16.9	12.7	15.5	9.9	11.3	7.0	2.8
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	39.1	★ 8.7	26.1	☆ 47.8	26.1	4.3	17.4	0.0	0.0	0.0
	女・30歳代	28	39.3	★ 3.6	28.6	☆ 53.6	□ 32.1	■ 3.6	7.1	3.6	3.6	14.3
	女・40歳代	36	33.3	30.6	25.0	□ 33.3	■ 5.6	19.4	22.2	2.8	0.0	5.6
	女・50歳代	57	33.3	35.1	33.3	19.3	15.8	15.8	7.0	7.0	7.0	5.3
居住地区	女・60歳代	47	○ 53.2	40.4	21.3	■ 8.5	14.9	12.8	10.6	8.5	6.4	8.5
	女・70歳以上	101	■ 26.7	☆ 53.5	30.7	11.9	15.8	10.9	12.9	13.9	5.0	5.0
	神明台	80	31.3	32.5	25.0	20.0	21.3	15.0	13.8	6.3	3.8	7.5
	双葉町	29	37.9	34.5	24.1	17.2	□ 34.5	10.3	3.4	13.8	10.3	0.0
	五ノ神	40	45.0	■ 20.0	20.0	20.0	□ 32.5	12.5	22.5	2.5	5.0	5.0
	富士見平・羽4000番台	41	41.5	36.6	17.1	19.5	22.0	17.1	17.1	7.3	2.4	2.4
	緑ヶ丘	61	34.4	39.3	21.3	13.1	11.5	19.7	14.8	9.8	4.9	9.8
	栄町	50	46.0	□ 44.0	24.0	24.0	16.0	10.0	8.0	2.0	6.0	4.0
	小作台	55	36.4	30.9	23.6	16.4	21.8	14.5	18.2	7.3	9.1	1.8
	羽西	29	41.4	31.0	24.1	□ 34.5	■ 6.9	10.3	13.8	17.2	10.3	0.0
	羽加美	45	40.0	28.9	28.9	26.7	15.6	13.3	8.9	13.3	4.4	6.7
	羽中	35	37.1	34.3	34.3	25.7	17.1	14.3	5.7	5.7	8.6	2.9
	羽東	35	40.0	40.0	25.7	25.7	28.6	8.6	8.6	5.7	0.0	0.0
定住意向	川崎	22	31.8	● 18.2	□ 36.4	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	0.0	4.5
	玉川・羽600～700番台	17	■ 23.5	29.4	17.6	○ 41.2	23.5	5.9	5.9	11.8	11.8	5.9
	ずっと住み続けたい	273	40.7	40.3	26.4	19.8	17.9	13.6	12.8	10.3	5.1	3.3
	当分の間住みたい	202	37.1	28.2	21.8	24.8	23.8	12.9	13.4	5.4	5.0	5.9
	できれば転出したい	47	● 21.3	■ 21.3	31.9	17.0	19.1	19.1	14.9	6.4	10.6	2.1
	転出する	8	■ 25.0	★ 12.5	★ 0.0	25.0	12.5	□ 25.0	12.5	0.0	12.5	12.5

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

4 暮らしへの満足度・幸福度について

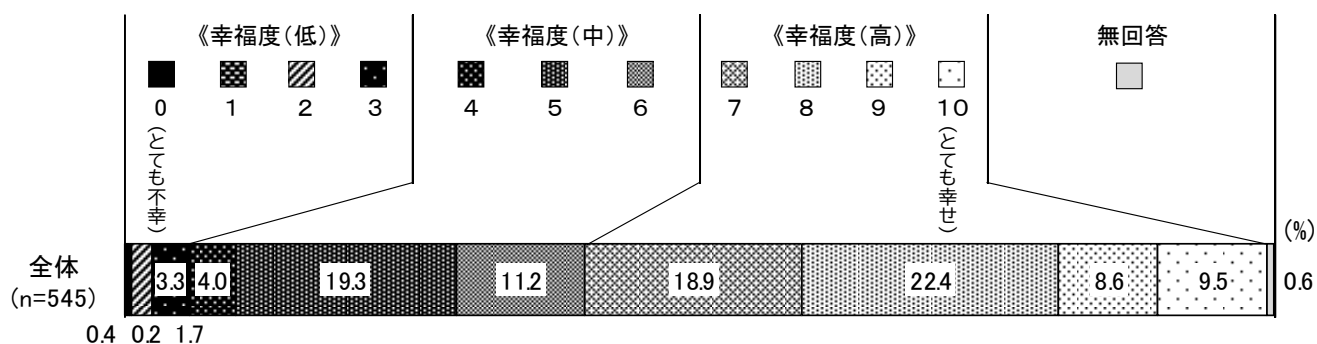
(1) 幸福度

問6 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。(○は1つ)

全体では、「8」の割合が22.4%と最も高く、次いで「5」が19.3%、「7」が18.9%と続いており、平均値は6.81となっています。

幸福度の0～3点を《幸福度(低)》、4～6点を《幸福度(中)》、7～10点を《幸福度(高)》の3区分で算出すると、《幸福度(高)》が59.4%と最も高く、次いで《幸福度(中)》が34.5%、《幸福度(低)》が5.6%となっています。



《幸福度（低）》、《幸福度（中）》、《幸福度（高）》の3区分を性・年代別で見ると、[女性50歳代]で《幸福度（高）》（75.5%）が全体より高くなっています。

居住地区で見ると、[五ノ神]と[羽中]で《幸福度（高）》が全体よりやや高くなっています。

定住意向で見ると、[できれば転出したい]で《幸福度（高）》（38.3%）が全体よりとても低くなっています。

		回答者数 (n)	問6 幸福度について			
			幸福度 (低)	幸福度 (中)	幸福度 (高)	無回答
全 体		545	5.6	34.5	59.4	0.6
性 別	男	226	6.6	35.4	57.0	0.9
	女	293	3.7	33.8	62.1	0.3
	回答しない	16	□ 18.9	43.8	★ 37.6	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	0.0	41.6	58.3	0.0
	男・30歳代	17	11.8	29.5	58.8	0.0
	男・40歳代	27	7.4	■ 22.2	□ 70.3	0.0
	男・50歳代	54	7.4	31.5	61.2	0.0
	男・60歳代	44	4.5	□ 45.5	49.9	0.0
	男・70歳以上	71	7.0	38.0	52.0	2.8
	女・20歳未満	1	0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	女・20歳代	23	0.0	☆ 56.5	● 43.4	0.0
	女・30歳代	28	7.2	■ 21.4	□ 71.4	0.0
	女・40歳代	36	2.8	38.9	58.4	0.0
	女・50歳代	57	3.5	■ 21.1	○ 75.5	0.0
	女・60歳代	47	4.2	36.2	59.6	0.0
	女・70歳以上	101	4.0	36.6	58.5	1.0
居 住 地 区	神明台	80	6.3	40.1	51.3	2.5
	双葉町	29	10.3	★ 10.3	○ 79.2	0.0
	五ノ神	40	2.5	27.5	□ 70.0	0.0
	富士見平・羽4000番台	41	4.9	39.0	56.2	0.0
	緑ヶ丘	61	6.5	37.7	55.8	0.0
	栄町	50	2.0	40.0	58.0	0.0
	小作台	55	3.6	32.7	63.7	0.0
	羽西	29	13.7	37.9	■ 48.2	0.0
	羽加美	45	4.4	31.1	64.5	0.0
	羽中	35	2.9	25.8	□ 71.5	0.0
	羽東	35	5.8	31.4	62.8	0.0
	川崎	22	4.5	40.9	54.5	0.0
	玉川・羽600～700番台	17	5.9	□ 47.1	■ 47.1	0.0
居 住 年 数	3年未満	32	3.1	31.3	62.6	3.1
	3年以上5年未満	14	14.2	■ 21.4	64.2	0.0
	5年以上10年未満	35	8.7	28.6	62.9	0.0
	10年以上20年未満	69	1.4	□ 49.2	■ 49.2	0.0
	20年以上	393	5.9	33.1	60.8	0.3
定 住 意 向	ずっと住み続けたい	273	3.0	30.8	65.9	0.4
	当分の間住みたい	202	5.0	37.1	57.0	1.0
	できれば転出したい	47	□ 19.2	42.5	★ 38.3	0.0
	転出する	8	12.5	25.0	62.5	0.0

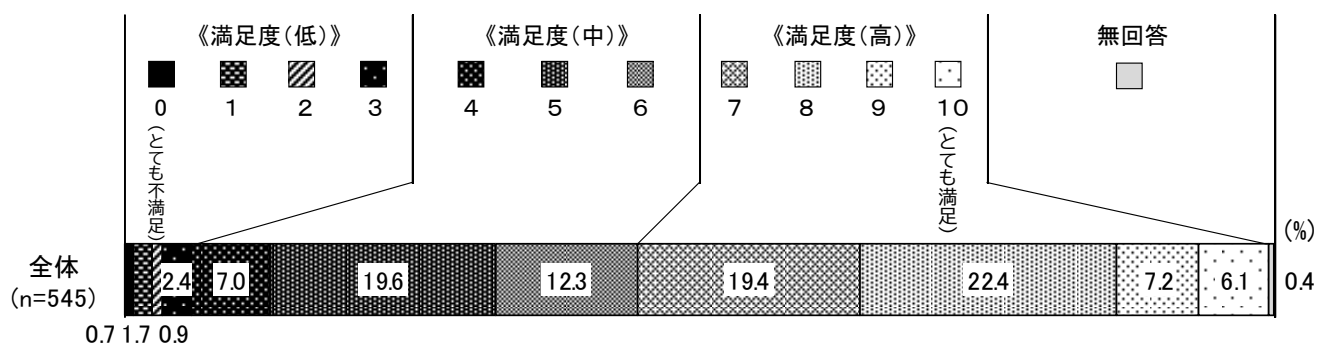
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(2) 地域の暮らしへの満足度

問7 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけお答えください。(○は1つ)

全体では、「8」の割合が22.4%と最も高く、次いで「5」が19.6%、「7」が19.4%と続いております。

満足度の0～3点を《満足度(低)》、4～6点を《満足度(中)》、7～10点を《満足度(高)》の3区分で算出すると、《満足度(高)》が55.1%と最も高く、次いで《満足度(中)》が38.9%、《満足度(低)》が5.7%となっています。



《満足度（低）》、《満足度（中）》、《満足度（高）》の3区分を性・年代別で見たところ、全体との大きな差は見られませんでした。

居住地区で見ると、[五ノ神]と[羽中]で《満足度（高）》が全体よりやや高くなっています。

定住意向で見ると、[できれば転出したい]で《満足度（低）》（29.8%）が全体よりとても高くなっています。また、[ずっと住みたい]で《満足度（高）》（68.1%）が全体よりやや高くなっています。

		回答者数 (n)	問7 地域の暮らしへの満足度について			
			満足度 (低)	満足度 (中)	満足度 (高)	無回答
全 体		545	5.7	38.9	55.1	0.4
性 別	男	226	6.7	36.7	56.2	0.4
	女	293	4.8	39.9	54.9	0.3
	回答しない	16	6.3	☆ 62.6	★ 31.3	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	8.3	33.3	58.3	0.0
	男・30歳代	17	11.8	41.1	47.0	0.0
	男・40歳代	27	11.1	■ 25.9	62.9	0.0
	男・50歳代	54	5.6	42.7	51.9	0.0
	男・60歳代	44	4.6	36.4	59.1	0.0
	男・70歳以上	71	5.6	36.7	56.2	1.4
	女・20歳未満	1	0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	女・20歳代	23	0.0	47.7	52.1	0.0
	女・30歳代	28	7.2	● 21.5	○ 71.4	0.0
	女・40歳代	36	8.4	41.6	49.9	0.0
	女・50歳代	57	5.3	33.3	61.4	0.0
	女・60歳代	47	4.2	44.6	51.1	0.0
	女・70歳以上	101	4.0	44.5	50.6	1.0
居 住 地 区	神明台	80	5.1	46.3	47.6	1.3
	双葉町	29	0.0	■ 27.5	○ 72.3	0.0
	五ノ神	40	5.0	■ 25.0	□ 70.0	0.0
	富士見平・羽4000番台	41	2.4	43.9	53.6	0.0
	緑ヶ丘	61	4.9	47.5	47.6	0.0
	栄町	50	2.0	40.0	58.0	0.0
	小作台	55	3.6	41.8	54.6	0.0
	羽西	29	6.8	37.9	55.1	0.0
	羽加美	45	11.0	■ 28.9	60.0	0.0
	羽中	35	5.8	■ 25.7	□ 68.6	0.0
	羽東	35	14.4	■ 25.7	60.1	0.0
	川崎	22	4.5	□ 50.0	45.4	0.0
	玉川・羽600～700番台	17	11.8	○ 58.8	★ 29.4	0.0
居 住 年 数	3年未満	32	0.0	37.5	62.5	0.0
	3年以上5年未満	14	7.1	● 21.4	○ 71.4	0.0
	5年以上10年未満	35	2.9	40.0	57.2	0.0
	10年以上20年未満	69	10.1	39.0	50.6	0.0
	20年以上	393	5.6	39.5	54.7	0.3
定 住 意 向	ずっと住みたい	273	1.9	29.7	□ 68.1	0.4
	当分の間住みたい	202	4.5	47.5	47.6	0.5
	できれば転出したい	47	☆ 29.8	□ 51.1	★ 19.2	0.0
	転出する	8	12.5	□ 50.0	● 37.5	0.0

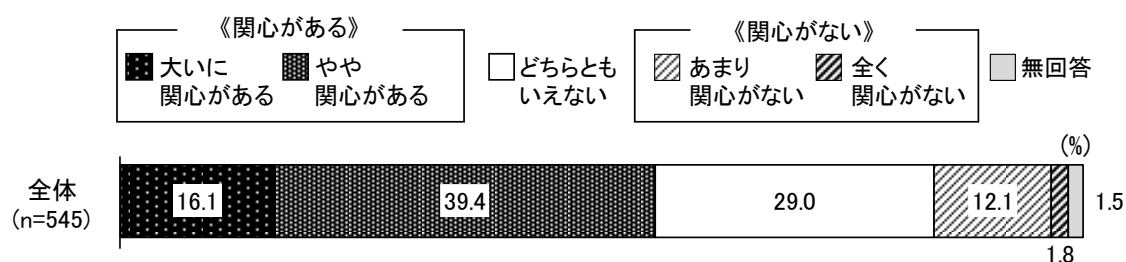
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

5 市政への関心度

(1) 市政への関心度

問8 あなたは市政にどの程度関心をもっていますか。次の中から選んでください。
(○は1つ)

全体では、《関心がある》(「大いに関心がある」＋「やや関心がある」)が55.5%、「どちらともいえない」(29.0%)、《関心がない》(「あまり関心がない」＋「全く関心がない」)(13.9%)となっています。



過去の調査と比較すると、《関心がある》は40%台後半～50%台半ば、《関心がない》は10%台前半で推移しており、大きな変化は見られません。

	大いに関心がある	やや関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	全く関心がない
今回 (R7)	16.1	39.4	29.0	12.1	1.8
前回 (R2)	9.3	37.8	32.5	14.1	2.8
前々回 (H27)	18.5	39.8	23.4	14.1	2.3

性・年代別で見ると、[男性70歳以上]で「大いに興味がある」(26.8%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性40歳代]で「あまり関心がない」(22.2%)が全体よりやや高くなっています。

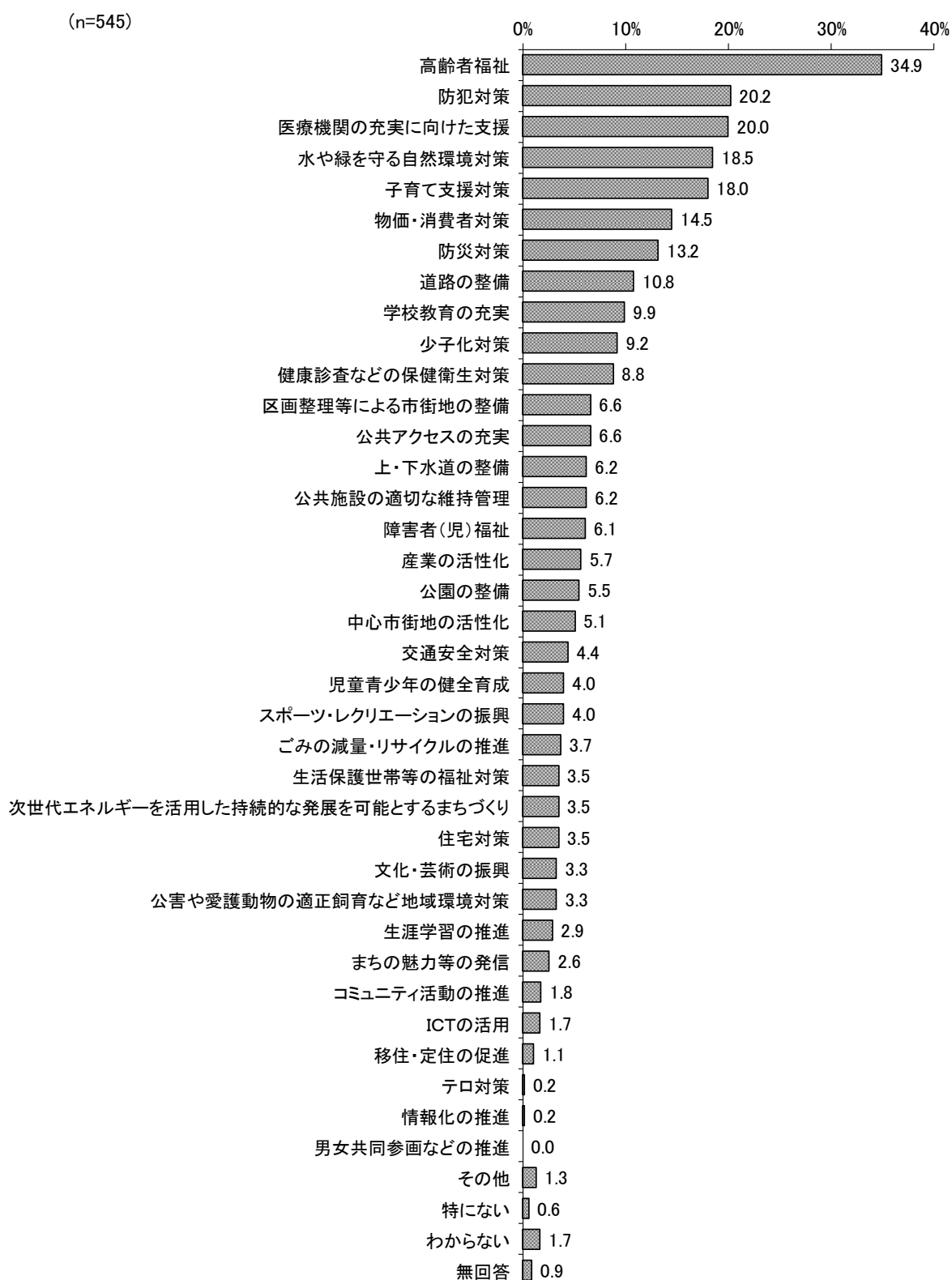
		回答者数 (n)	問8 市政への関心度					
			大いに興味 がある	やや関心が ある	どちらともい えない	あまり関心 がない	全く関心が ない	無回答
全 体		545	16.1	39.4	29.0	12.1	1.8	1.5
性 別	男	226	23.0	38.1	27.9	9.3	0.9	0.9
	女	293	11.3	40.6	30.4	14.0	2.0	1.7
	回答しない	16	18.8	37.5	■ 18.8	12.5	□ 12.5	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	● 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	8.3	☆ 66.7	★ 8.3	16.7	0.0	0.0
	男・30歳代	17	○ 35.3	35.3	● 11.8	11.8	5.9	0.0
	男・40歳代	27	22.2	48.1	■ 18.5	11.1	0.0	0.0
	男・50歳代	54	22.2	31.5	33.3	11.1	1.9	0.0
	男・60歳代	44	18.2	29.5	36.4	13.6	0.0	2.3
	男・70歳以上	71	□ 26.8	40.8	29.6	■ 1.4	0.0	1.4
	女・20歳未満	1	● 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	■ 4.3	34.8	■ 17.4	☆ 34.8	8.7	0.0
	女・30歳代	28	14.3	46.4	28.6	7.1	3.6	0.0
	女・40歳代	36	■ 2.8	41.7	30.6	□ 22.2	2.8	0.0
	女・50歳代	57	10.5	43.9	29.8	14.0	1.8	0.0
	女・60歳代	47	8.5	40.4	38.3	8.5	2.1	2.1
	女・70歳以上	101	16.8	38.6	30.7	9.9	0.0	4.0
定 住 意 向	ずっと住み続けたい	273	19.0	41.4	27.1	8.8	1.1	2.6
	当分の間住みたい	202	11.9	40.1	29.7	15.8	2.0	0.5
	できれば転出したい	47	17.0	34.0	29.8	14.9	4.3	0.0
	転出する	8	12.5	★ 12.5	☆ 62.5	12.5	0.0	0.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2) 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組

問9 市の取組の中で、今後あなたが市に特に力を入れてほしいと思う取組、新たに実施してもらいたい取組はどんなことですか。次の中から選んでください。
(〇は3つまで)

全体では、「高齢者福祉」が34.9%と最も高く、次いで「防犯対策」(20.2%)、「医療機関の充実に向けた支援」(20.0%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
夏祭りの復活	2
横田基地の飛行ルートと騒音対策	1
核家族が増えているので、将来に向けて安否確認サービスのような窓口がほしい（スマホを利用しての）	1
PFAS の汚染源の特定とその発生防止、PFAS に関する市内在住者の健康調査並びに水源及び水道の水質のモニタリング	1
財政の立て直し区画整理の縮小	1
再開発	1

上位10項目について、過去の調査と比較すると、「物価・消費者対策」が前回よりやや高くなっています。

	高齢者福祉	防犯対策	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策	子育て支援対策	物価・消費者対策	防災対策	道路の整備	学校教育の充実	少子化対策
今回（R7）	34.9	20.2	20.0	18.5	18.0	14.5	13.2	10.8	9.9	9.2
前回（R2）	33.8	19.0	28.1	22.3	18.0	3.3	17.3	8.7	14.7	6.9
前々回（H27）	44.8	18.7	27.6	23.2	23.0	5.2	14.5	8.7	13.5	8.3

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性60歳代]で「高齢者福祉」(59.6%)が全体よりも高くなっています。

居住地区で見ると、[栄町]で「医療機関の充実に向けた支援」(30.0%)が、[羽加美]で「防災対策」(26.7%)が、[羽中]で「道路の整備」(22.9%)が全体よりやや高くなっています。

定住意向で見ると、[できれば転出したい]で「高齢者福祉」(12.8%)が全体よりも低くなっています。

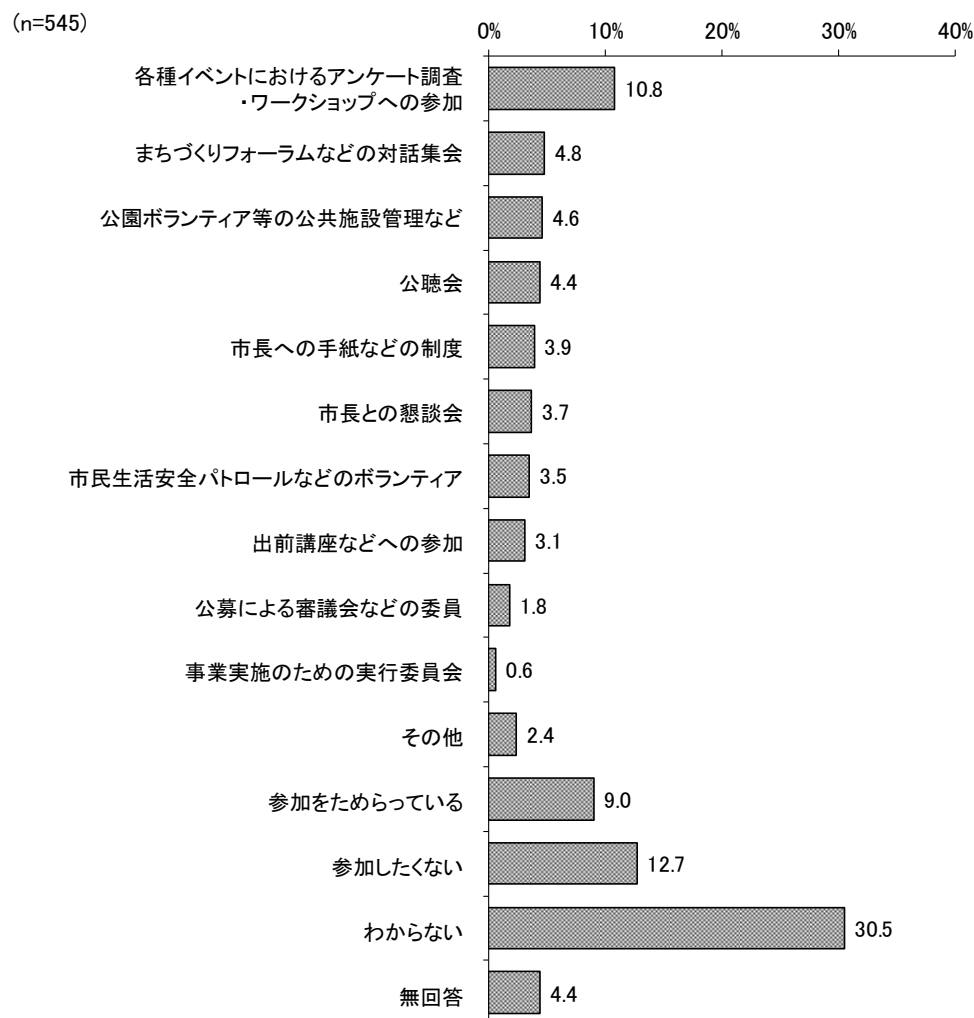
		回答者数(n)	問9 力を入れてほしい、実施してもらいたい取組										
			高齢者福祉	防犯対策	医療機関の充実に向けた支援	水や緑を守る自然環境対策	子育て支援対策	物価・消費者対策	防災対策	道路の整備	学校教育の充実	少子化対策	
全 体		545	34.9	20.2	20.0	18.5	18.0	14.5	13.2	10.8	9.9	9.2	
性別	男	226	32.7	22.6	18.1	15.0	19.0	13.3	10.2	10.6	8.8	12.8	
	女	293	37.2	17.4	22.2	21.2	17.7	14.3	16.0	10.9	10.9	6.5	
	回答しない	16	★ 12.5	□ 31.3	18.8	25.0	■ 6.3	○ 31.3	■ 0.0	12.5	12.5	12.5	
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	☆ 100.0	
	男・20歳代	12	★ 0.0	16.7	■ 8.3	■ 8.3	☆ 50.0	8.3	■ 0.0	■ 0.0	○ 25.0	○ 25.0	
	男・30歳代	17	● 17.6	23.5	■ 5.9	17.6	☆ 47.1	11.8	■ 0.0	5.9	□ 23.5	□ 23.5	
	男・40歳代	27	★ 14.8	29.6	11.1	11.1	○ 37.0	14.8	7.4	11.1	□ 22.2	14.8	
	男・50歳代	54	29.6	□ 33.3	16.7	22.2	11.1	5.6	16.7	9.3	5.6	5.6	
	男・60歳代	44	□ 47.7	20.5	22.7	18.2	15.9	■ 4.5	11.4	6.8	2.3	15.9	
	男・70歳以上	71	42.3	14.1	23.9	9.9	■ 7.0	□ 25.4	9.9	15.5	4.2	9.9	
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	
	女・20歳代	23	★ 8.7	21.7	17.4	13.0	○ 34.8	13.0	4.3	4.3	☆ 30.4	○ 26.1	
	女・30歳代	28	★ 7.1	14.3	14.3	25.0	☆ 60.7	10.7	17.9	14.3	□ 21.4	14.3	
	女・40歳代	36	■ 22.2	22.2	16.7	13.9	□ 30.6	16.7	□ 25.0	5.6	□ 22.2	8.3	
	女・50歳代	57	28.1	19.3	28.1	19.3	15.8	15.8	21.1	12.3	7.0	3.5	
	女・60歳代	47	☆ 59.6	19.1	21.3	25.5	■ 4.3	14.9	14.9	10.6	2.1	0.0	
	女・70歳以上	101	○ 52.5	13.9	24.8	22.8	■ 5.0	13.9	12.9	12.9	5.0	4.0	
居住地区	神明台	80	41.3	20.0	17.5	16.3	20.0	20.0	11.3	7.5	11.3	13.8	
	双葉町	29	37.9	27.6	□ 31.0	□ 31.0	17.2	10.3	13.8	10.3	10.3	13.8	
	五ノ神	40	30.0	12.5	20.0	20.0	20.0	17.5	7.5	7.5	15.0	2.5	
	富士見平・羽4000番台	41	31.7	12.2	14.6	12.2	19.5	19.5	14.6	7.3	4.9	4.9	
	緑ヶ丘	61	34.4	26.2	21.3	16.4	16.4	8.2	16.4	8.2	11.5	6.6	
	栄町	50	34.0	24.0	□ 30.0	10.0	20.0	16.0	14.0	14.0	8.0	14.0	
	小作台	55	36.4	27.3	16.4	10.9	18.2	14.5	10.9	7.3	10.9	7.3	
	羽西	29	□ 48.3	□ 31.0	10.3	24.1	17.2	10.3	6.9	17.2	10.3	10.3	
	羽加美	45	28.9	22.2	15.6	20.0	17.8	11.1	□ 26.7	15.6	6.7	15.6	
	羽中	35	28.6	11.4	25.7	25.7	20.0	20.0	5.7	□ 22.9	17.1	5.7	
	羽東	35	40.0	17.1	22.9	22.9	8.6	11.4	14.3	8.6	5.7	5.7	
	川崎	22	■ 22.7	18.2	13.6	22.7	18.2	13.6	13.6	4.5	9.1	9.1	
	玉川・羽600～700番台	17	29.4	★ 0.0	29.4	□ 29.4	17.6	11.8	17.6	17.6	5.9	5.9	
	定住意向	ずっと住み続けたい	273	41.8	21.2	21.2	18.7	14.3	15.0	15.4	10.6	7.7	9.2
当分の間住みたい		202	30.7	20.8	18.3	19.3	21.3	15.3	11.9	8.9	11.4	10.4	
できれば転出したい		47	★ 12.8	12.8	17.0	12.8	23.4	10.6	8.5	17.0	19.1	4.3	
転出する		8	★ 12.5	12.5	25.0	12.5	○ 37.5	■ 0.0	■ 0.0	12.5	0.0	12.5	

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(3) 市政への参加・協働意向

問 10 市では、「市政への市民参画・市民との協働」を進めています。あなたは、どのような形で市政に参加・協働したいと思いますか。次の中から選んでください。(○は1つ)

全体では、「各種イベントにおけるアンケート調査・ワークショップへの参加」が 10.8%、「まちづくりフォーラムなどの対話集会」が 4.8%、「公園ボランティア等の公共施設管理など」が 4.6%と続き、参加意向全体としては 43.6%と半数を下回っています。一方で、「わからない」(30.5%)が約 30%を占めています。



「その他」の回答内容	件数
高齢のため、または体力的に参加できない	4
時間が取れない	2
アプリや SNS を活用した情報公開や、チャットやメッセージ機能で市民の意見を吸い上げたり、回答を行うなど	2
町内会の役員などを通して参加	1
イベントへ参加	1
その他	3

上位10項目について、過去の調査と比較すると、今回新しく設定した「各種イベントにおけるアンケート調査・ワークショップへの参加」（10.8％）が「わからない」・「参加したくない」を除いた項目で最も高くなっています。その他の選択肢はいずれも大きな変化は見られません。

	各種イベントにおけるアンケート調査・ワークショップへの参加(※1)	まちづくりフォーラムなどの対話集会	公園ボランティア等の公共施設管理など	公聴会	市長への手紙などの制度	市長との懇談会(※2)	市民生活安全パトロールなどのボランティア(※3)	わからない	参加したくない	参加をためらっている
今回 (R7)	10.8	4.8	4.6	4.4	3.9	3.7	3.5	30.5	12.7	9.0
前回 (R2)	-	4.8	4.8	6.3	6.3	3.7	3.2	29.0	13.4	12.6
前々回 (H27)	-	6.2	7.5	6.4	5.0	4.2	7.1	25.9	7.3	12.7

※1 「各種イベントにおけるアンケート調査・ワークショップへの参加」はR7から新設

※2 R2、H27の選択肢は「市長とトークなどの懇談会」

※3 R2、H27の選択肢は「捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア」

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性60歳代]で「わからない」（46.8％）が全体より高くなっています。

定住意向で見ると、[できれば転出したい]で「参加したくない」（23.4％）が全体よりやや高くなっています。

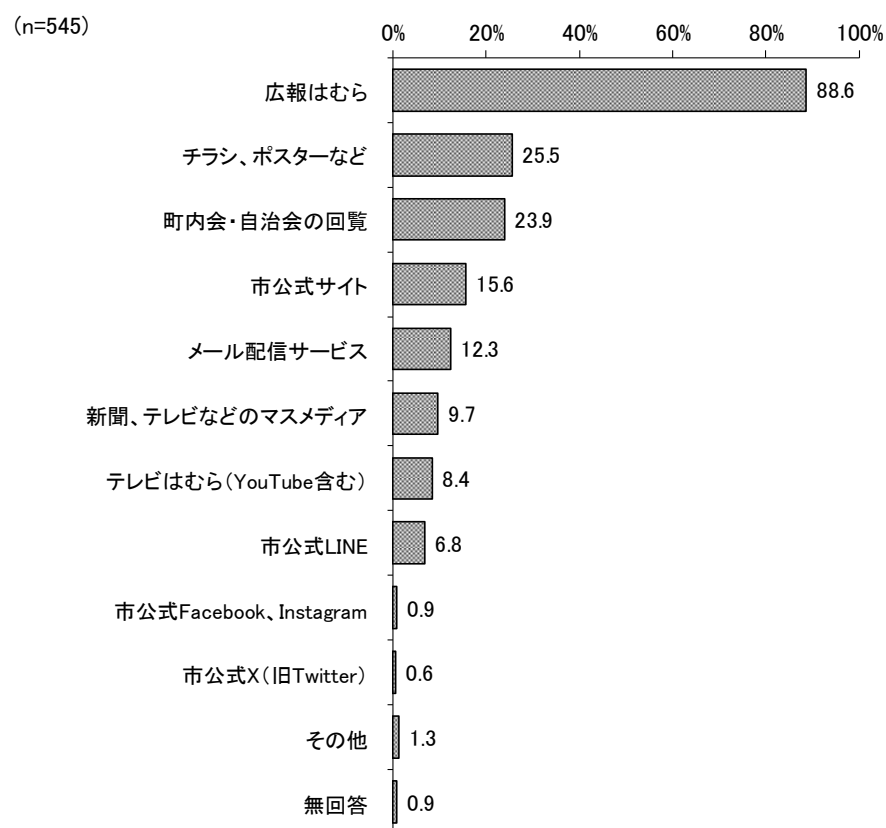
		回答者 数(n)	問10 市政への参加・協働意向									
			各種イベント における アンケート 調査・ワー クショップ への参加	まちづくり フォーラム などの対 話集会	公園ボラン ティア等の 公共施設 管理など	公聴会	市長への 手紙など の制度	市長との 懇談会	市民生活 安全パト ロールな どのボラン ティア	わからな い	参加したく ない	参加をた めらってい る
全 体		545	10.8	4.8	4.6	4.4	3.9	3.7	3.5	30.5	12.7	9.0
性 別	男	226	7.5	6.6	4.9	7.5	4.0	6.2	4.9	26.5	11.9	9.7
	女	293	13.3	3.4	4.4	2.4	3.4	2.0	2.7	33.8	13.3	7.8
	回答しない	16	18.8	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	■ 18.8	18.8	○ 25.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	★ 0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	16.7	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	□ 41.7	□ 25.0	8.3
	男・30歳代	17	5.9	11.8	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	35.3	○ 29.4	0.0
	男・40歳代	27	14.8	3.7	0.0	11.1	11.1	3.7	0.0	● 14.8	14.8	14.8
	男・50歳代	54	7.4	5.6	13.0	7.4	5.6	3.7	5.6	31.5	13.0	3.7
	男・60歳代	44	6.8	6.8	0.0	4.5	0.0	4.5	9.1	34.1	9.1	9.1
	男・70歳以上	71	4.2	8.5	4.2	8.5	4.2	9.9	5.6	■ 18.3	5.6	15.5
	女・20歳未満	1	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	★ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0
	女・20歳代	23	□ 21.7	0.0	8.7	4.3	4.3	0.0	4.3	30.4	8.7	0.0
	女・30歳代	28	☆ 32.1	10.7	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0	25.0	17.9	0.0
	女・40歳代	36	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	2.8	0.0	□ 41.7	22.2	5.6
	女・50歳代	57	19.3	1.8	1.8	3.5	0.0	0.0	3.5	36.8	17.5	8.8
	女・60歳代	47	8.5	0.0	8.5	2.1	0.0	2.1	4.3	○ 46.8	6.4	8.5
	女・70歳以上	101	5.9	5.9	5.0	2.0	5.9	4.0	3.0	26.7	10.9	10.9
定 住 意 向	ずっと住み続けたい	273	9.9	5.9	5.1	4.0	2.6	4.0	2.9	29.7	11.0	11.0
	当分の間住みたい	202	11.9	3.0	3.5	5.0	4.0	4.0	5.0	34.7	12.4	6.4
	できれば転出したい	47	14.9	6.4	4.3	4.3	6.4	2.1	0.0	27.7	□ 23.4	4.3
	転出する	8	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	● 12.5	□ 25.0	12.5

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(4) 市政に関する情報の入手手段

問 11 あなたは、市政に関する情報をどのような手段で得ることが多いですか。
(〇は3つまで)

全体では、「広報はむら」が 88.6%と最も高く、次いで「チラシ、ポスターなど」(25.5%)、「町内会・自治会の回覧」(23.9%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
口コミ	2
情報を得られていない	2
市政報告会	1
その他	2

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性40歳代]で「町内会・自治会の回覧」(8.3%)が全体より低くなっています。

居住年数で見ると、[3年未満]で「広報はむら」(62.5%)と「町内会・自治会の回覧」(3.1%)が全体よりとても低く、「チラシ、ポスターなど」(40.6%)が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問11 市政に関する情報の入手手段									
			広報はむら	チラシ、ポスターなど	町内会・自治会の回覧	市公式サイト	メール配信サービス	新聞、テレビなどのマスメディア	テレビはむら (YouTube含む)	市公式LINE	市公式Facebook、Instagram	市公式X(旧Twitter)
全 体		545	88.6	25.5	23.9	15.6	12.3	9.7	8.4	6.8	0.9	0.6
性別	男	226	86.7	24.3	24.3	21.2	11.1	11.9	8.4	5.3	0.9	1.3
	女	293	89.8	25.9	24.9	11.9	14.0	7.2	7.8	7.5	0.7	0.0
	回答しない	16	87.5	25.0	● 6.3	12.5	6.3	18.8	6.3	□ 18.8	6.3	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	12	★ 66.7	25.0	★ 0.0	16.7	■ 0.0	0.0	8.3	○ 25.0	0.0	0.0
	男・30歳代	17	● 70.6	29.4	■ 11.8	23.5	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・40歳代	27	85.2	■ 14.8	25.9	22.2	7.4	0.0	7.4	□ 18.5	3.7	3.7
	男・50歳代	54	83.3	24.1	20.4	24.1	16.7	5.6	7.4	5.6	0.0	0.0
	男・60歳代	44	95.5	27.3	20.5	22.7	□ 22.7	15.9	6.8	0.0	2.3	0.0
	男・70歳以上	71	93.0	23.9	□ 36.6	18.3	4.2	□ 21.1	12.7	1.4	0.0	1.4
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	★ 43.5	34.8	17.4	17.4	4.3	8.7	13.0	0.0	4.3	0.0
	女・30歳代	28	● 71.4	□ 39.3	21.4	□ 28.6	3.6	0.0	10.7	□ 17.9	3.6	0.0
	女・40歳代	36	94.4	19.4	● 8.3	8.3	22.2	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0
	女・50歳代	57	96.5	17.5	15.8	12.3	12.3	1.8	3.5	12.3	0.0	0.0
	女・60歳代	47	97.9	23.4	23.4	8.5	19.1	6.4	10.6	8.5	0.0	0.0
女・70歳以上	101	97.0	28.7	□ 38.6	8.9	14.9	14.9	9.9	3.0	0.0	0.0	
居住年数	3年未満	32	★ 62.5	○ 40.6	★ 3.1	□ 28.1	3.1	9.4	9.4	9.4	6.3	0.0
	3年以上5年未満	14	85.7	□ 35.7	● 7.1	21.4	■ 0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0
	5年以上10年未満	35	85.7	28.6	● 8.6	20.0	8.6	0.0	5.7	14.3	2.9	0.0
	10年以上20年未満	69	85.5	20.3	17.4	13.0	8.7	4.3	5.8	11.6	0.0	1.4
	20年以上	393	91.9	24.4	28.8	14.5	14.5	12.0	9.4	5.1	0.5	0.5

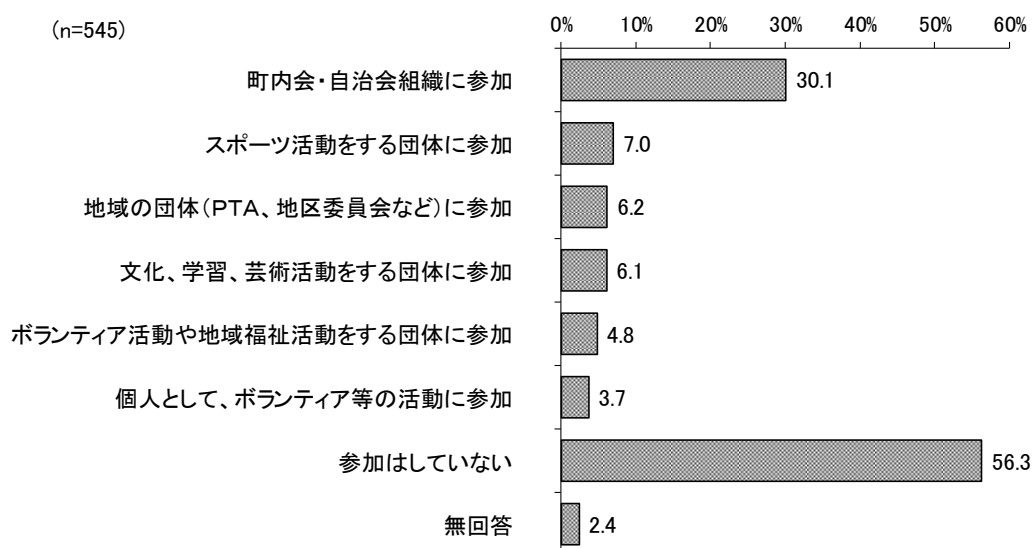
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

6 市民活動

(1) 市民活動への参加状況

問 12 あなたは、次のような市民活動に参加していますか。(○はいくつでも)

全体では、「町内会・自治会組織に参加」が 30.1%、「スポーツ活動をする団体に参加」が 7.0%、「地域の団体（PTA、地区委員会など）に参加」が 6.2%となっています。一方で、「参加はしていない」(56.3%) が半数を上回っています。



過去の調査と比較すると、「町内会・自治会組織に参加」が前々回より低く、「参加はしていない」が前々回より高くなっています。

	町内会・自治会組織に参加	スポーツ活動をする団体に参加	地域の団体（PTA、地区委員会など）に参加	文化、学習、芸術活動をする団体に参加	ボランティア活動や地域福祉活動をする団体に参加	個人としてボランティア等の活動に参加	参加はしていない
今回（R7）	30.1	7.0	6.2	6.1	4.8	3.7	56.3
前回（R2）	35.9	7.4	7.1	5.8	4.5	2.2	51.7
前々回（H27）	46.5	14.9	14.1	9.1	8.1	6.2	37.6

性・年代別で見ると、[男性70歳以上]で「町内会・自治会組織に参加」(47.9%)が全体より高くなっています。また、[男性50歳代]で「参加はしていない」(72.2%)が全体より高くなっています。

居住地区で見ると、[羽中]で「町内会・自治会組織に参加」(45.7%)が全体より高くなっています。また、[小作台]で「参加はしていない」(72.7%)が全体より高くなっています。

居住年数で見ると、[3年未満]で「町内会・自治会組織に参加」(9.4%)が全体よりとても低くなっています。

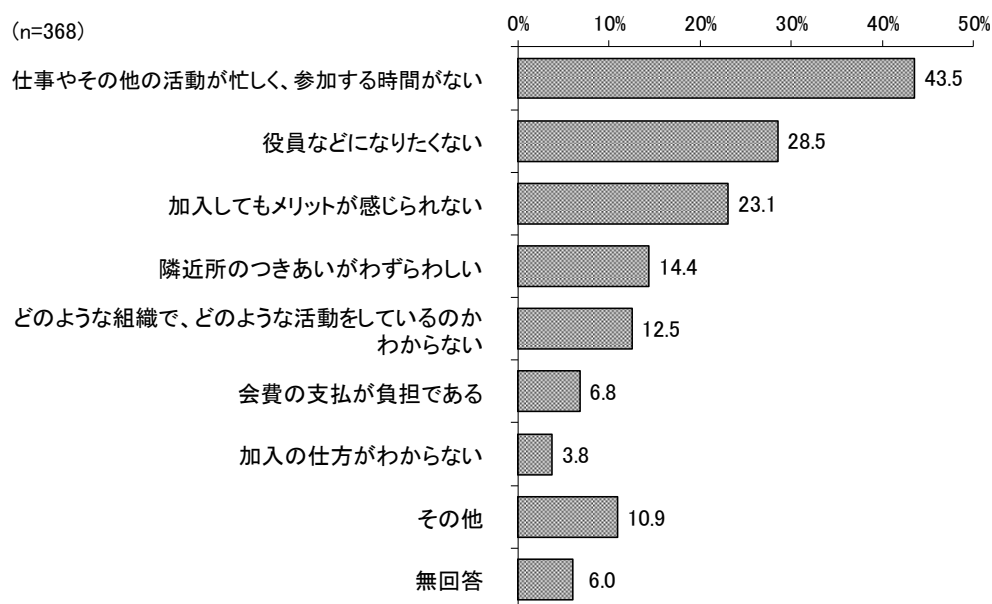
		回答者数 (n)	問12 市民活動への参加状況							無回答
			町内会・自治会組織に参加	スポーツ活動をする団体に参加	地域の団体(PTA、地区委員会など)に参加	文化、学習、芸術活動をする団体に参加	ボランティア活動や地域福祉活動をする団体に参加	個人として、ボランティア等の活動に参加	参加はしていない	
全 体		545	30.1	7.0	6.2	6.1	4.8	3.7	56.3	2.4
性別	男	226	30.1	8.0	4.4	4.9	7.1	2.2	56.6	2.2
	女	293	30.7	6.8	7.2	7.2	3.4	4.4	55.3	2.4
	回答しない	16	25.0	0.0	□ 18.8	6.3	0.0	12.5	62.5	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	■ 16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	○ 75.0	0.0
	男・30歳代	17	★ 5.9	5.9	0.0	11.8	○ 23.5	5.9	58.8	0.0
	男・40歳代	27	22.2	14.8	14.8	0.0	11.1	3.7	55.6	0.0
	男・50歳代	54	20.4	5.6	3.7	1.9	1.9	1.9	○ 72.2	0.0
	男・60歳代	44	31.8	6.8	4.5	4.5	4.5	2.3	61.4	0.0
	男・70歳以上	71	○ 47.9	8.5	2.8	7.0	8.5	1.4	● 38.0	7.0
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	★ 4.3	4.3	8.7	8.7	0.0	4.3	☆ 78.3	0.0
	女・30歳代	28	★ 7.1	3.6	14.3	3.6	0.0	3.6	○ 75.0	0.0
	女・40歳代	36	■ 19.4	5.6	13.9	2.8	0.0	0.0	61.1	0.0
	女・50歳代	57	33.3	1.8	12.3	7.0	3.5	3.5	56.1	0.0
	女・60歳代	47	34.0	2.1	0.0	2.1	0.0	2.1	59.6	2.1
	女・70歳以上	101	□ 43.6	13.9	3.0	11.9	7.9	7.9	● 40.6	5.9
居住地区	神明台	80	27.5	5.0	6.3	8.8	2.5	5.0	55.0	2.5
	双葉町	29	34.5	6.9	0.0	3.4	3.4	0.0	58.6	3.4
	五ノ神	40	■ 20.0	5.0	10.0	5.0	7.5	5.0	65.0	2.5
	富士見平・羽4000番台	41	● 12.2	7.3	2.4	2.4	2.4	7.3	□ 70.7	4.9
	緑ヶ丘	61	31.1	6.6	6.6	6.6	8.2	4.9	52.5	1.6
	栄町	50	28.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	60.0	0.0
	小作台	55	■ 16.4	5.5	9.1	3.6	3.6	3.6	○ 72.7	1.8
	羽西	29	□ 41.4	10.3	6.9	6.9	3.4	0.0	48.3	0.0
	羽加美	45	35.6	15.6	8.9	11.1	4.4	2.2	● 37.8	4.4
	羽中	35	○ 45.7	8.6	8.6	5.7	5.7	2.9	51.4	0.0
	羽東	35	34.3	5.7	2.9	5.7	5.7	2.9	57.1	2.9
	川崎	22	☆ 59.1	9.1	13.6	9.1	9.1	9.1	● 36.4	0.0
	玉川・羽600～700番台	17	□ 41.2	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	52.9	5.9
居住年数	3年未満	32	★ 9.4	6.3	3.1	6.3	6.3	6.3	○ 71.9	3.1
	3年以上5年未満	14	★ 7.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	☆ 85.7	0.0
	5年以上10年未満	35	■ 17.1	2.9	8.6	0.0	2.9	2.9	□ 68.6	0.0
	10年以上20年未満	69	23.2	8.7	8.7	4.3	1.4	1.4	62.3	2.9
	20年以上	393	35.1	7.1	5.9	7.1	5.6	4.1	51.9	2.3
定住意向	ずっと住み続けたい	273	38.8	6.6	4.4	7.3	5.5	3.7	49.8	2.6
	当分の間住みたい	202	23.8	7.4	7.4	4.0	3.0	3.5	61.9	1.5
	できれば転出したい	47	■ 19.1	6.4	14.9	4.3	8.5	4.3	63.8	2.1
	転出する	8	★ 0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	☆ 87.5	0.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(2) 町内会・自治会組織への不参加理由※(2)は、(1)で「町内会・自治会組織に参加」以外を回答した方のみの数値です。

問 12-1 町内会・自治会組織に参加していない理由を次の中から選んでください。
(○は2つまで)

町内会・自治会組織に参加していない理由は、「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない」が43.5%と最も高く、次いで「役員などになりたくない」(28.5%)、「加入してもメリットを感じられない」(23.1%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
高齢または体調がよくない	7
時間が取れない	7
以前参加していたが、事情により辞めた	4
家族が参加している	2
家族が減ったので	2
負担が大きい	2
町内会がない	2
賃貸住宅のため	1
いずれ引越す予定なので	1
会費の用途が不明	1
地元の人の意見が通りやすい	1
その他	8
無記入	2

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない」(55.8%)が全体よりやや高くなっています。また、[男性60歳代]と[女性50歳代]で「役員などになりたくない」が、[女性70歳以上]で「加入してもメリットが感じられない」が全体よりやや高くなっています。

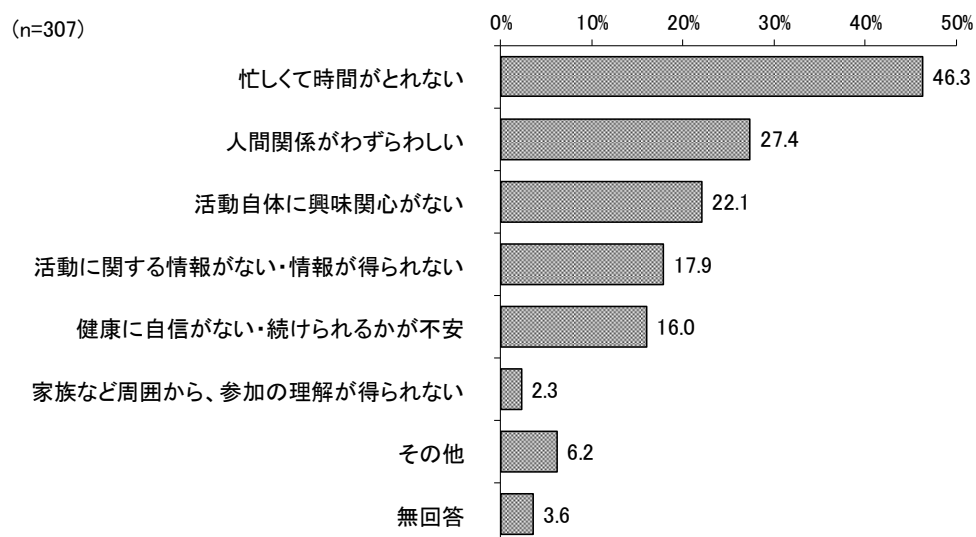
		回答者数 (n)	問12-1 町内会・自治会組織への不参加理由								
			仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない	役員などになりたくない	加入してもメリットが感じられない	隣近所のつきあいがわずらわしい	どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない	会費の支払が負担である	加入の仕方がわからない	その他	無回答
全 体		368	43.5	28.5	23.1	14.4	12.5	6.8	3.8	10.9	6.0
性別	男	153	48.4	24.8	24.2	13.7	13.1	6.5	4.6	11.8	4.6
	女	196	41.3	30.1	20.9	14.8	12.2	7.7	3.1	10.2	6.6
	回答しない	12	■ 33.3	33.3	○ 41.7	16.7	8.3	0.0	8.3	8.3	8.3
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	10	○ 60.0	★ 0.0	30.0	10.0	○ 30.0	10.0	10.0	■ 0.0	10.0
	男・30歳代	16	○ 62.5	● 12.5	31.3	18.8	12.5	12.5	6.3	■ 0.0	6.3
	男・40歳代	21	☆ 76.2	■ 14.3	☆ 47.6	9.5	4.8	4.8	0.0	9.5	0.0
	男・50歳代	43	□ 55.8	20.9	16.3	14.0	18.6	7.0	7.0	9.3	4.7
	男・60歳代	30	■ 33.3	□ 40.0	20.0	10.0	10.0	6.7	3.3	16.7	3.3
	男・70歳以上	32	● 25.0	34.4	18.8	18.8	9.4	0.0	3.1	□ 21.9	6.3
	女・20歳未満	0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	■ 0.0	0.0
	女・20歳代	22	☆ 72.7	● 9.1	★ 0.0	9.1	□ 27.3	4.5	4.5	4.5	0.0
	女・30歳代	26	□ 53.8	19.2	19.2	11.5	□ 23.1	11.5	7.7	3.8	7.7
	女・40歳代	29	41.4	□ 41.4	17.2	10.3	10.3	10.3	3.4	10.3	13.8
	女・50歳代	38	47.4	□ 42.1	23.7	15.8	5.3	10.5	2.6	10.5	0.0
	女・60歳代	30	46.7	20.0	16.7	16.7	13.3	3.3	3.3	6.7	6.7
	女・70歳以上	51	★ 13.7	35.3	□ 33.3	19.6	5.9	5.9	0.0	17.6	9.8
	居住年数	3年未満	28	☆ 67.9	25.0	14.3	10.7	□ 25.0	0.0	7.1	3.6
3年以上5年未満		13	○ 61.5	30.8	● 7.7	○ 30.8	15.4	0.0	□ 15.4	7.7	0.0
5年以上10年未満		29	○ 58.6	■ 17.2	17.2	6.9	10.3	10.3	□ 13.8	6.9	3.4
10年以上20年未満		51	47.1	21.6	27.5	15.7	19.6	9.8	9.8	3.9	3.9
20年以上		246	37.4	31.3	24.4	14.6	9.8	6.9	0.4	13.8	7.7

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(3) 市民活動への不参加理由※(3)は、(1)で「参加はしていない」と回答した方のみの数値です。

問 12-2 市民活動に参加していない理由を次の中から選んでください。(○は2つまで)

市民活動に参加していない理由は、「忙しくて時間がとれない」が46.3%と最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」(27.4%)、「活動自体に興味関心がない」(22.1%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
高齢・体調がよくないため	9
以前参加していたが、嫌な思いをした	3
どういう方法で団体を見つけたらいいか情報がない	1
高齢者向けの活動が多く、自分には合わない	1
時間がない	1
その他	2
無記入	2

性・年代別で見ると、「健康に自信がない・続けられるかが不安」は[女性70歳以上]（43.9%）が全体よりとても高く、[男性70歳以上]（33.3%）が全体より高くなっています。また、[男性50歳代]で「忙しくて時間がとれない」（61.5%）が全体より高くなっています。

		回答者数 (n)	問12-2 市民活動への不参加理由							
			忙しくて時間 がとれない	人間関係 がわずらわ しい	活動自体に 興味関心 がない	活動に関す る情報がな い・情報が 得られない	健康に自信 がない・続 けられるか が不安	家族など周 囲から、参 加の理解 が得られな い	その他	無回答
全 体		307	46.3	27.4	22.1	17.9	16.0	2.3	6.2	3.6
性 別	男	128	48.4	26.6	25.8	20.3	11.7	2.3	7.0	1.6
	女	162	43.8	27.8	18.5	17.9	17.3	2.5	4.9	5.6
	回答しない	10	☆ 70.0	20.0	30.0	● 0.0	□ 30.0	0.0	10.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	9	☆ 77.8	● 11.1	□ 33.3	22.2	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	10	☆ 70.0	30.0	30.0	□ 30.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・40歳代	15	□ 60.0	20.0	☆ 46.7	20.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・50歳代	39	○ 61.5	25.6	23.1	25.6	■ 2.6	0.0	2.6	0.0
	男・60歳代	27	■ 33.3	33.3	25.9	11.1	18.5	7.4	14.8	3.7
	男・70歳以上	27	★ 18.5	29.6	■ 11.1	18.5	○ 33.3	3.7	14.8	3.7
	女・20歳未満	0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	18	55.6	★ 5.6	22.2	○ 33.3	■ 5.6	0.0	0.0	11.1
	女・30歳代	21	□ 57.1	28.6	□ 33.3	23.8	● 0.0	4.8	0.0	0.0
	女・40歳代	22	54.5	□ 40.9	13.6	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
	女・50歳代	32	□ 56.3	□ 40.6	25.0	12.5	■ 3.1	0.0	6.3	0.0
	女・60歳代	28	39.3	25.0	14.3	21.4	21.4	3.6	10.7	7.1
女・70歳以上	41	★ 19.5	22.0	■ 9.8	9.8	☆ 43.9	4.9	7.3	12.2	
居 住 年 数	3年未満	23	☆ 73.9	21.7	13.0	□ 30.4	■ 4.3	4.3	4.3	0.0
	3年以上5年未満	12	50.0	25.0	□ 33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3
	5年以上10年未満	24	54.2	29.2	25.0	20.8	● 0.0	4.2	0.0	4.2
	10年以上20年未満	43	□ 58.1	37.2	18.6	23.3	● 0.0	0.0	2.3	2.3
	20年以上	204	39.7	25.5	23.0	15.2	22.1	2.5	8.3	3.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

7 男女共同参画

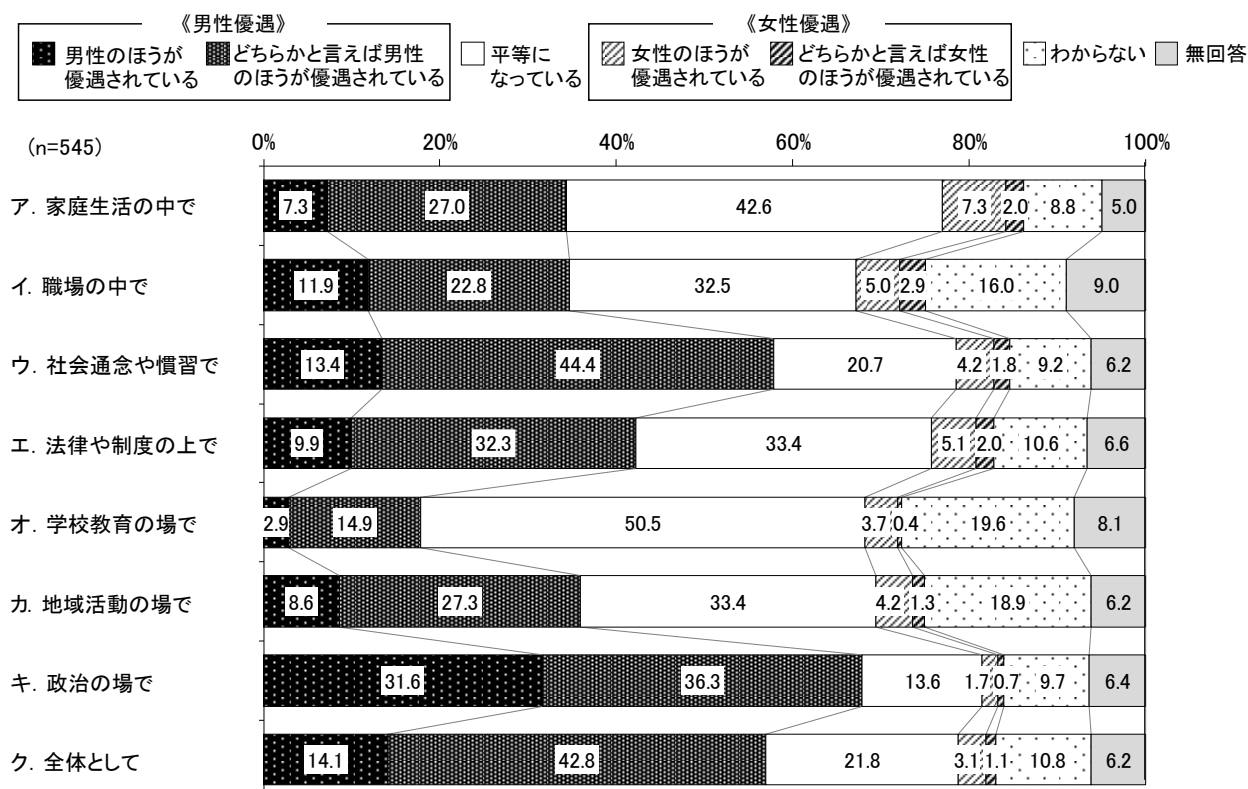
(1) 各分野における男女平等感

問 13 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に近いものを選び、○をつけてください。
(○はア～クにそれぞれ1つずつ)

「平等になっている」と回答した割合は、「学校教育の場で」が 50.5%と最も高く、次いで「家庭生活の中で」(42.6%)、「法律や制度の上で」・「地域活動の場で」(共に 33.4%)と続いています。

《男性優遇》(「男性のほうが優遇されている」+「どちらかと言えば男性のほうが優遇されている」)と回答した割合は、「政治の場で」が 67.9%と最も高く、次いで「社会通念や慣習で」(57.8%)、「全体として」(56.9%)と続いています。

《女性優遇》(「女性のほうが優遇されている」+「どちらかと言えば女性のほうが優遇されている」)と回答した割合は、「家庭生活の中で」が 9.3%と最も高く、次いで「職場の中で」(7.9%)、「法律や制度の上で」(7.1%)と続いています。



過去の調査と比較すると、「家庭生活の中で」は《男性優遇》が前回より低く、前々回よりやや低くなっています。また、「平等になっている」が前回よりやや高くなっています。

「職場の中で」は《男性優遇》が前回、前々回よりとても低く、「平等になっている」が前回、前々回よりやや高くなっています。

「社会通念や慣習で」は《男性優遇》が前回よりやや低くなっています。

「学校教育の場で」は「平等になっている」が前々回よりやや低くなっています。

	男性優遇			平等			女性優遇		
	今回 (R7)	前回 (R1)	前々回 (H27)	今回 (R7)	前回 (R1)	前々回 (H27)	今回 (R7)	前回 (R1)	前々回 (H27)
ア.家庭生活の中で(※1)	34.3	51.3	46.2	42.6	30.3	34.9	9.3	7.8	7.9
イ.職場の中で(※2)	34.7	60.8	58.1	32.5	20.1	20.8	7.9	4.1	6.3
ウ.社会通念や慣習で	57.8	69.7	67.4	20.7	14.9	17.0	6.0	2.9	3.7
エ.法律や制度の上で	42.2	42.2	34.9	33.4	37.7	42.5	7.1	5.4	6.3
オ.学校教育の場で	17.8	19.3	15.4	50.5	56.5	61.2	4.1	2.3	4.5
カ.地域活動の中で	35.9	36.0	36.1	33.4	39.8	40.7	5.5	3.2	7.5
キ.政治の場で	67.9	71.7	66.7	13.6	12.5	17.4	2.4	1.3	2.5
ク.全体として	56.9	65.8	59.9	21.8	18.6	23.6	4.2	1.7	3.9

※1 R2、H27 は「一般の家庭の中で」

※2 R2、H27 は「一般の職場の中で」

「ク.全体として」を性・年代別で見ると、《男性優遇》が[女性40歳代]（72.2%）で全体より高く、[女性50歳代]（70.2%）で全体よりやや高くなっています。

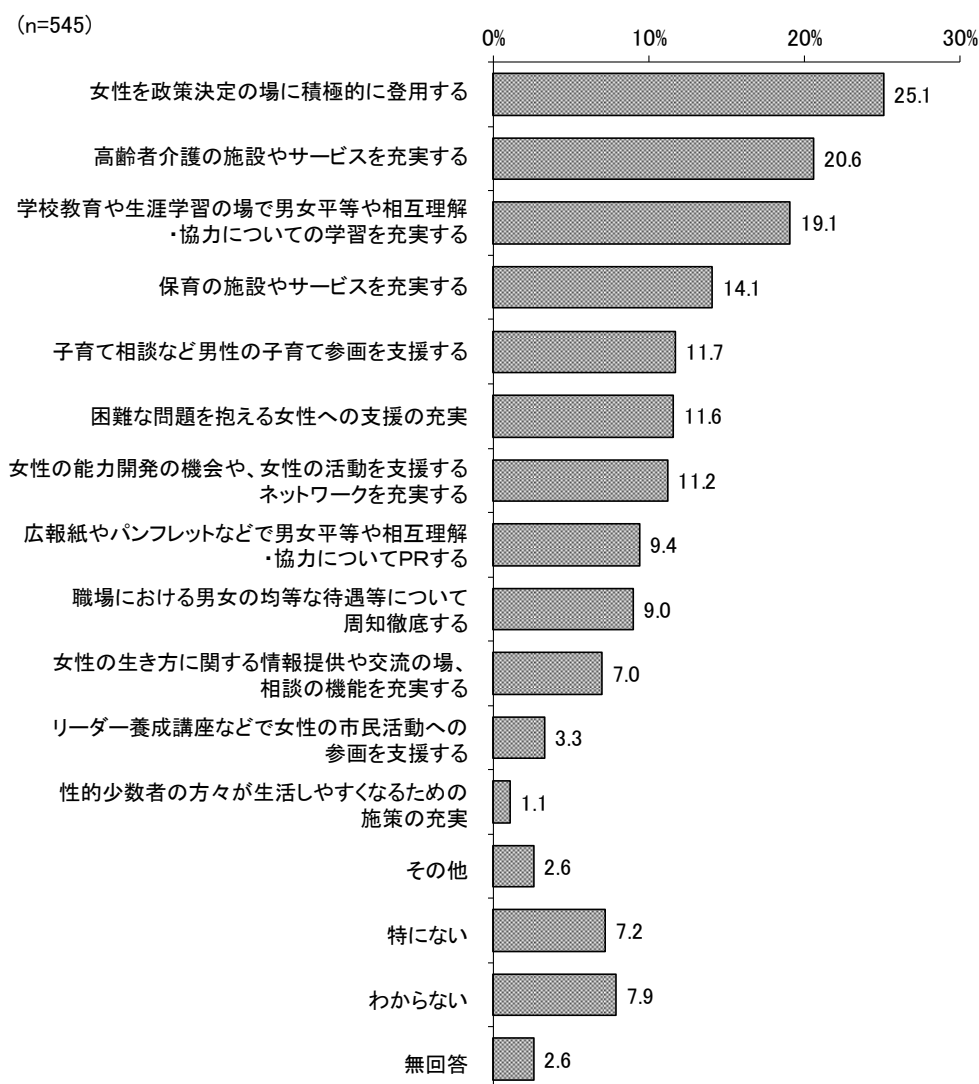
		回答者数 (n)	問13 各分野における男女平等感 ク. 全体として						
			男性の方が 優遇されて いる	どちらかと 言えば男性 の方が優遇 されている	平等になっ ている	どちらかと 言えば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 優遇されて いる	わからない	無回答
全 体		545	14.1	42.8	21.8	3.1	1.1	10.8	6.2
性 別	男	226	10.6	39.4	30.1	5.8	1.8	9.3	3.1
	女	293	16.0	46.1	17.1	0.7	0.3	11.3	8.5
	回答しない	16	○ 31.3	● 25.0	★ 0.0	12.5	6.3	□ 25.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	■ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	8.3	★ 16.7	□ 33.3	□ 16.7	○ 16.7	8.3	0.0
	男・30歳代	17	■ 0.0	★ 11.8	☆ 52.9	5.9	5.9	□ 23.5	0.0
	男・40歳代	27	14.8	44.4	18.5	□ 14.8	3.7	3.7	0.0
	男・50歳代	54	11.1	38.9	29.6	5.6	0.0	13.0	1.9
	男・60歳代	44	15.9	40.9	27.3	4.5	0.0	9.1	2.3
	男・70歳以上	71	8.5	47.9	31.0	0.0	0.0	5.6	7.0
	女・20歳未満	1	■ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	■ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	13.0	43.5	□ 34.8	0.0	0.0	8.7	0.0
	女・30歳代	28	10.7	□ 57.1	25.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	女・40歳代	36	□ 25.0	47.2	13.9	2.8	2.8	8.3	0.0
	女・50歳代	57	15.8	□ 54.4	15.8	0.0	0.0	8.8	5.3
	女・60歳代	47	10.6	51.1	19.1	2.1	0.0	17.0	0.0
	女・70歳以上	101	17.8	35.6	11.9	0.0	0.0	12.9	○ 21.8

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2) 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

問 14 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から選んでください。(○は2つまで)

全体では、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」が 25.1%と最も高く、次いで「高齢者介護の施設やサービスを充実する」(20.6%)、「学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する」(19.1%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数	「その他」の回答内容	件数
男性の子育て等、家事全般に対する意識改革	1	男性女性関係なくサポートを充実させる	1
男性女性を別に見てどちらかを特別に支援すると考えている時点で平等に見ていない証拠である	1	職場において男女に関わらず効率化を進め、無駄な残業、転勤をなくすことで、男性の家事育児参加を進める	1
体のつくりや体力差を考えた上での平等	1	十分女性優遇となっている	1
議員の男女比 50:50	1	取組の実施は不要	1
子育てや介護を平等に行っていけるシステム作り	1	その他	5

上位10項目について、過去の調査と比較すると、今回新しく設定された「困難な問題を抱える女性への支援の充実」は回答率が約10%となっています。その他の選択肢は、いずれも大きな変化は見られません。

	女性を政策決定の場に積極的に登用する	高齢者介護の施設やサービスを充実する(※1)	学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する	保育の施設やサービスを充実する	子育て相談など男性の子育て参画を支援する	困難な問題を抱える女性への支援の充実(※2)	女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する	広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする	職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する	わからない
今回 (R7)	25.1	20.6	19.1	14.1	11.7	11.6	11.2	9.4	9.0	7.9
前回 (R2)	22.7	18.8	17.7	21.6	14.9	-	15.6	6.5	13.2	7.4
前々回 (H27)	19.3	25.5	14.7	22.4	14.9	-	16.4	8.9	14.3	7.9

※1 R2、H27は「高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」

※2 「困難な問題を抱える女性への支援の充実」はR7から新設

上位10項目について、性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(42.6%)が全体より高くなっています。また、[女性60歳代]で「高齢者介護の施設やサービスを充実する」(40.4%)が全体より高くなっています。

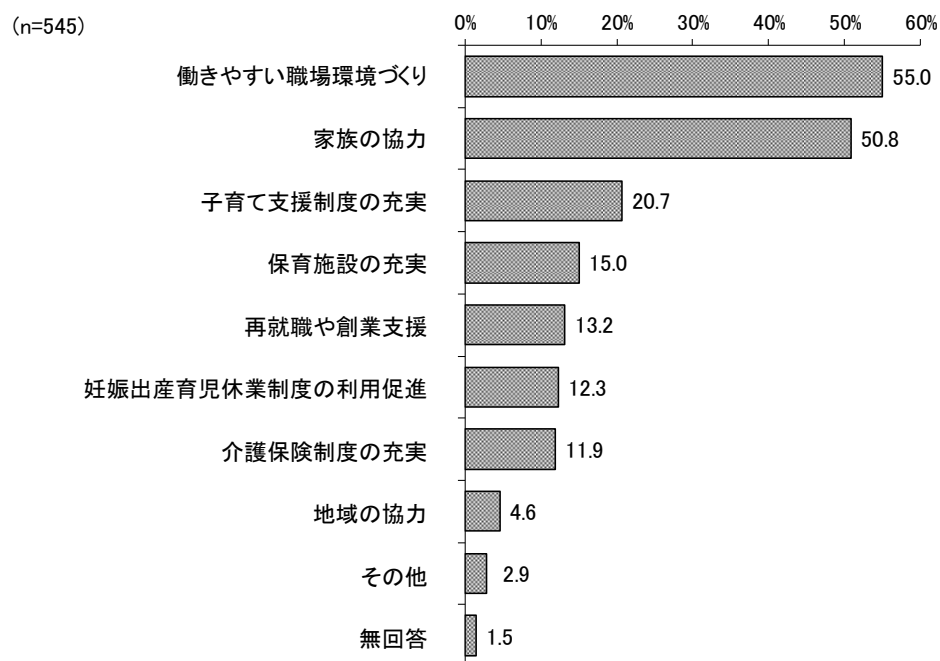
		回答者数(n)	問14 男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと									
			女性を政策決定の場に積極的に登用する	高齢者介護の施設やサービスを充実する	学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する	保育の施設やサービスを充実する	子育て相談など男性の子育て参画を支援する	困難な問題を抱える女性への支援の充実	女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する	広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする	職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する	わからない
全 体		545	25.1	20.6	19.1	14.1	11.7	11.6	11.2	9.4	9.0	7.9
性 別	男	226	32.3	18.6	15.5	15.9	8.8	11.5	12.4	10.6	7.5	6.6
	女	293	19.5	22.9	22.2	13.3	13.7	11.6	10.6	8.5	9.9	8.5
	回答しない	16	□ 37.5	■ 6.3	18.8	6.3	12.5	6.3	12.5	0.0	18.8	12.5
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	16.7	★ 0.0	■ 8.3	16.7	□ 25.0	8.3	■ 0.0	8.3	0.0	8.3
	男・30歳代	17	★ 0.0	17.6	17.6	23.5	17.6	5.9	■ 0.0	11.8	0.0	17.6
	男・40歳代	27	25.9	■ 7.4	11.1	○ 29.6	□ 22.2	18.5	□ 25.9	0.0	7.4	0.0
	男・50歳代	54	○ 42.6	29.6	11.1	18.5	3.7	9.3	11.1	3.7	11.1	9.3
	男・60歳代	44	□ 36.4	13.6	15.9	9.1	2.3	11.4	15.9	18.2	13.6	4.5
	男・70歳以上	71	□ 35.2	21.1	21.1	9.9	5.6	12.7	11.3	15.5	4.2	5.6
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	● 8.7	● 4.3	26.1	○ 30.4	○ 30.4	■ 0.0	4.3	4.3	8.7	8.7
	女・30歳代	28	17.9	● 3.6	28.6	14.3	☆ 35.7	3.6	□ 25.0	7.1	14.3	3.6
	女・40歳代	36	19.4	● 5.6	27.8	19.4	□ 25.0	11.1	8.3	11.1	5.6	13.9
	女・50歳代	57	19.3	21.1	19.3	14.0	10.5	19.3	12.3	7.0	12.3	8.8
	女・60歳代	47	19.1	○ 40.4	21.3	14.9	4.3	17.0	12.8	14.9	12.8	4.3
	女・70歳以上	101	21.8	□ 31.7	18.8	5.9	5.9	9.9	6.9	6.9	7.9	9.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(3) 女性が職業を持ち続けるために必要なこと

問 15 女性が職業を持ち続けるために必要なことについて、次の中から選んでください。
(○は2つまで)

全体では、「働きやすい職場環境づくり」が 55.0%と最も高く、次いで「家族の協力」(50.8%)、「子育て支援制度の充実」(20.7%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
職場の人間関係、職場の人の意識改革	2
土日に小学生でも預けられる場所	1
障害者家族を見ながらの仕事	1
高齢者向け施設の充実	1
男性への教育	1
男性の子育て、介護への参入	1
柔軟の勤務日数や方法	1
再就職支援及び職業訓練や資格取得支援などスキルアップ（維持）支援	1
女性が子供を産んだ後でも、教育に参加できるようにする	1
全て必要	1
わからない	2
その他	3

過去の調査と比較すると、「保育施設の充実」が前々回よりとても低くなっています。

	働きやすい 職場環境づくり	家族の協力	子育て支援 制度の充実	保育施設の 充実	再就職や創 業支援	妊娠出産育 児休業制度 の利用促進	介護保険制 度の充実 (※)	地域の協力
今回 (R7)	55.0	50.8	20.7	15.0	13.2	12.3	11.9	4.6
前回 (R2)	49.6	52.6	22.3	22.5	12.5	11.3	7.8	3.2
前々回 (H27)	46.1	53.5	24.5	37.5	12.4	16.4	-	1.7

※「介護保険制度の充実」は R2 から新設

性・年代別で見ると、[女性50歳代]で「働きやすい職場環境づくり」(71.9%)が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問15 女性が職業を持続けるために必要なこと									
			働きやすい職場環境づくり	家族の協力	子育て支援制度の充実	保育施設の充実	再就職や創業支援	妊娠出産育児休業制度の利用促進	介護保険制度の充実	地域の協力	その他	無回答
全 体		545	55.0	50.8	20.7	15.0	13.2	12.3	11.9	4.6	2.9	1.5
性別	男	226	51.3	50.4	23.5	17.3	13.3	15.5	8.0	6.2	2.7	0.4
	女	293	58.0	51.2	19.5	13.7	12.3	9.6	14.7	3.1	3.4	2.4
	回答しない	16	□ 68.8	43.8	■ 6.3	6.3	○ 31.3	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	50.0	● 33.3	16.7	□ 25.0	8.3	☆ 33.3	■ 0.0	8.3	0.0	0.0
	男・30歳代	17	52.9	52.9	□ 35.3	□ 29.4	11.8	11.8	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・40歳代	27	59.3	■ 37.0	29.6	22.2	14.8	11.1	7.4	7.4	3.7	0.0
	男・50歳代	54	46.3	48.1	□ 31.5	16.7	11.1	18.5	9.3	1.9	3.7	0.0
	男・60歳代	44	56.8	50.0	27.3	9.1	20.5	13.6	6.8	6.8	2.3	0.0
	男・70歳以上	71	49.3	59.2	11.3	16.9	11.3	14.1	11.3	9.9	1.4	1.4
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	56.5	★ 26.1	17.4	□ 26.1	21.7	☆ 34.8	4.3	0.0	4.3	4.3
	女・30歳代	28	○ 71.4	53.6	○ 39.3	7.1	3.6	21.4	■ 0.0	0.0	3.6	0.0
	女・40歳代	36	□ 66.7	58.3	27.8	8.3	8.3	2.8	8.3	0.0	11.1	0.0
	女・50歳代	57	○ 71.9	42.1	24.6	12.3	14.0	5.3	14.0	1.8	3.5	0.0
	女・60歳代	47	53.2	59.6	12.8	14.9	17.0	10.6	17.0	2.1	4.3	0.0
	女・70歳以上	101	45.5	54.5	11.9	14.9	10.9	5.0	□ 22.8	6.9	0.0	5.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(4) 配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度

問 16 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。(○は1つ)

全体では、「知らない」が56.7%、「知っている」が41.5%となっています。



過去の調査と比較すると、「知っている」は30%台半ば～約40%、「知らない」は50%台半ば～約60%で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	知っている	知らない
今回 (R7)	41.5	56.7
前回 (R2)	40.9	54.6
前々回 (H27)	35.1	61.6

性・年代別で見ると、[女性60歳代]で「知っている」(57.4%)が全体より高くなっています。また、[男性50歳代]と[男性60歳代]で「知らない」が全体よりやや高くなっています。

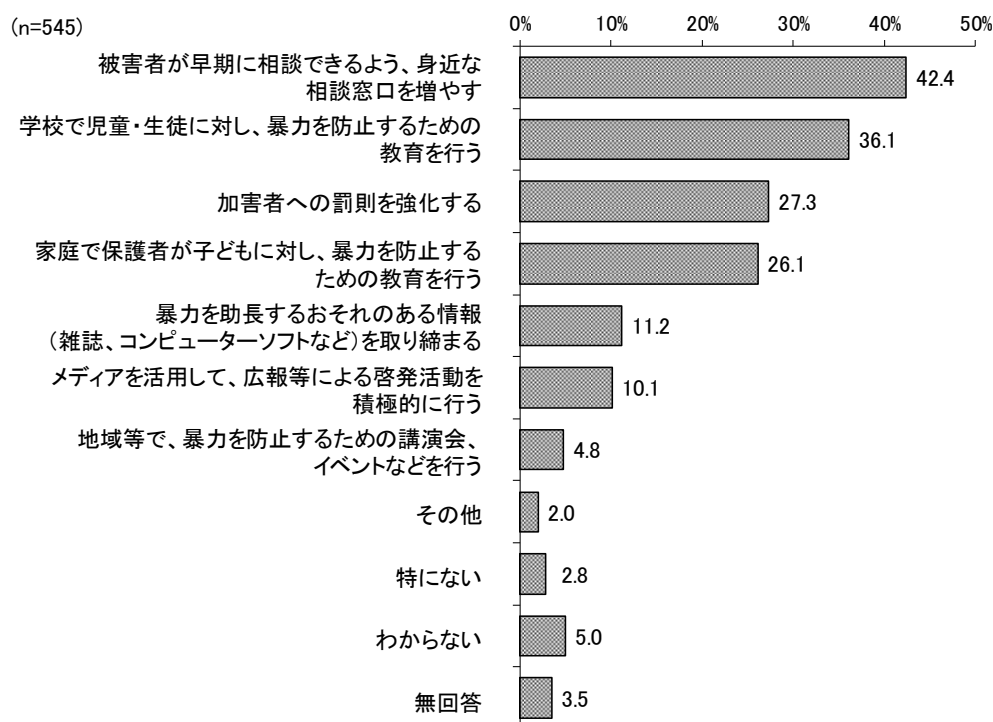
		回答者数 (n)	問16 配偶者からの暴力について相談可能な 窓口の認知度		
			知っている	知らない	無回答
全 体		545	41.5	56.7	1.8
性 別	男	226	33.2	65.5	1.3
	女	293	48.8	48.8	2.4
	回答しない	16	■ 31.3	□ 68.8	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	● 25.0	○ 75.0	0.0
	男・30歳代	17	● 23.5	○ 76.5	0.0
	男・40歳代	27	□ 51.9	48.1	0.0
	男・50歳代	54	■ 29.6	□ 70.4	0.0
	男・60歳代	44	31.8	□ 68.2	0.0
	男・70歳以上	71	33.8	62.0	4.2
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	○ 56.5	■ 43.5	0.0
	女・30歳代	28	☆ 67.9	★ 32.1	0.0
	女・40歳代	36	50.0	50.0	0.0
	女・50歳代	57	45.6	52.6	1.8
	女・60歳代	47	○ 57.4	■ 42.6	0.0
	女・70歳以上	101	38.6	55.4	5.9

全体値より
 ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

（５）男女間の暴力を防止するために必要なこと

問 17 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。次の中から選んでください。（○は２つまで）

全体では、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が 42.4%と最も高く、次いで「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」（36.1%）、「加害者への罰則を強化する」（27.3%）と続いています。



「その他」の回答内容	件数
子どもの頃から道徳をしっかりと教える	2
医師監修による加害者への再発防止教育(罰則ではない)	1
気軽な相談と介入のしやすさの確保	1
児童相談所の権限を増やして、警察との連携を強化する	1
相談窓口を増やすのではなく、今ある相談窓口で対応する人たちが男女間の暴力の相談をまず受け止めることが大事	1
市の相談センターや女性対象カウンセリングの事を市民に知らせる	1
その他	4

過去の調査と比較すると、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が前回よりやや低くなっています。

	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる	地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う	わからない	特にない
今回（R7）	42.4	36.1	27.3	26.1	10.1	11.2	4.8	5.0	2.8
前回（R2）	53.7	32.7	29.6	25.7	11.9	9.1	4.3	3.3	1.3
前々回（H27）	49.6	30.9	25.9	31.1	11.4	12.7	6.8	2.9	3.5

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」（59.1%）と「加害者への罰則を強化する」（43.2%）が全体より高くなっています。また、[女性60歳代]で「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」（51.1%）が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問17 男女間の暴力を防止するために必要なこと									
			被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う	加害者への罰則を強化する	家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う	暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、コンピューターソフトなど)を取り締まる	メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う	地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う	その他	特にない	わからない
全 体		545	42.4	36.1	27.3	26.1	11.2	10.1	4.8	2.0	2.8	5.0
性 別	男	226	42.9	36.3	31.9	26.1	12.4	9.7	4.0	3.5	2.2	4.4
	女	293	42.0	37.5	23.9	26.3	10.2	10.9	4.8	1.0	2.7	4.4
	回答しない	16	■ 31.3	● 18.8	○ 43.8	25.0	6.3	6.3	12.5	0.0	6.3	12.5
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	☆ 100.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	33.3	41.7	☆ 50.0	33.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	17	35.3	■ 23.5	○ 47.1	29.4	11.8	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9
	男・40歳代	27	40.7	33.3	○ 44.4	25.9	7.4	3.7	3.7	11.1	0.0	7.4
	男・50歳代	54	■ 29.6	42.6	27.8	22.2	7.4	14.8	7.4	3.7	3.7	7.4
	男・60歳代	44	○ 59.1	29.5	○ 43.2	25.0	13.6	4.5	2.3	2.3	2.3	0.0
	男・70歳以上	71	47.9	39.4	■ 16.9	26.8	18.3	11.3	1.4	1.4	2.8	4.2
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	■ 30.4	☆ 56.5	26.1	34.8	■ 0.0	8.7	13.0	0.0	0.0	4.3
	女・30歳代	28	50.0	□ 46.4	○ 42.9	21.4	3.6	7.1	0.0	3.6	3.6	3.6
	女・40歳代	36	47.2	38.9	27.8	27.8	11.1	11.1	2.8	2.8	2.8	8.3
	女・50歳代	57	38.6	31.6	36.8	22.8	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	1.8
	女・60歳代	47	38.3	○ 51.1	● 8.5	31.9	12.8	12.8	8.5	2.1	0.0	4.3
	女・70歳以上	101	44.6	27.7	■ 15.8	23.8	12.9	8.9	3.0	0.0	3.0	5.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(6) 主な家事従事者

問 18 あなたの家庭では、次のことを主にどなたが行っていますか。
(○はア～オそれぞれ1つずつ)

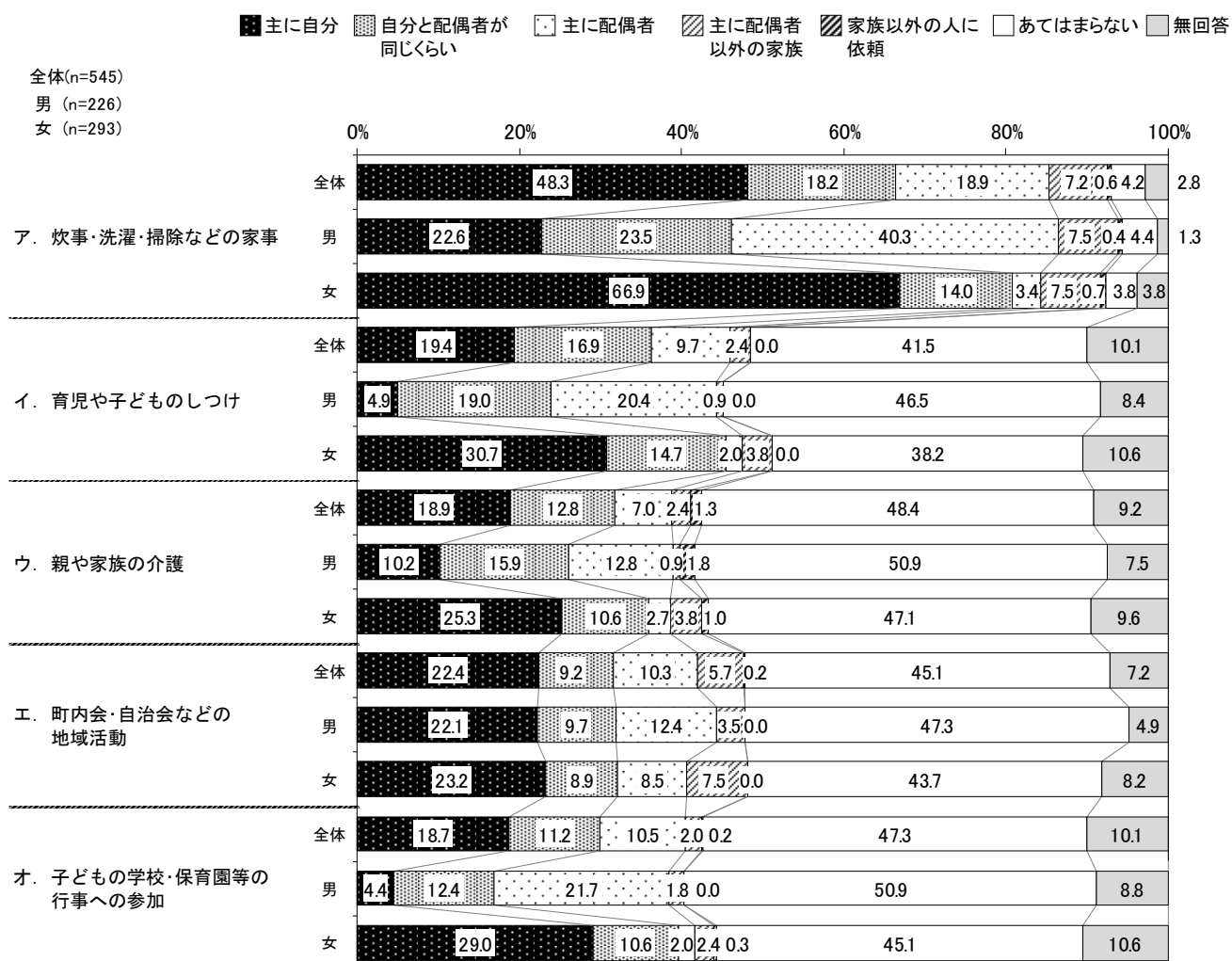
「主に自分」と回答した割合は、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 48.3%（男 22.6%、女 66.9%）と最も高く、次いで「町内会・自治会などの地域活動」が 22.4%（男 22.1%、女 23.2%）、「育児や子どものしつけ」が 19.4%（男 4.9%、女 30.7%）と続いています。

「自分と配偶者が同じくらい」と回答した割合は、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 18.2%（男 23.5%、女 14.0%）と最も高く、次いで「育児や子どものしつけ」が 16.9%（男 19.0%、女 14.7%）、「親や家族の介護」が 12.8%（男 15.9%、女 10.6%）と続いています。

「主に配偶者」と回答した割合は、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 18.9%（男 40.3%、女 3.4%）と最も高く、次いで「子どもの学校・保育園等の行事への参加」が 10.5%（男 21.7%、女 2.0%）、「町内会・自治会などの地域活動」が 10.3%（男 12.4%、女 8.5%）と続いています。

「主に配偶者以外の家族」と回答した割合は、「炊事・洗濯・掃除などの家事」が 7.2%（男 7.5%、女 7.5%）と最も高く、次いで「町内会・自治会などの地域活動」が 5.7%（男 3.5%、女 7.5%）、「育児や子どものしつけ」・「親や家族の介護」が共に 2.4%（男 0.9%、女 3.8%）と続いています。

「家族以外の人に依頼」と回答した割合は、「親や家族の介護」が 1.3%（男 1.8%、女 1.0%）と最も高く、その他の項目は全て 1%未満となっています。



ア. 炊事・洗濯・掃除などの家事

全体では「主に自分」が48.3%と最も高く、次いで「主に配偶者」が18.9%、「自分と配偶者が同じくらい」が18.2%と続いています。

性別で見ると、[男性]で「主に配偶者」(40.3%)が全体よりとて高くなっています。また、[女性]で「主に自分」(66.9%)が全体より高くなっています。

性・年代別で見ると、「主に自分」は[男性50歳代](22.2%)、[男性60歳代](27.3%)、[男性70歳以上](19.7%)で全体よりとて低くなっています。また、[女性40歳代](88.9%)、[女性50歳代](73.7%)、[女性60歳代](78.7%)で全体よりとて高くなっています。

		回答者数 (n)	問18 主な家事従事者 ア. 炊事・洗濯・掃除などの家事						
			主に自分	自分と配偶 者が同じく らい	主に配偶者	主に配偶者 以外の家族	家族以外の 人に依頼	あてはまら ない	無回答
全 体		545	48.3	18.2	18.9	7.2	0.6	4.2	2.8
性 別	男	226	★ 22.6	23.5	☆ 40.3	7.5	0.4	4.4	1.3
	女	293	○ 66.9	14.0	● 3.4	7.5	0.7	3.8	3.8
	回答しない	16	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	● 33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	□ 16.7	0.0
	男・30歳代	17	★ 11.8	17.6	☆ 47.1	11.8	0.0	11.8	0.0
	男・40歳代	27	★ 25.9	22.2	□ 29.6	11.1	3.7	7.4	0.0
	男・50歳代	54	★ 22.2	22.2	○ 37.0	11.1	0.0	5.6	1.9
	男・60歳代	44	★ 27.3	18.2	☆ 50.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	男・70歳以上	71	★ 19.7	□ 31.0	☆ 43.7	1.4	0.0	1.4	2.8
	女・20歳未満	1	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	★ 13.0	17.4	■ 4.3	☆ 56.5	0.0	8.7	0.0
	女・30歳代	28	50.0	□ 28.6	● 3.6	10.7	0.0	7.1	0.0
	女・40歳代	36	☆ 88.9	8.3	● 2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・50歳代	57	☆ 73.7	12.3	● 1.8	5.3	0.0	5.3	1.8
	女・60歳代	47	☆ 78.7	10.6	■ 4.3	0.0	2.1	4.3	0.0
	女・70歳以上	101	○ 67.3	13.9	■ 4.0	2.0	1.0	2.0	9.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

イ. 育児や子どものしつけ

「あてはまらない」を除くと、全体では「主に自分」が19.4%と最も高く、次いで「自分と配偶者が同じくらい」が16.9%、「主に配偶者」が9.7%と続いています。

性別で見ると、[男性]で「主に配偶者」(20.4%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性]で「主に自分」(30.7%)が全体よりやや高くなっています。

性・年代別で見ると、「主に自分」は[女性40歳代](52.8%)と[女性50歳代](49.1%)で全体よりとても高くなっています。また、「主に配偶者」は[男性50歳代](22.2%)と[男性60歳代](22.7%)で全体よりやや高くなっています。

		回答者数 (n)	問18 主な家事従事者 イ. 育児や子どものしつけ						
			主に自分	自分と配偶 者が同じく らい	主に配偶者	主に配偶者 以外の家族	家族以外の 人に依頼	あてはまら ない	無回答
全 体		545	19.4	16.9	9.7	2.4	0.0	41.5	10.1
性 別	男	226	■ 4.9	19.0	□ 20.4	0.9	0.0	46.5	8.4
	女	293	□ 30.7	14.7	2.0	3.8	0.0	38.2	10.6
	回答しない	16	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	50.0	6.3
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	● 0.0	● 0.0	0.0	☆ 100.0	0.0	★ 0.0	■ 0.0
	男・20歳代	12	25.0	8.3	8.3	0.0	0.0	○ 58.3	■ 0.0
	男・30歳代	17	● 0.0	17.6	○ 29.4	0.0	0.0	41.2	11.8
	男・40歳代	27	● 3.7	☆ 40.7	○ 25.9	0.0	0.0	■ 29.6	■ 0.0
	男・50歳代	54	■ 5.6	20.4	□ 22.2	0.0	0.0	50.0	1.9
	男・60歳代	44	■ 4.5	15.9	□ 22.7	0.0	0.0	□ 52.3	4.5
	男・70歳以上	71	● 2.8	14.1	15.5	1.4	0.0	46.5	19.7
	女・20歳未満	1	● 0.0	● 0.0	0.0	☆ 100.0	0.0	★ 0.0	■ 0.0
	女・20歳代	23	● 0.0	13.0	0.0	○ 17.4	0.0	☆ 65.2	4.3
	女・30歳代	28	○ 35.7	25.0	0.0	0.0	0.0	39.3	■ 0.0
	女・40歳代	36	☆ 52.8	25.0	2.8	0.0	0.0	★ 19.4	■ 0.0
	女・50歳代	57	☆ 49.1	12.3	3.5	1.8	0.0	■ 29.8	3.5
	女・60歳代	47	□ 31.9	12.8	2.1	0.0	0.0	51.1	2.1
	女・70歳以上	101	17.8	10.9	2.0	5.0	0.0	37.6	○ 26.7

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

ウ. 親や家族の介護

「あてはまらない」を除くと、全体では「主に自分」が18.9%と最も高く、次いで「自分と配偶者が同じくらい」が12.8%、「主に配偶者」が7.0%と続いています。

性・年代別で見ると、「主に自分」は[女性40歳代]（41.7%）で全体よりとて高くなっています。また、「主に配偶者」は[男性60歳代]（25.0%）が全体より高くなっています。

		問18 主な家事従事者 ウ. 親や家族の介護						
		回答者数 (n)	主に自分	自分と配偶 者が同じく らい	主に配偶者	主に配偶者 以外の家族	家族以外の 人に依頼	あてはまら ない
全 体		545	18.9	12.8	7.0	2.4	1.3	48.4
性 別	男	226	10.2	15.9	12.8	0.9	1.8	50.9
	女	293	25.3	10.6	2.7	3.8	1.0	47.1
	回答しない	16	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	56.3
	回答しない	16	25.0	12.5	6.3	0.0	0.0	56.3
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	12	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	○ 66.7
	男・30歳代	17	● 0.0	17.6	11.8	5.9	0.0	52.9
	男・40歳代	27	■ 7.4	18.5	3.7	0.0	3.7	○ 66.7
	男・50歳代	54	16.7	18.5	7.4	0.0	1.9	53.7
	男・60歳代	44	9.1	13.6	○ 25.0	2.3	2.3	45.5
	男・70歳以上	71	■ 8.5	15.5	14.1	0.0	1.4	42.3
	女・20歳未満	1	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	女・20歳代	23	■ 4.3	4.3	4.3	○ 17.4	0.0	○ 65.2
	女・30歳代	28	● 3.6	10.7	0.0	3.6	3.6	☆ 78.6
	女・40歳代	36	☆ 41.7	11.1	2.8	2.8	0.0	41.7
	女・50歳代	57	□ 33.3	14.0	1.8	5.3	0.0	42.1
	女・60歳代	47	□ 29.8	14.9	2.1	0.0	2.1	48.9
	女・70歳以上	101	23.8	7.9	4.0	2.0	1.0	■ 37.6
	女・70歳以上	101	23.8	7.9	4.0	2.0	1.0	■ 37.6

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

工. 町内会・自治会などの地域活動

「あてはまらない」を除くと、全体では「主に自分」が22.4%と最も高く、次いで「主に配偶者」が10.3%、「自分と配偶者が同じくらい」が9.2%と続いています。

性・年代別で見ると、「主に自分」は[男性70歳以上]（32.4%）と[女性40歳代]（36.1%）で全体よりやや高くなっています。

		問18 主な家事従事者 工. 町内会・自治会などの地域活動						
		回答者数 (n)	主に自分	自分と配偶 者が同じく らい	主に配偶者	主に配偶者 以外の家族	家族以外の 人に依頼	あてはまら ない
全 体		545	22.4	9.2	10.3	5.7	0.2	45.1
性 別	男	226	22.1	9.7	12.4	3.5	0.0	47.3
	女	293	23.2	8.9	8.5	7.5	0.0	43.7
	回答しない	16	● 6.3	6.3	18.8	6.3	6.3	□ 56.3
	回答しない	16	● 6.3	6.3	18.8	6.3	6.3	□ 56.3
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	12	25.0	8.3	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 66.7
	男・30歳代	17	■ 11.8	5.9	11.8	11.8	0.0	□ 58.8
	男・40歳代	27	■ 11.1	7.4	18.5	3.7	0.0	□ 59.3
	男・50歳代	54	14.8	3.7	11.1	7.4	0.0	□ 59.3
	男・60歳代	44	25.0	9.1	15.9	0.0	0.0	45.5
	男・70歳以上	71	□ 32.4	16.9	11.3	1.4	0.0	● 28.2
	女・20歳未満	1	★ 0.0	0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	★ 0.0
	女・20歳代	23	★ 0.0	4.3	4.3	☆ 39.1	0.0	47.8
	女・30歳代	28	● 3.6	0.0	■ 0.0	□ 17.9	0.0	☆ 75.0
	女・40歳代	36	□ 36.1	2.8	2.8	2.8	0.0	□ 55.6
	女・50歳代	57	28.1	8.8	12.3	5.3	0.0	43.9
	女・60歳代	47	27.7	8.5	8.5	0.0	0.0	53.2
	女・70歳以上	101	24.8	14.9	11.9	3.0	0.0	● 25.7
	女・70歳以上	101	24.8	14.9	11.9	3.0	0.0	● 25.7

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

オ. 子どもの学校・保育園等の行事への参加

「あてはまらない」を除くと、全体では「主に自分」が18.7%と最も高く、次いで「自分と配偶者が同じくらい」が11.2%、「主に配偶者」が10.5%と続いています。

性別で見ると、[男性]で「主に配偶者」(21.7%)が全体よりやや高く、[女性]で「主に自分」(29.0%)が全体よりやや高くなっています。

性・年代別で見ると、「主に自分」は[女性40歳代](55.6%)と[女性50歳代](43.9%)で全体よりとても高くなっています。

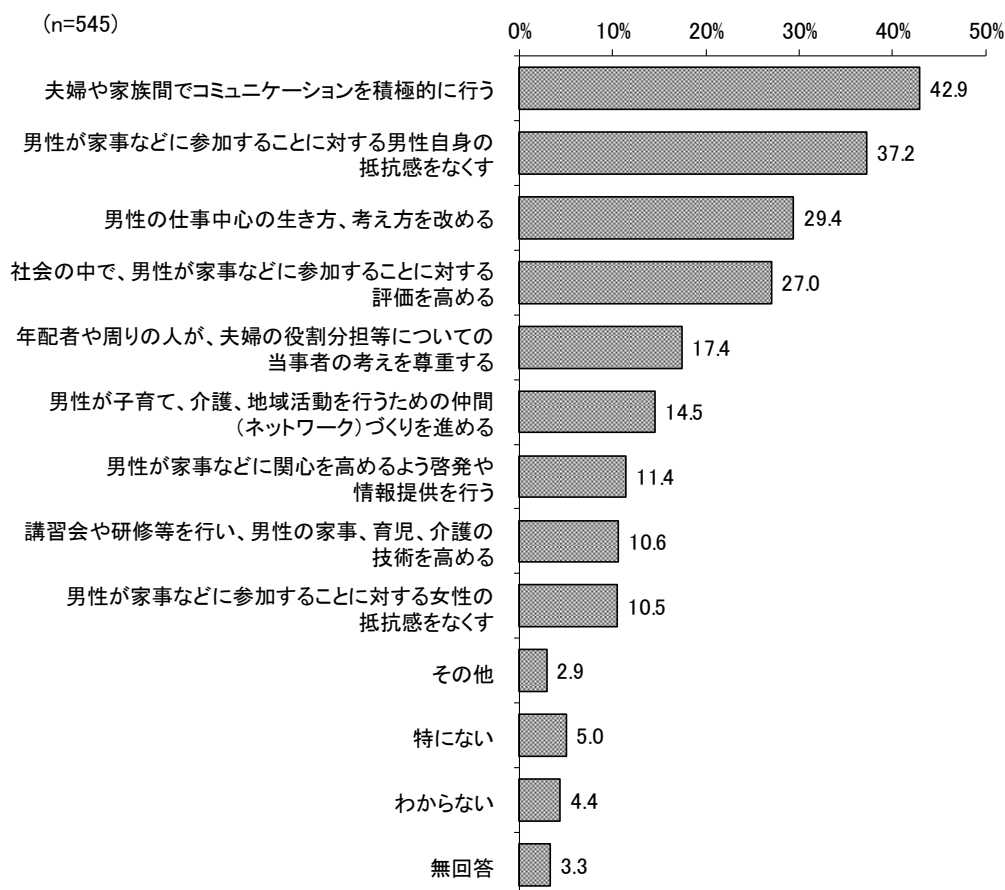
		回答者数 (n)	問18 主な家事従事者 オ. 子どもの学校・保育園等の行事への参加						
			主に自分	自分と配偶 者が同じく らい	主に配偶者	主に配偶者 以外の家族	家族以外の 人に依頼	あてはまら ない	無回答
全 体		545	18.7	11.2	10.5	2.0	0.2	47.3	10.1
性 別	男	226	■ 4.4	12.4	□ 21.7	1.8	0.0	50.9	8.8
	女	293	□ 29.0	10.6	2.0	2.4	0.3	45.1	10.6
	回答しない	16	□ 31.3	■ 0.0	12.5	0.0	0.0	56.3	■ 0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0	■ 0.0
	男・20歳代	12	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	50.0	■ 0.0
	男・30歳代	17	● 0.0	□ 23.5	17.6	0.0	0.0	47.1	11.8
	男・40歳代	27	■ 7.4	7.4	☆ 48.1	0.0	0.0	■ 37.0	■ 0.0
	男・50歳代	54	■ 5.6	16.7	16.7	0.0	0.0	□ 57.4	3.7
	男・60歳代	44	■ 4.5	6.8	□ 22.7	2.3	0.0	□ 59.1	4.5
	男・70歳以上	71	● 1.4	12.7	16.9	2.8	0.0	46.5	19.7
	女・20歳未満	1	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	★ 0.0	■ 0.0
	女・20歳代	23	■ 8.7	4.3	■ 0.0	○ 17.4	0.0	☆ 69.6	■ 0.0
	女・30歳代	28	□ 32.1	□ 25.0	■ 0.0	0.0	0.0	39.3	3.6
	女・40歳代	36	☆ 55.6	19.4	2.8	0.0	0.0	★ 22.2	■ 0.0
	女・50歳代	57	☆ 43.9	12.3	1.8	0.0	0.0	38.6	3.5
	女・60歳代	47	□ 29.8	2.1	2.1	0.0	0.0	○ 63.8	2.1
	女・70歳以上	101	14.9	7.9	3.0	2.0	1.0	44.6	○ 26.7

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(7) 男女共同参画に必要なこと

問 19 あなたは、今後、男性と女性がともに家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う」が 42.9%と最も高く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」(37.2%)、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」(29.4%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
子どものうちから男女問わず、家事についてしっかり学ぶ機会をつくる	2
パートナーを同じ人間として尊重する	1
やってもらってあたり前と思わないこと	1
男性の意識改革	1
質問のレベルがとても低い。男性が家事、子育てをして評価される時代ではない。当たり前である	1
男女共に仕事を効率化し、無駄な残業、転勤をなくす	1
その他	8
無記入	1

過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高める	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重する	男性が子育て、介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進める	男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	講習会や研修等を行い、男性の家事、育児、介護の技術を高める	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	特にない
今回（R7）	42.9	37.2	29.4	27.0	17.4	14.5	11.4	10.6	10.5	5.0
前回（R2）	47.2	37.2	35.9	33.6	16.2	13.4	15.1	9.1	9.5	3.0

上位10項目について、性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う」（56.8％）が全体よりやや高くなっています。また、[女性50歳代]で「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす」（47.4％）、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改める」（40.4％）、「男性が子育て、介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進める」（24.6％）が全体よりやや高くなっています。

		回答者数(n)	問19 男女共同参画に必要なこと									
			夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす	男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高める	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重する	男性が子育て、介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進める	男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う	講習会や研修等を行い、男性の家事、育児、介護の技術を高める	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす	特にない
全 体		545	42.9	37.2	29.4	27.0	17.4	14.5	11.4	10.6	10.5	5.0
性別	男	226	47.3	35.8	27.0	23.5	15.0	12.8	10.6	11.1	10.2	6.2
	女	293	39.6	38.6	30.4	30.0	19.1	16.0	12.6	10.2	11.3	3.4
	回答しない	16	50.0	■ 25.0	37.5	25.0	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	○ 58.3	■ 25.0	★ 8.3	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0
	男・30歳代	17	☆ 70.6	47.1	□ 41.2	● 11.8	11.8	□ 29.4	5.9	11.8	5.9	0.0
	男・40歳代	27	44.4	29.6	37.0	29.6	18.5	7.4	14.8	11.1	11.1	3.7
	男・50歳代	54	33.3	33.3	33.3	24.1	9.3	18.5	1.9	9.3	11.1	7.4
	男・60歳代	44	□ 56.8	36.4	25.0	31.8	25.0	11.4	4.5	11.4	11.4	6.8
	男・70歳以上	71	45.1	38.0	19.7	■ 16.9	12.7	7.0	19.7	12.7	9.9	8.5
	女・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	39.1	34.8	26.1	30.4	8.7	17.4	17.4	13.0	4.3	0.0
	女・30歳代	28	□ 57.1	46.4	28.6	35.7	■ 7.1	10.7	14.3	14.3	14.3	3.6
	女・40歳代	36	41.7	27.8	38.9	30.6	25.0	13.9	8.3	11.1	■ 0.0	0.0
	女・50歳代	57	38.6	□ 47.4	□ 40.4	31.6	15.8	□ 24.6	12.3	8.8	12.3	5.3
	女・60歳代	47	44.7	44.7	23.4	34.0	21.3	21.3	12.8	10.6	12.8	0.0
	女・70歳以上	101	■ 32.7	32.7	25.7	25.7	22.8	10.9	12.9	8.9	14.9	5.9

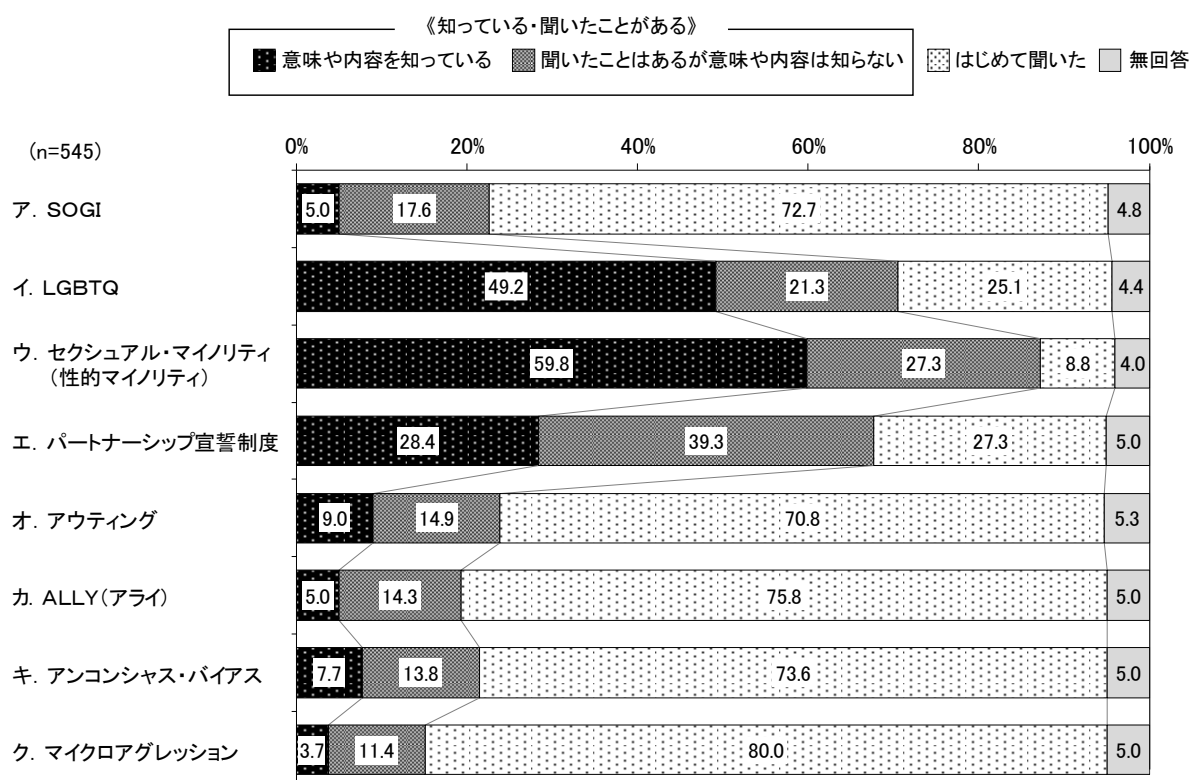
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(8) 男女共同参画に関する用語の認知度

問 20 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。(○はア～クにそれぞれ1つずつ)

《知っている・聞いたことがある》(「意味や内容を知っている」+「聞いたことはあるが意味や内容は知らない」)と回答した割合は、「セクシュアル・マイノリティ(性的マイノリティ)」が87.1%と最も高く、次いで「LGBTQ」(70.5%)、「パートナーシップ宣誓制度」(67.7%)と続いています。

一方で、「はじめて聞いた」と回答した割合は、「マイクロアグレッション」が80.0%と最も高く、次いで「ALLY(アライ)」(75.8%)、「アンコンシャス・バイアス」(73.6%)と続いています。



《知っている・聞いたことがある》（「意味や内容を知っている」＋「聞いたことはあるが意味や内容は知らない」）と回答した割合を、性・年代別で見ると、[女性40歳代]で「LGBTQ」・「パートナーシップ宣誓制度」（共に86.1%）が、[女性50歳代]で「LGBTQ」（87.8%）が全体より高くなっています。また、[女性70歳以上]で「LGBTQ」（43.6%）が全体よりとても低くなっています。

		回答者数 (n)	問20 男女共同参画に関する用語の認知度 《知っている・聞いたことがある》割合							
			セクシュアル・マイノリティ(性的マイノリティ)	LGBTQ	パートナーシップ宣誓制度	アウトティング	SOGI	アンコンシャス・バイアス	ALLY(アライ)	マイクロアグレッション
全 体		545	87.1	70.5	67.7	23.9	22.6	21.5	19.3	15.1
性 別	男	226	88.1	74.4	61.9	19.4	20.4	20.8	16.3	14.6
	女	293	86.7	67.9	72.0	27.3	23.6	20.8	21.2	15.0
	回答しない	16	93.8	□ 81.3	○ 87.6	31.3	□ 37.5	○ 37.5	25.1	□ 25.1
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	□ 100.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	● 0.0
	男・20歳代	12	91.6	☆ 91.6	66.7	16.7	☆ 50.0	□ 33.4	16.6	16.7
	男・30歳代	17	■ 76.4	□ 82.3	64.7	17.7	● 5.9	17.7	■ 5.9	23.5
	男・40歳代	27	92.6	○ 88.9	74.0	☆ 51.8	18.5	○ 37.0	□ 33.3	22.2
	男・50歳代	54	88.9	□ 83.4	■ 57.4	18.5	14.9	29.7	14.9	14.8
	男・60歳代	44	93.2	65.9	63.7	■ 13.7	25.0	15.9	13.7	11.4
	男・70歳以上	71	84.5	62.0	57.7	■ 12.7	21.1	■ 8.4	14.1	11.3
	女・20歳未満	1	□ 100.0	☆ 100.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	☆ 100.0
	女・20歳代	23	95.6	☆ 91.3	□ 78.3	☆ 47.8	26.1	17.3	26.0	8.7
	女・30歳代	28	96.4	○ 89.3	□ 82.2	25.0	21.4	21.4	14.3	14.3
	女・40歳代	36	94.4	○ 86.1	○ 86.1	30.6	16.7	22.2	22.2	11.1
	女・50歳代	57	93.0	○ 87.8	□ 79.0	31.6	28.1	24.6	21.0	12.3
	女・60歳代	47	85.1	■ 57.5	70.2	□ 34.0	29.8	□ 34.1	□ 31.9	□ 25.6
	女・70歳以上	101	■ 76.2	★ 43.6	59.4	15.9	20.8	11.9	15.9	13.9

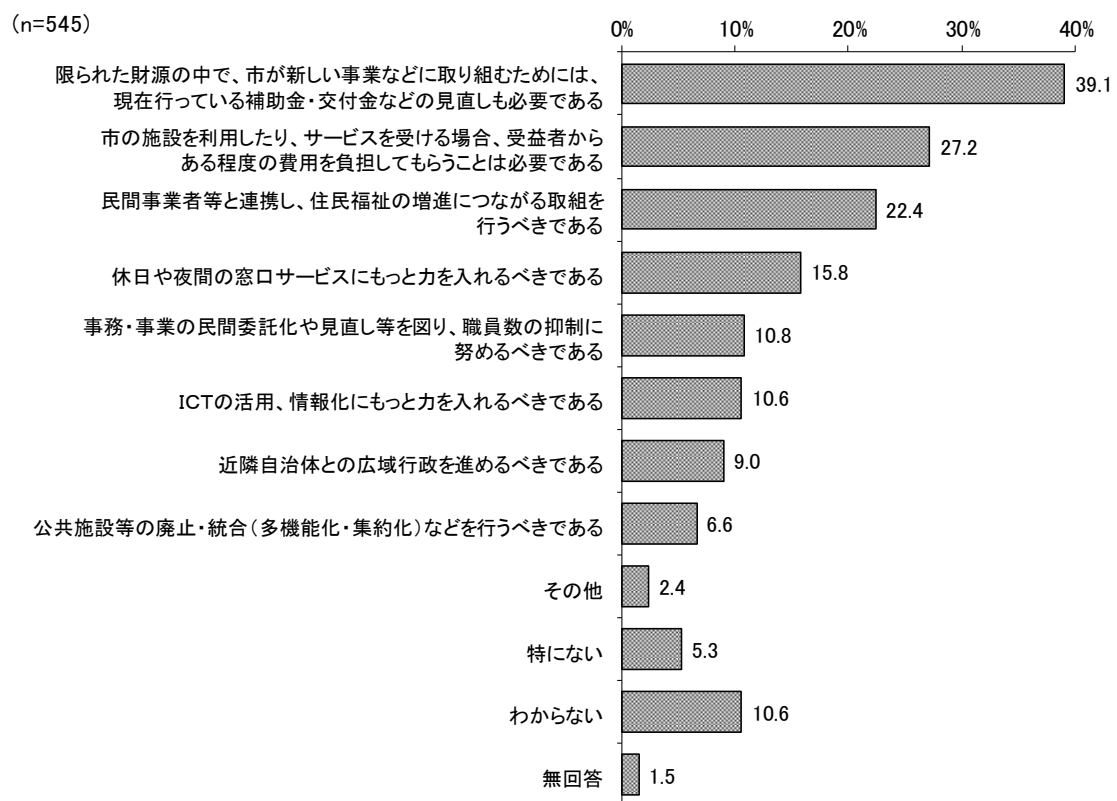
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

8 行財政改革

(1) 行財政改革に対する考え

問 21 市は、どのような考え方で行財政改革を勧めたらよいと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から選んでください。(○は2つまで)

全体では、「限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が 39.1%と最も高く、次いで「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(27.2%)、「民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである」(22.4%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
財源が限られているため、本当に必要なことだけをする。	2
公共施設のサービスを更に充実／無料で利用できるようにする	1
廃止、統合は慎重に考えてからにする。他の自治体の良いところ等を取り入れてほしい	1
事務、事業の民間委託の見直し等をはかり、市の施設やサービスの利用で最小限の費用を負担してもらう	1
決算を完全に透明化し、市民がその決済に対して良いか悪いかの投票ができるようにしたり、意見を飛ばせるようにする	1
限られた財源として考えるのではなく、財源を増やすために産業を活性化させる為の補助をした方が良い	1
その他	6

過去の調査と比較すると、「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」が前々回より低くなっています。

	限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである(※1)	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである(※2)	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである	近隣自治体との広域行政を進めるべきである	公共施設等の廃止・統合（多機能化・集約化）などを行うべきである(※3)	わからない	特にない
今回（R7）	39.1	27.2	22.4	10.8	10.6	15.8	9.0	6.6	10.6	5.3
前回（R2）	35.7	28.8	20.4	15.8	14.7	11.5	6.3	5.6	10.8	4.3
前々回（H27）	43.2	29.0	-	27.8	6.0	16.2	13.9	-	9.8	5.2

※1 「民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである」は R2 から新設

※2 H27 の選択肢は「OA 化、情報化にもっと力を入れるべきである」

※3 「公共施設等の廃止・統合（多機能化・集約化）などを行うべきである」は R2 から新設

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである」(27.8%)が全体よりやや高くなっています。

		回答者 数(n)	問21 行財政改革に対する考え									
			限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組を行うべきである	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである	近隣自治体との広域行政を進めるべきである	公共施設等の廃止・統合(多機能化・集約化)などを行うべきである	わからない	特にない
全 体		545	39.1	27.2	22.4	15.8	10.8	10.6	9.0	6.6	10.6	5.3
性別	男	226	41.6	31.4	24.3	16.8	11.5	11.9	10.6	8.8	5.3	4.4
	女	293	37.5	24.6	22.2	14.0	10.9	10.6	7.5	5.1	14.3	5.5
	回答しない	16	31.3	18.8	★ 0.0	☆ 37.5	6.3	■ 0.0	12.5	6.3	18.8	12.5
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	41.7	25.0	25.0	16.7	■ 0.0	□ 25.0	8.3	8.3	■ 0.0	0.0
	男・30歳代	17	□ 52.9	35.3	■ 11.8	□ 29.4	5.9	5.9	11.8	11.8	11.8	0.0
	男・40歳代	27	29.6	22.2	25.9	18.5	11.1	18.5	11.1	11.1	7.4	3.7
	男・50歳代	54	40.7	25.9	22.2	□ 27.8	16.7	14.8	7.4	7.4	7.4	0.0
	男・60歳代	44	40.9	36.4	29.5	13.6	11.4	11.4	9.1	6.8	2.3	11.4
	男・70歳以上	71	45.1	36.6	23.9	7.0	11.3	7.0	14.1	9.9	4.2	5.6
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	■ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	47.8	17.4	■ 8.7	13.0	13.0	○ 26.1	0.0	4.3	8.7	4.3
	女・30歳代	28	39.3	● 10.7	21.4	17.9	10.7	☆ 39.3	14.3	3.6	7.1	3.6
	女・40歳代	36	38.9	19.4	■ 11.1	13.9	5.6	11.1	8.3	11.1	□ 22.2	2.8
	女・50歳代	57	40.4	26.3	22.8	15.8	8.8	10.5	8.8	5.3	12.3	7.0
	女・60歳代	47	38.3	25.5	27.7	14.9	10.6	4.3	4.3	4.3	17.0	2.1
	女・70歳以上	101	32.7	30.7	26.7	11.9	13.9	1.0	7.9	4.0	14.9	7.9

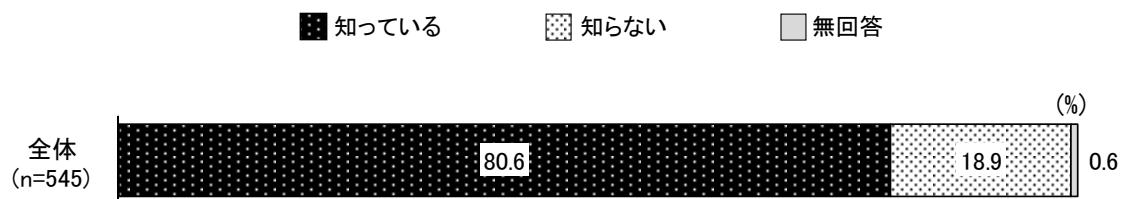
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

9 水道事業

(1) 市水道事業の水源の周知度

問 22 羽村市の水道事業は、昭和 36 年に通水を開始して以来、安全でおいしい水道水の供給に努めています。
あなたは、羽村市の水道事業が市独自の事業であり、水源が地下水 100%であることを知っていますか。(○は1つ)

全体では、「知っている」が80.6%、「知らない」が18.9%となっています。



過去の調査と比較すると、「知っている」は80%前後、「知らない」は20%前後で推移しており、大きな変化は見られません。

	知っている	知らない
今回 (R7)	80.6	18.9
前回 (R2)	79.6	19.3
前々回 (H27)	77.0	21.6

性・年代別で見ると、いずれの組み合わせにおいても全体との差は見られません。

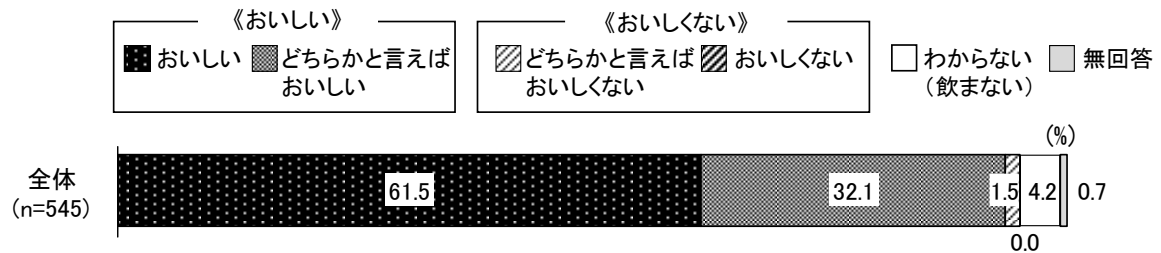
		回答者数 (n)	問22 市水道事業の水源の周知度		
			知っている	知らない	無回答
全 体		545	80.6	18.9	0.6
性 別	男	226	78.3	21.2	0.4
	女	293	81.2	18.1	0.7
	回答しない	16	□ 93.8	■ 6.3	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	■ 66.7	□ 33.3	0.0
	男・30歳代	17	● 64.7	○ 35.3	0.0
	男・40歳代	27	■ 66.7	□ 33.3	0.0
	男・50歳代	54	81.5	18.5	0.0
	男・60歳代	44	77.3	22.7	0.0
	男・70歳以上	71	87.3	11.3	1.4
	女・20歳未満	1	○ 100.0	● 0.0	0.0
	女・20歳代	23	78.3	21.7	0.0
	女・30歳代	28	82.1	17.9	0.0
	女・40歳代	36	77.8	22.2	0.0
	女・50歳代	57	80.7	19.3	0.0
	女・60歳代	47	83.0	14.9	2.1
	女・70歳以上	101	82.2	16.8	1.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2) 市水道水の印象

問 23 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。(○は1つ)

全体では、《おいしい》(「おいしい」 + 「どちらかと言えばおいしい」) が 93.6%、「わからない (飲まない)」(4.2%)、《おいしくない》(「どちらかと言えばおいしくない」 + 「おいしくない」) (1.5%) となっています。



過去の調査と比較すると、「おいしい」が60%前後、「どちらかと言えばおいしい」が30%前後、「どちらかと言えばおいしくない」・「おいしくない」・「わからない (飲まない)」は10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	おいしい	どちらかと言えばおいしい	どちらかと言えばおいしくない	おいしくない	わからない (飲まない)
今回 (R7)	61.5	32.1	1.5	0.0	4.2
前回 (R2)	61.7	29.7	2.0	0.6	5.2
前々回 (H27)	59.5	31.7	1.4	0.6	5.4

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「おいしい」(74.1%)が全体よりやや高くなっています。

		問23 市水道水の印象					
		回答者数 (n)	おいしい	どちらかと言えばおいしい	どちらかと言えばおいしくない	おいしくない	わからない (飲まない)
全体		545	61.5	32.1	1.5	0.0	4.2
性別	男	226	62.4	32.3	2.7	0.0	2.2
	女	293	61.8	30.7	0.7	0.0	5.8
	回答しない	16	● 43.8	○ 50.0	0.0	0.0	6.3
	無回答	0					
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	☆ 83.3	● 16.7	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	17	52.9	29.4	○ 17.6	0.0	0.0
	男・40歳代	27	55.6	40.7	0.0	0.0	3.7
	男・50歳代	54	□ 74.1	24.1	0.0	0.0	1.9
	男・60歳代	44	59.1	34.1	4.5	0.0	2.3
	男・70歳以上	71	56.3	38.0	1.4	0.0	2.8
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	○ 78.3	■ 17.4	0.0	0.0	4.3
	女・30歳代	28	60.7	32.1	0.0	0.0	7.1
	女・40歳代	36	58.3	30.6	0.0	0.0	11.1
	女・50歳代	57	57.9	36.8	0.0	0.0	5.3
	女・60歳代	47	55.3	36.2	0.0	0.0	6.4
	女・70歳以上	101	64.4	27.7	2.0	0.0	4.0

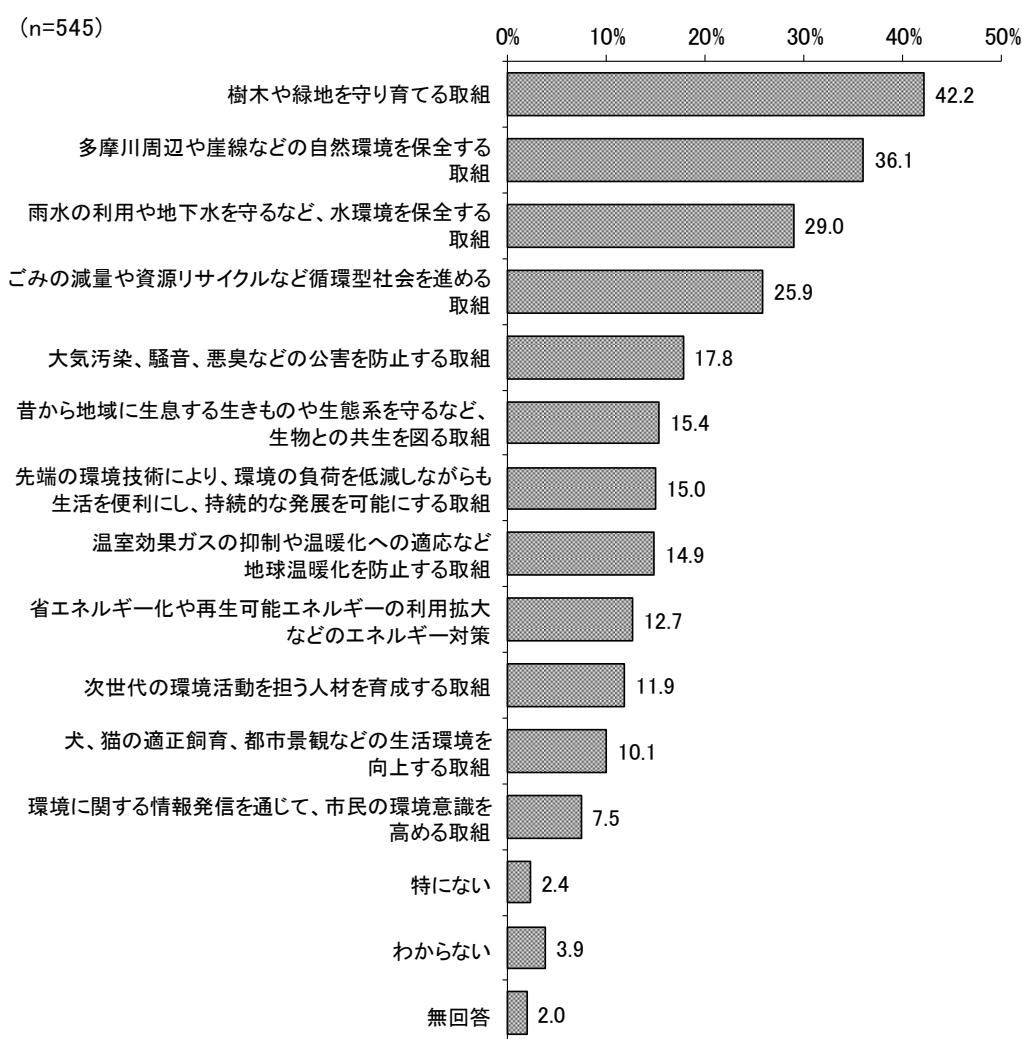
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

10 環境

(1) 環境への取組として重点をおくべきもの

問 24 市は、環境への取組として何に重点をおくべきと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

全体では、「樹木や緑地を守り育てる取組」が 42.2%と最も高く、次いで「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組」(36.1%)、「雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取組」(29.0%)と続いています。



上位10項目について、過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	樹木や緑地を守り育てる取組	多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組	雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取組	ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組	大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取組	昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取組	先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取組	温室効果ガスの抑制や温暖化への適応など地球温暖化を防止する取組	省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策	次世代の環境活動を担う人材を育成する取組
今回 (R7)	42.2	36.1	29.0	25.9	17.8	15.4	15.0	14.9	12.7	11.9
前回 (R2)	42.4	35.1	24.9	29.6	23.6	17.5	13.4	16.9	17.7	13.4
前々回 (H27)	44.0	30.9	25.7	28.2	26.3	17.4	15.4	11.0	16.2	13.7

上位10項目について、性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組」(54.5%)が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問24 環境への取組として重点をおくべきもの									
			樹木や緑地を守り育てる取組	多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組	雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取組	ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組	大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取組	昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生	先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取組	温室効果ガスの抑制や温暖化への適応など地球温暖化を防止する取組	省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策	次世代の環境活動を担う人材を育成する取組
全 体		545	42.2	36.1	29.0	25.9	17.8	15.4	15.0	14.9	12.7	11.9
性別	男	226	42.9	39.4	26.5	29.2	19.0	14.6	19.5	12.8	10.2	8.8
	女	293	42.3	34.8	30.4	23.9	16.7	16.0	11.6	15.7	15.0	14.3
	回答しない	16	■ 31.3	★ 12.5	37.5	31.3	12.5	25.0	12.5	18.8	12.5	18.8
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0
	男・20歳代	12	33.3	41.7	33.3	25.0	8.3	8.3	□ 25.0	■ 0.0	8.3	8.3
	男・30歳代	17	□ 52.9	29.4	23.5	○ 41.2	23.5	23.5	11.8	5.9	11.8	17.6
	男・40歳代	27	37.0	29.6	22.2	■ 11.1	14.8	11.1	22.2	14.8	18.5	14.8
	男・50歳代	54	38.9	44.4	■ 18.5	22.2	□ 29.6	22.2	11.1	9.3	11.1	13.0
	男・60歳代	44	43.2	○ 54.5	38.6	29.5	18.2	9.1	20.5	11.4	11.4	2.3
	男・70歳以上	71	46.5	31.0	26.8	□ 39.4	14.1	11.3	□ 25.4	19.7	5.6	5.6
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0
	女・20歳代	23	43.5	39.1	○ 47.8	17.4	21.7	8.7	● 0.0	13.0	8.7	21.7
	女・30歳代	28	42.9	39.3	21.4	21.4	□ 32.1	☆ 35.7	10.7	14.3	14.3	21.4
	女・40歳代	36	47.2	44.4	27.8	22.2	11.1	22.2	5.6	19.4	19.4	8.3
	女・50歳代	57	40.4	35.1	28.1	29.8	19.3	10.5	19.3	15.8	17.5	8.8
	女・60歳代	47	46.8	38.3	19.1	19.1	10.6	14.9	12.8	6.4	17.0	14.9
女・70歳以上	101	38.6	27.7	36.6	25.7	14.9	12.9	11.9	19.8	12.9	15.8	

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2)「グリーン購入」制度の認知度

問 25 エコマーク付き商品など、できるだけ環境負荷の少ない製品を優先的に購入する「グリーン購入」制度について、あなたは知っていますか。(○は1つ)

全体では、「知らない」が55.2%、「知っている」が40.7%となっています。



過去の調査と比較すると、「知っている」が前回よりやや高くなっています。

	知っている	知らない
今回 (R7)	40.7	55.2
前回 (R2)	29.4	66.4
前々回 (H27)	35.1	62.5

性・年代別で見ると、[女性40歳代]で「知らない」(75.0%)が全体より高くなっています。

		回答者数 (n)	問25「グリーン購入」制度の認知度		
			知っている	知らない	無回答
全 体		545	40.7	55.2	4.0
性 別	男	226	41.2	54.9	4.0
	女	293	38.6	57.3	4.1
	回答しない	16	☆ 75.0	★ 25.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	☆ 66.7	★ 33.3	0.0
	男・30歳代	17	■ 29.4	○ 70.6	0.0
	男・40歳代	27	40.7	59.3	0.0
	男・50歳代	54	33.3	□ 66.7	0.0
	男・60歳代	44	50.0	50.0	0.0
	男・70歳以上	71	39.4	47.9	12.7
	女・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	女・20歳代	23	39.1	56.5	4.3
	女・30歳代	28	39.3	60.7	0.0
	女・40歳代	36	● 22.2	○ 75.0	2.8
	女・50歳代	57	42.1	56.1	1.8
	女・60歳代	47	42.6	55.3	2.1
	女・70歳以上	101	40.6	51.5	7.9

全体値より

☆: +20%以上高い
★: -20%以上低い

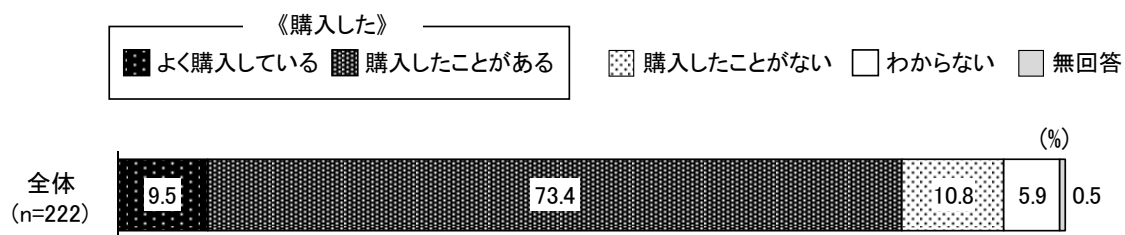
○: +15～20%高い
●: -15～20%低い

□: +10～15%高い
■: -10～15%低い

(2)-①「グリーン購入」の製品の購入状況 ※(2)-①は、(2)で「知っている」と回答した方のみの数値です。

問 25-1 あなたは「グリーン購入」の製品を購入していますか。(○は1つ)

全体では、《購入した》(「よく購入している」+「購入したことがある」)が82.9%、「購入したことがない」が10.8%となっています。

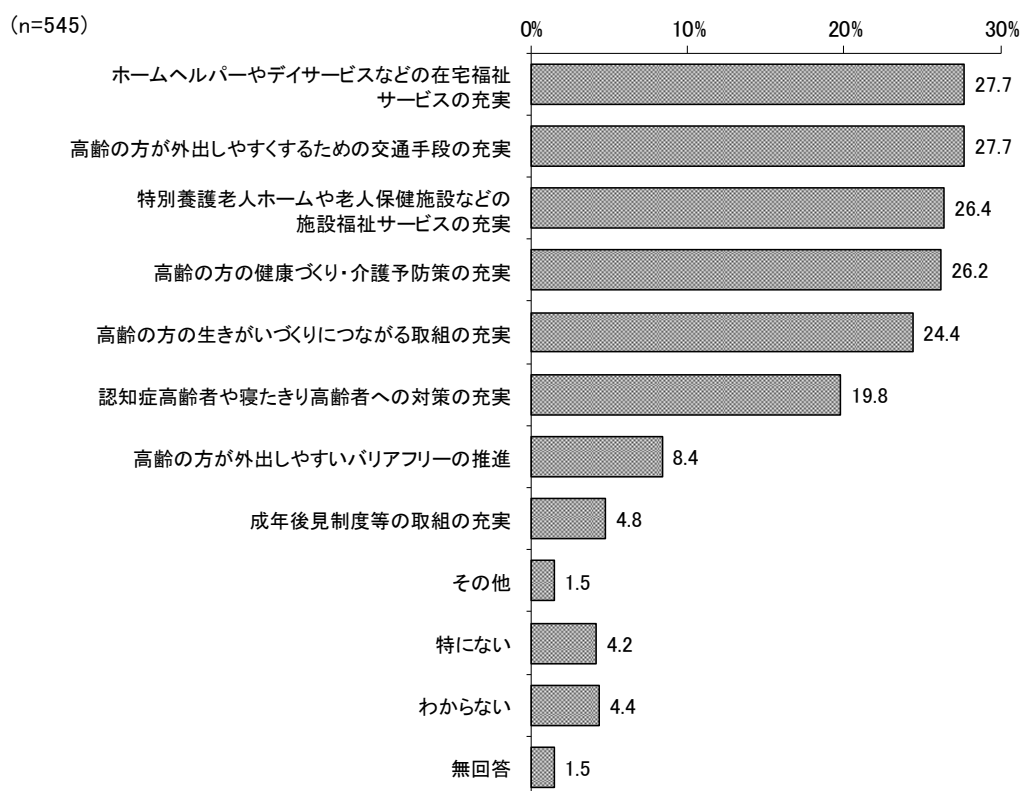


11 高齢者福祉

(1) 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組

問 26 高齢社会において介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力を入れてほしい取組を次の中から選んでください。(○は2つまで)

全体では、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」と「高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実」が共に 27.7%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」(26.4%)、「高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実」(26.2%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
健康促進を目的としたポイント制度（ポイントは市内の協力店で使用）医療費削減、地域活性効果あり	1
タクシーチケット配布等	1
高齢者家族（夫婦等）の生活相談の充実	1
元気な高齢者やそんなに元気でもない高齢者も支援を受ける一方向ではなく、提供する双方向の支援を期待	1
必要性を感じない	1
その他	3

過去の調査と比較すると、今回新しく設定された「高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実」が27.7%と「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」と同率で最も高い回答率となっています。また、「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」が前々回よりやや低くなっています。

	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実(※1)	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実	高齢の方の生きがいづくりにつながる取組の充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢の方が外出しやすいバリアフリーの推進	成年後見制度等の取組の充実(※2)	わからない	特になし
今回 (R7)	27.7	27.7	26.4	26.2	24.4	19.8	8.4	4.8	4.4	4.2
前回 (R2)	32.3	-	34.0	33.1	27.1	27.5	14.1	2.4	4.5	1.9
前々回 (H27)	33.2	-	35.3	33.8	26.8	30.9	16.0	-	1.9	2.5

※1 「高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実」は R7 から新設

※2 「成年後見制度等の取組の充実」は R2 から新設

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「高齢の方の生きがいづくりにつながる取組の充実」(38.6%)が、[男性70歳以上]で「高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実」(36.6%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性50歳代]で「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」(42.1%)が、[女性70歳以上]で「高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実」(41.6%)が全体よりやや高くなっています。

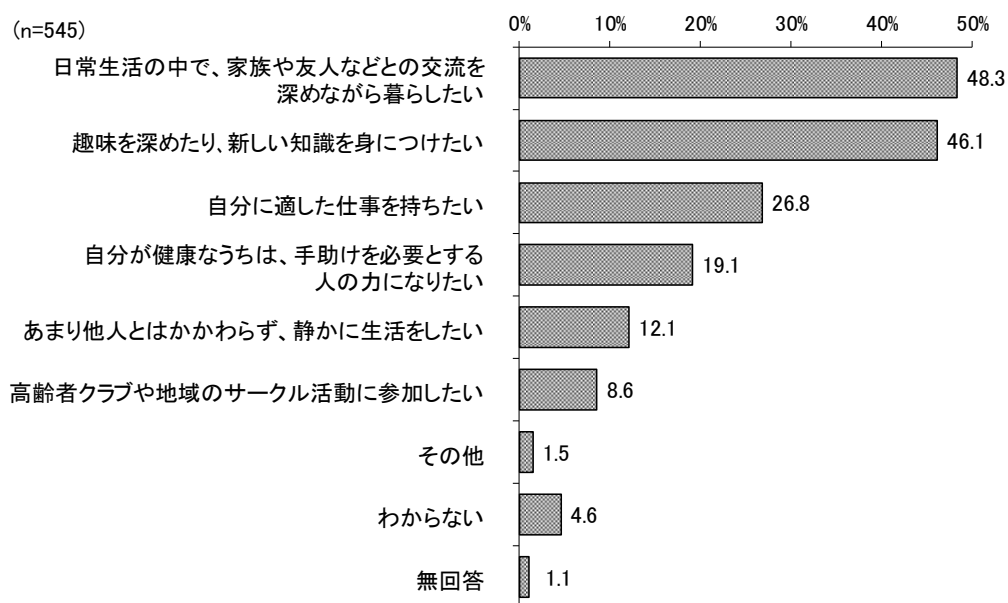
		問26 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組									
	回答者数(n)	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実	高齢の方の生きがいづくりにつながる取組の充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢の方が外出しやすいバリアフリーの推進	成年後見制度等の取組の充実	わからない	特になし
全 体	545	27.7	27.7	26.4	26.2	24.4	19.8	8.4	4.8	4.4	4.2
性別											
男	226	25.2	21.7	26.5	30.1	27.0	19.9	8.0	4.4	5.8	5.3
女	293	29.7	31.7	25.6	23.9	22.5	20.5	9.2	4.8	3.4	2.7
回答しない	16	25.0	25.0	○ 43.8	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3	6.3	12.5
性・年代別											
男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	12	■ 16.7	■ 16.7	16.7	○ 41.7	16.7	■ 8.3	0.0	8.3	□ 16.7	8.3
男・30歳代	17	● 11.8	23.5	23.5	17.6	● 5.9	11.8	0.0	5.9	□ 17.6	○ 23.5
男・40歳代	27	22.2	18.5	29.6	29.6	25.9	11.1	3.7	7.4	7.4	11.1
男・50歳代	54	25.9	20.4	24.1	27.8	29.6	13.0	11.1	5.6	9.3	3.7
男・60歳代	44	29.5	27.3	29.5	22.7	□ 38.6	27.3	13.6	4.5	0.0	2.3
男・70歳以上	71	28.2	21.1	28.2	□ 36.6	25.4	26.8	7.0	1.4	1.4	1.4
女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	23	21.7	21.7	● 8.7	21.7	26.1	17.4	17.4	0.0	4.3	8.7
女・30歳代	28	21.4	32.1	17.9	○ 42.9	■ 10.7	28.6	14.3	3.6	3.6	7.1
女・40歳代	36	25.0	25.0	36.1	■ 13.9	25.0	22.2	8.3	2.8	8.3	2.8
女・50歳代	57	□ 42.1	28.1	22.8	19.3	26.3	28.1	5.3	5.3	3.5	0.0
女・60歳代	47	27.7	25.5	27.7	21.3	27.7	23.4	10.6	6.4	2.1	0.0
女・70歳以上	101	29.7	□ 41.6	28.7	25.7	19.8	11.9	7.9	5.9	2.0	3.0

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2) 老後の暮らし方

問 27 あなたは、老後をどのように暮らしたいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(○は2つまで)

全体では、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」が 48.3%と最も高く、次いで「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」(46.1%)、「自分に適した仕事を持ちたい」(26.8%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
健康なうちだけでなく、健康でなくなっても人の力になりたい	1
ハローワークや東京都と連携し（広報などに掲載）、高齢者の仕事（市内）やボランティア活動をすることでポイントを貯め、活用できるようにしてほしい	1
都心に住む	1
ひたすら趣味に打ち込む	1
その他	4

過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい	趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい	自分に適した仕事を持ちたい	自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい	あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい	高齢者クラブや地域のサークル活動に参加したい(※)	わからない
今回 (R7)	48.3	46.1	26.8	19.1	12.1	8.6	4.6
前回 (R2)	45.2	51.7	28.6	20.1	14.1	7.1	3.0
前々回 (H27)	51.0	50.2	25.9	24.3	10.0	10.8	1.9

※ R2、H27の選択肢は「老人クラブや地域のサークル活動に参加したい」

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「自分に適した仕事を持ちたい」(48.1%)が全体よりも高くなっています。また、[女性60歳代]で「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」(68.1%)が全体よりも高くなっています。

		回答者数 (n)	問27 老後の暮らし方								
			日常生活 の中で、家 族や友人 などとの交 流を深めな がら暮らし たい	趣味を深 めたり、新 しい知識を 身につけたい	自分に適し た仕事を持 ちたい	自分が健 康なう ちは、手助け を必要とす る人の力に なりた	あまり他人 とはかかわ らず、静か に生活をし たい	高齢者クラ ブや地域 のサークル 活動に 参加したい	その他	わからない	無回答
全 体		545	48.3	46.1	26.8	19.1	12.1	8.6	1.5	4.6	1.1
性 別	男	226	42.0	50.4	30.5	15.5	18.1	5.3	1.8	4.4	0.9
	女	293	54.6	44.0	22.9	21.8	7.5	10.6	1.0	4.4	1.4
	回答しない	16	● 31.3	43.8	○ 43.8	18.8	12.5	□ 18.8	0.0	12.5	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	50.0	50.0	★ 0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	□ 16.7	0.0
	男・30歳代	17	■ 35.3	41.2	23.5	■ 5.9	☆ 35.3	5.9	5.9	5.9	0.0
	男・40歳代	27	★ 22.2	○ 63.0	○ 44.4	18.5	18.5	3.7	0.0	3.7	0.0
	男・50歳代	54	★ 27.8	48.1	☆ 48.1	16.7	18.5	5.6	1.9	7.4	0.0
	男・60歳代	44	56.8	50.0	31.8	13.6	20.5	6.8	2.3	0.0	0.0
	男・70歳以上	71	52.1	49.3	18.3	16.9	11.3	5.6	1.4	2.8	2.8
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	● 30.4	47.8	30.4	■ 8.7	4.3	13.0	0.0	8.7	4.3
	女・30歳代	28	53.6	□ 57.1	□ 39.3	21.4	3.6	7.1	0.0	3.6	0.0
	女・40歳代	36	□ 58.3	41.7	19.4	22.2	11.1	8.3	2.8	5.6	0.0
	女・50歳代	57	42.1	42.1	35.1	26.3	10.5	7.0	1.8	1.8	0.0
	女・60歳代	47	○ 68.1	38.3	21.3	19.1	■ 2.1	6.4	2.1	2.1	2.1
	女・70歳以上	101	□ 59.4	43.6	■ 11.9	23.8	8.9	15.8	0.0	5.9	2.0

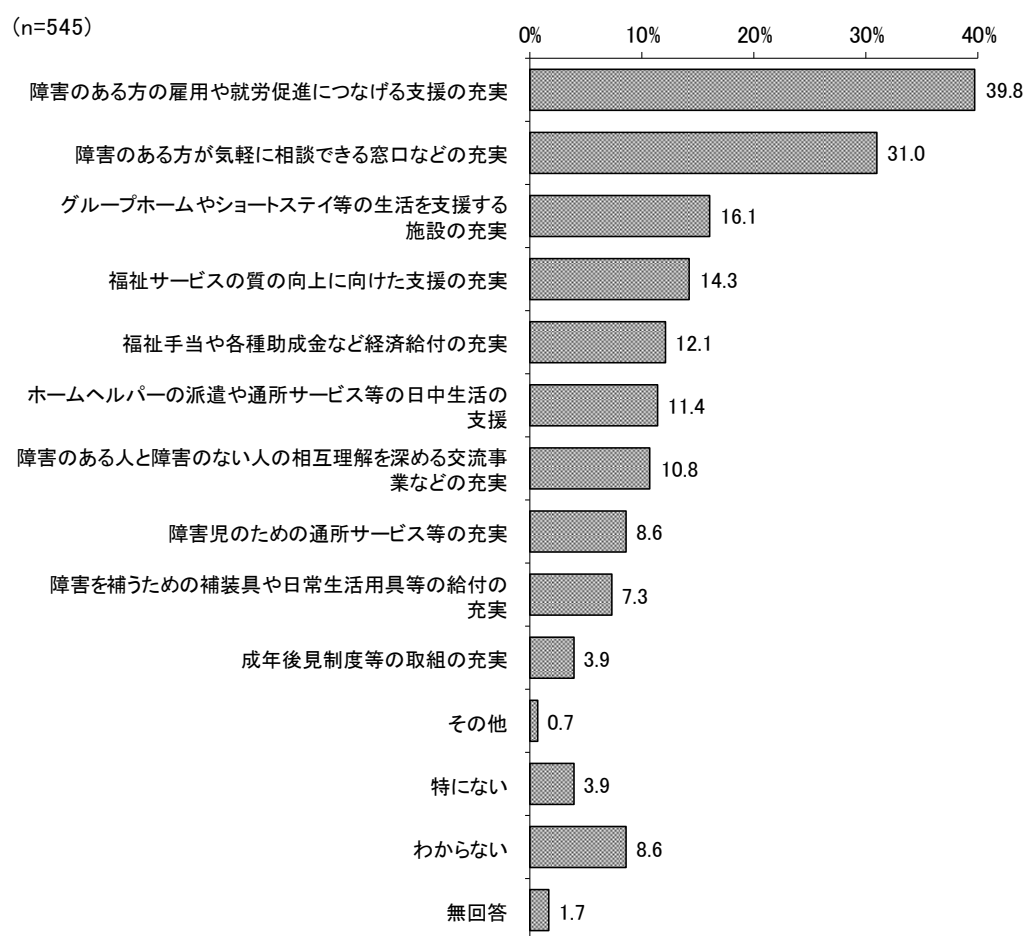
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

12 障害者福祉

(1) 今後必要な障害者福祉に関する取組

問 28 市として、今後どのような障害者福祉に関する取組が必要だと思いますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)

全体では、「障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が 39.8%と最も高く、次いで「障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実」(31.0%)、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」(16.1%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
障害者(児)の家族に対する支援、同じ悩みをもつ家族同士が話し合える場	1
介護士の給料を上げてくれたらサービスの質が上がりそう	1
その他	2

過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	ホームヘルパーの派遣や通所サービス等の日中生活の支援(※1)	障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実	障害児のための通所サービス等の充実(※2)	障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実	成年後見制度等の取組の充実(※3)
今回 (R7)	39.8	31.0	16.1	14.3	12.1	11.4	10.8	8.6	7.3	3.9
前回 (R2)	42.9	24.5	16.2	12.8	12.6	15.1	12.5	12.6	8.2	3.0
前々回 (H27)	39.6	25.3	17.8	15.6	18.9	15.8	12.7	13.3	8.9	-

※1 R2、H27の選択肢は「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」

※2 R2、H27の選択肢は「障害児のための幼児保育や学童クラブの充実」

※3 「成年後見制度等の取組の充実」はR2から新設

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実」(61.4%)が全体よりとて高くなっています。

		回答者数(n)	問28 今後必要な障害者福祉に関する取組									
			障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	ホームヘルパーの派遣や通所サービス等の日中生活の支援	障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実	障害児のための通所サービス等の充実	障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実	成年後見制度等の取組の充実
全 体		545	39.8	31.0	16.1	14.3	12.1	11.4	10.8	8.6	7.3	3.9
性別	男	226	42.5	31.9	12.4	14.2	14.6	10.6	12.4	8.0	7.1	2.2
	女	293	37.9	31.4	18.8	15.4	10.9	11.6	9.9	9.2	7.8	4.4
	回答しない	16	43.8	■ 18.8	6.3	■ 0.0	6.3	18.8	12.5	12.5	6.3	12.5
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	12	41.7	25.0	8.3	■ 0.0	8.3	■ 0.0	■ 0.0	0.0	16.7	0.0
	男・30歳代	17	35.3	29.4	■ 5.9	11.8	11.8	5.9	11.8	11.8	11.8	0.0
	男・40歳代	27	33.3	37.0	□ 29.6	■ 3.7	14.8	7.4	14.8	11.1	14.8	0.0
	男・50歳代	54	42.6	29.6	13.0	13.0	9.3	14.8	16.7	3.7	1.9	5.6
	男・60歳代	44	☆ 61.4	34.1	■ 4.5	15.9	20.5	15.9	15.9	9.1	6.8	2.3
	男・70歳以上	71	35.2	32.4	12.7	21.1	16.9	8.5	8.5	9.9	5.6	0.0
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	30.4	30.4	13.0	8.7	13.0	■ 0.0	13.0	□ 21.7	8.7	4.3
	女・30歳代	28	□ 50.0	25.0	7.1	7.1	17.9	3.6	10.7	10.7	14.3	3.6
	女・40歳代	36	36.1	22.2	22.2	13.9	13.9	16.7	5.6	8.3	8.3	8.3
	女・50歳代	57	42.1	26.3	19.3	19.3	10.5	8.8	10.5	7.0	5.3	7.0
	女・60歳代	47	36.2	38.3	23.4	21.3	8.5	10.6	8.5	6.4	6.4	4.3
	女・70歳以上	101	35.6	36.6	19.8	14.9	8.9	15.8	10.9	7.9	7.9	2.0

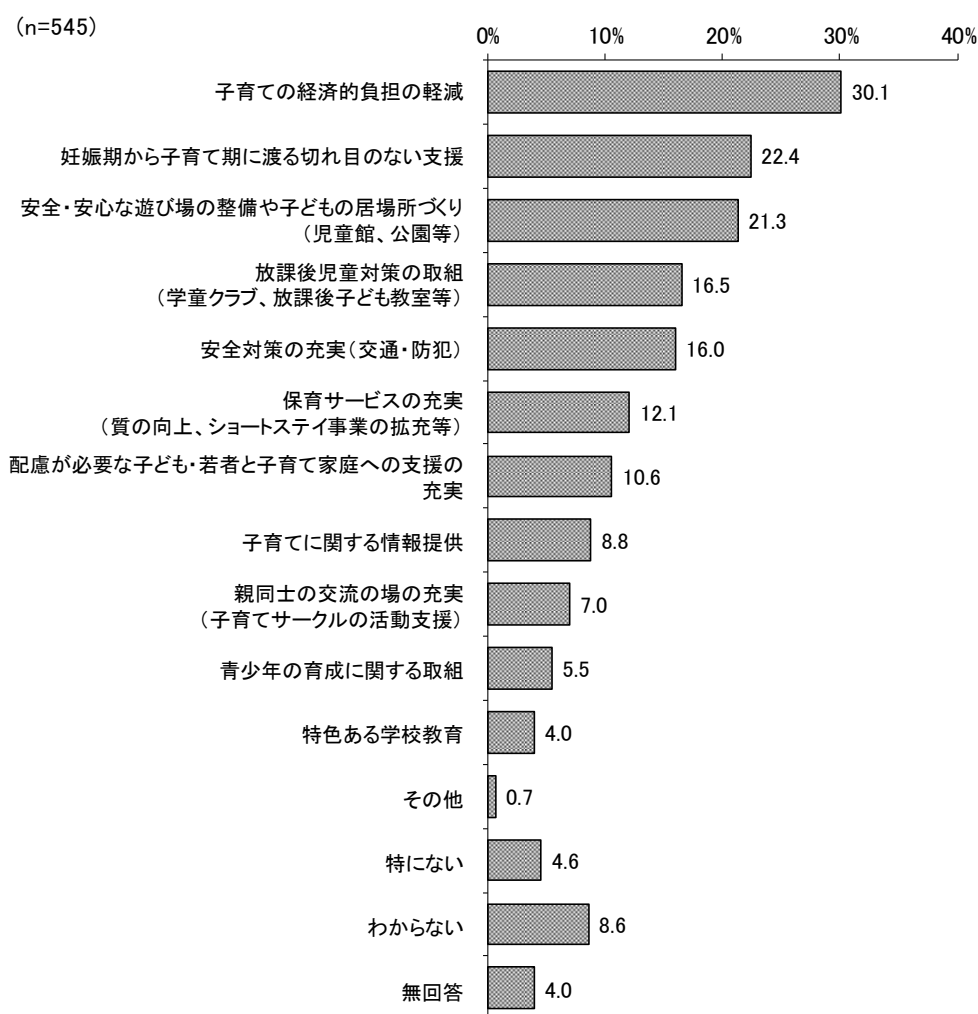
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

13 子育て支援

(1) 今後必要な子育て支援に関する取組

問 29 市では、東京で子育てしやすいまちとして、シティプロモーションを実施しながら、子育て支援の充実に取り組んでいます。今後、市に力を入れてほしい取組、または充実が必要である取組を、次の中から選んでください。(〇は2つまで)

全体では、「子育ての経済的負担の軽減」が 30.1%と最も高く、次いで「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」(22.4%)、「安全・安心な遊び場の整備や子どもの居場所づくり(児童館、公園等)」(21.3%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
早朝の学童預かり（特に低学年の児童）、教育の質の向上（朝学習）、朝食の支援	1
高校や大学などの進学校があると魅力的だと思う	1
その他	2

上位10項目について、過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	子育ての経済的負担の軽減	妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援	安全・安心な遊び場の整備や子どもの居場所づくり（児童館、公園等）（※1）	放課後児童対策の取組（学童クラブ、放課後子ども教室等）（※2）	安全対策の充実（交通・防犯）	保育サービスの充実（質の向上、ショートステイ事業の拡充等）	配慮が必要な子ども・若者と子育て家庭への支援の充実	子育てに関する情報提供	親同士の交流の場の充実（子育てサークルの活動支援）	青少年の育成に関する取組
今回（R7）	30.1	22.4	21.3	16.5	16.0	12.1	10.6	8.8	7.0	5.5
前回（R2）	32.3	19.3	17.5	14.5	23.6	19.1	11.5	7.4	5.0	5.8

※1 R2の選択肢は「安全・安心な遊び場の整備（児童館・公園等）」

※2 R2の選択肢は「放課後児童対策の取組」

上位10項目について、性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」(37.0%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性40歳代]で「安全・安心な遊び場の整備や子どもの居場所づくり(児童館、公園等)」(33.3%)が全体よりやや高くなっています。

居住区で見ると、[五ノ神]で「親同士の交流の場の充実(子育てサークルの活動支援)」(17.5%)が、[緑ヶ丘]で「保育サービスの充実(質の向上、ショートステイ事業の拡充等)」(23.0%)が、[栄町]で「安全対策の充実(交通・防犯)」(28.0%)と「配慮が必要な子ども・若者と子育て家庭への支援の充実」(22.0%)が全体よりやや高くなっています。

居住年数で見ると、[3年未満]で「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」(37.5%)が全体より高くなっています。

		回答者数(n)	問29 今後必要な子育て支援に関する取組									
			子育ての経済的負担の軽減	妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援	安全・安心な遊び場の整備や子どもの居場所づくり(児童館、公園等)	放課後児童対策の取組(学童クラブ、放課後子ども教室等)	安全対策の充実(交通・防犯)	保育サービスの充実(質の向上、ショートステイ事業の拡充等)	配慮が必要な子ども・若者と子育て家庭への支援の充実	子育てに関する情報提供	親同士の交流の場の充実(子育てサークルの活動支援)	青少年の育成に関する取組
全 体		545	30.1	22.4	21.3	16.5	16.0	12.1	10.6	8.8	7.0	5.5
性別	男	226	34.5	28.8	18.1	14.2	19.0	9.7	10.2	7.5	4.4	6.2
	女	293	27.6	18.1	24.2	18.4	13.3	13.3	11.3	8.9	8.5	5.5
	回答しない	16	● 12.5	18.8	12.5	12.5	○ 31.3	12.5	6.3	□ 18.8	12.5	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	■ 16.7	□ 33.3	16.7	● 0.0	16.7	16.7	■ 0.0	○ 25.0	0.0	8.3
	男・30歳代	17	☆ 52.9	29.4	17.6	■ 5.9	○ 35.3	■ 0.0	■ 0.0	5.9	5.9	0.0
	男・40歳代	27	☆ 51.9	22.2	18.5	11.1	18.5	11.1	18.5	7.4	7.4	3.7
	男・50歳代	54	31.5	□ 37.0	18.5	9.3	18.5	9.3	7.4	9.3	1.9	7.4
	男・60歳代	44	34.1	29.5	18.2	15.9	20.5	6.8	18.2	2.3	2.3	9.1
	男・70歳以上	71	28.2	23.9	18.3	22.5	14.1	12.7	8.5	7.0	7.0	5.6
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	□ 43.5	21.7	13.0	■ 4.3	13.0	13.0	8.7	17.4	□ 17.4	4.3
	女・30歳代	28	☆ 57.1	○ 39.3	28.6	14.3	17.9	7.1	3.6	0.0	7.1	7.1
	女・40歳代	36	33.3	22.2	□ 33.3	22.2	11.1	11.1	13.9	5.6	0.0	2.8
	女・50歳代	57	26.3	14.0	19.3	24.6	7.0	21.1	12.3	12.3	8.8	3.5
居住地区	女・60歳代	47	25.5	21.3	25.5	14.9	19.1	12.8	8.5	10.6	0.0	6.4
	女・70歳以上	101	● 14.9	■ 10.9	23.8	19.8	13.9	11.9	13.9	7.9	13.9	6.9
	神明台	80	30.0	26.3	15.0	17.5	16.3	10.0	11.3	7.5	7.5	6.3
	双葉町	29	37.9	27.6	13.8	20.7	10.3	20.7	13.8	13.8	6.9	3.4
	五ノ神	40	■ 17.5	27.5	22.5	15.0	10.0	15.0	12.5	7.5	□ 17.5	7.5
	富士見平・羽4000番台	41	29.3	29.3	12.2	24.4	12.2	2.4	7.3	17.1	7.3	2.4
	緑ヶ丘	61	27.9	21.3	24.6	16.4	9.8	□ 23.0	4.9	8.2	8.2	4.9
	栄町	50	40.0	■ 12.0	26.0	20.0	□ 28.0	8.0	□ 22.0	4.0	4.0	0.0
	小作台	55	32.7	14.5	29.1	12.7	18.2	10.9	10.9	14.5	7.3	1.8
	羽西	29	○ 48.3	31.0	17.2	17.2	20.7	10.3	10.3	3.4	0.0	10.3
	羽加美	45	28.9	22.2	24.4	17.8	15.6	15.6	8.9	4.4	8.9	11.1
	羽中	35	22.9	31.4	25.7	8.6	20.0	5.7	2.9	11.4	2.9	5.7
	羽東	35	31.4	20.0	22.9	14.3	14.3	8.6	8.6	8.6	11.4	5.7
	川崎	22	■ 18.2	13.6	27.3	9.1	18.2	13.6	9.1	4.5	0.0	13.6
	玉川・羽600～700番台	17	29.4	17.6	17.6	17.6	■ 5.9	5.9	□ 23.5	5.9	0.0	5.9
居住年数	3年未満	32	34.4	○ 37.5	12.5	9.4	12.5	9.4	6.3	9.4	12.5	6.3
	3年以上5年未満	14	○ 50.0	28.6	21.4	● 0.0	7.1	21.4	○ 28.6	□ 21.4	□ 21.4	0.0
	5年以上10年未満	35	34.3	25.7	17.1	22.9	■ 2.9	11.4	11.4	17.1	8.6	0.0
	10年以上20年未満	69	29.0	21.7	20.3	15.9	21.7	11.6	8.7	8.7	2.9	4.3
	20年以上	393	29.0	20.9	22.6	17.3	16.8	12.2	10.7	7.6	6.6	6.4

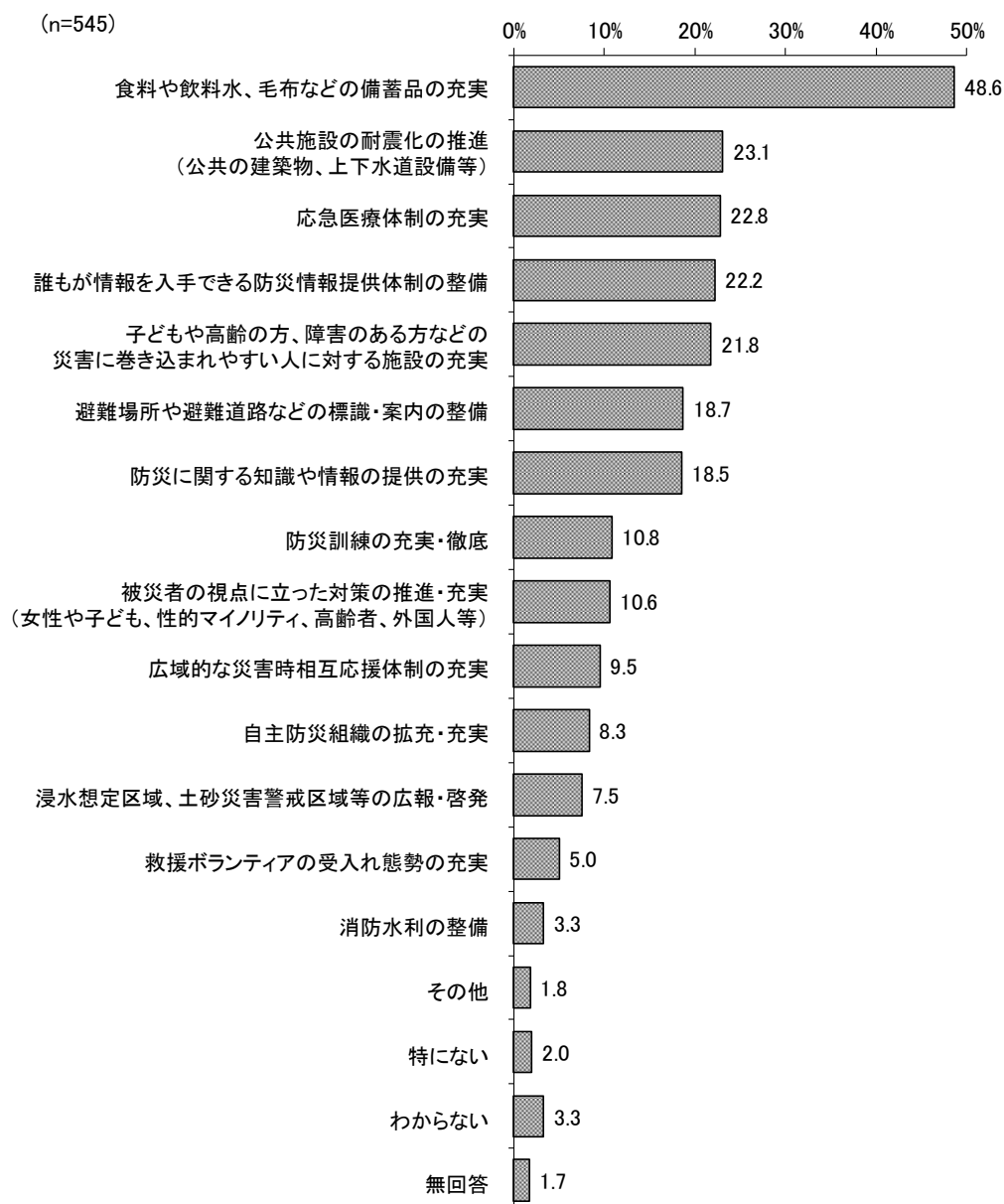
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

14 防災・防犯対策

(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの

問 30 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は3つまで)

全体では、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が 48.6%と最も高く、次いで「公共施設の耐震化の推進（公共の建築物、上下水道設備等）」(23.1%)、「応急医療体制の充実」(22.8%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
防災無線が聞き取りにくい	3
消防団活動の充実	1
要望が具現化できるように財政をたて直す	1
その他	5

上位10項目について、過去の調査と比較すると、今回新しく設定された「被災者の視点に立った対策の推進・充実（女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、外国人等）」は回答率が約10%となっています。また、「応急医療体制の充実」は前回よりやや低くなっています。

	食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実	公共施設の耐震化の推進（公共の建築物、上下水道設備等）（※1）	応急医療体制の充実	誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備（※2）	子どもや高齢の方、障害のある方などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実	避難場所や避難道などの標識・案内の整備	防災に関する知識や情報の提供の充実	防災訓練の充実・徹底	被災者の視点に立った対策の推進・充実（女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、外国人等）（※3）	広域的な災害時相互応援体制の充実
今回（R7）	48.6	23.1	22.8	22.2	21.8	18.7	18.5	10.8	10.6	9.5
前回（R2）	50.2	14.9	33.5	31.0	23.4	18.2	26.4	10.6	-	13.9
前々回（H27）	45.6	15.8	29.3	-	28.4	23.9	26.6	15.6	-	15.3

※1 R2、H27の選択肢は「公共施設の耐震化の推進」

※2 「誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備」はR2から新設

※3 「被災者の視点に立った対策の推進・充実（女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、外国人等）」はR7から新設

上位10項目について、性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「応急医療体制の充実」（38.6%）が全体より高くなっています。また、[女性60歳代]で「子どもや高齢の方、障害のある方などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実」（38.3%）が全体より高くなっています。

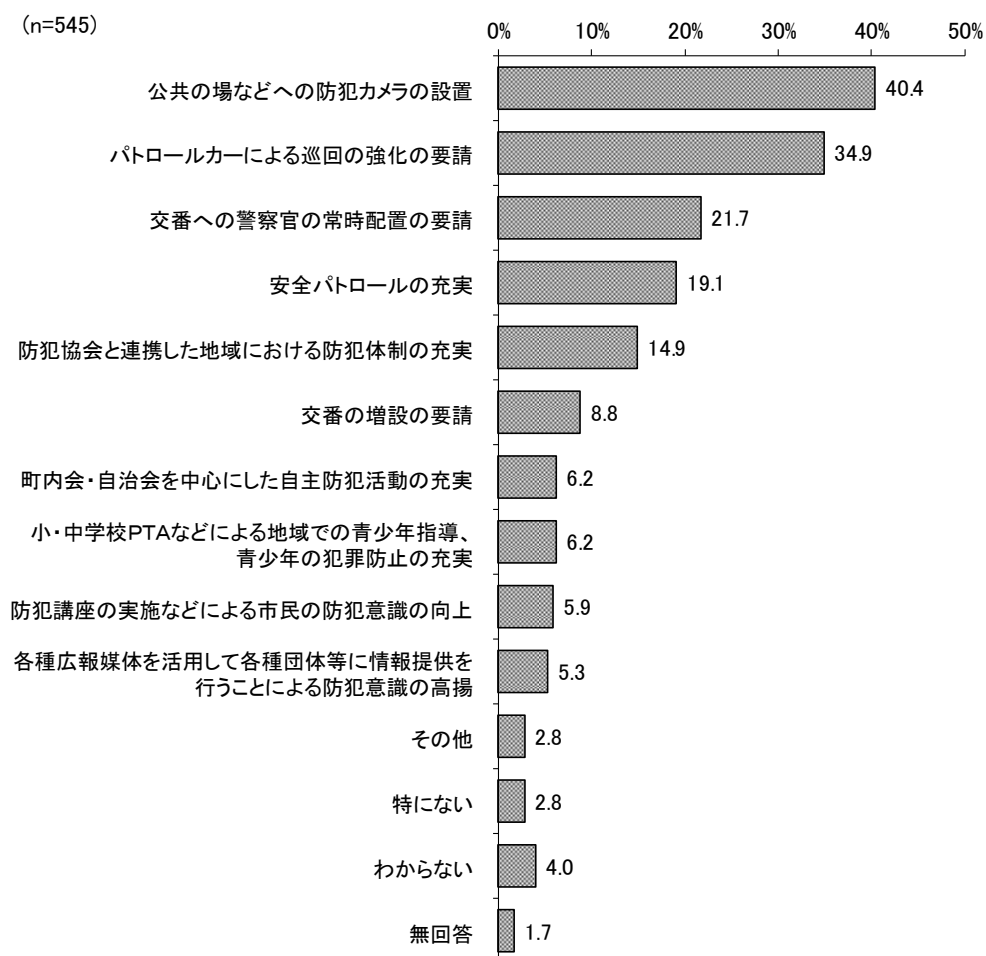
		問30 防災対策で重点をおいて進めるべきもの									
	回答者数(n)	食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実	公共施設の耐震化の推進（公共の建築物、上下水道設備等）	応急医療体制の充実	誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備	子どもや高齢の方、障害のある方などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実	避難場所や避難道などの標識・案内の整備	防災に関する知識や情報の提供の充実	防災訓練の充実・徹底	被災者の視点に立った対策の推進・充実（女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、外国人等）	広域的な災害時相互応援体制の充実
全体	545	48.6	23.1	22.8	22.2	21.8	18.7	18.5	10.8	10.6	9.5
性別											
男	226	48.2	24.3	23.9	16.4	17.7	18.1	22.6	11.9	9.3	9.7
女	293	49.1	21.8	22.2	27.3	24.6	19.1	16.4	9.9	11.9	9.2
回答しない	16	56.3	25.0	25.0	18.8	25.0	12.5	6.3	12.5	6.3	12.5
性・年代別											
男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	■ 0.0	0.0
男・20歳代	12	○ 66.7	16.7	16.7	16.7	■ 8.3	■ 8.3	● 0.0	□ 25.0	■ 0.0	8.3
男・30歳代	17	□ 58.8	29.4	■ 11.8	● 5.9	23.5	23.5	□ 29.4	5.9	■ 0.0	5.9
男・40歳代	27	44.4	□ 37.0	29.6	■ 11.1	■ 11.1	● 3.7	18.5	7.4	18.5	11.1
男・50歳代	54	50.0	■ 13.0	16.7	18.5	22.2	18.5	27.8	7.4	9.3	7.4
男・60歳代	44	□ 61.4	□ 34.1	○ 38.6	18.2	■ 11.4	25.0	15.9	11.4	4.5	9.1
男・70歳以上	71	■ 33.8	22.5	22.5	18.3	21.1	19.7	25.4	15.5	12.7	12.7
女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0
女・20歳代	23	43.5	21.7	● 4.3	21.7	■ 8.7	13.0	13.0	□ 21.7	8.7	0.0
女・30歳代	28	○ 64.3	☆ 46.4	○ 39.3	● 7.1	14.3	17.9	14.3	7.1	10.7	10.7
女・40歳代	36	44.4	19.4	19.4	22.2	16.7	25.0	19.4	13.9	11.1	8.3
女・50歳代	57	42.1	19.3	19.3	31.6	15.8	15.8	17.5	7.0	15.8	10.5
女・60歳代	47	51.1	14.9	27.7	□ 34.0	○ 38.3	10.6	21.3	8.5	6.4	6.4
女・70歳以上	101	51.5	20.8	21.8	30.7	□ 32.7	24.8	12.9	8.9	12.9	11.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの

問 31 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は2つまで)

全体では、「公共の場などへの防犯カメラの設置」が 40.4%と最も高く、次いで「パトロールカーによる巡回の強化の要請」(34.9%)、「交番への警察官の常時配置の要請」(21.7%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
夜のバイクの騒音の取り締まり	2
防犯機器等購入補助金の市民へのアピール	1
外国人増加にともなう治安対策	1
羽村大橋などで、家庭ごみの不法投棄対策（カメラや警察のパトロール）	1
公園などで草が生えて管理できていないと一目でわかるような環境をつくらない	1
要望が具現化できるように財政をたて直す	1
その他	8

過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	公共の場 などへの 防犯カメ ラの設置	パトロー ルカーに よる巡回 の強化の 要請	交番への 警察官の 常時配置 の要請	安全パト ロールの 充実	防犯協会 と連携し た地域に おける防 犯体制の 充実	交番の増 設の要請	町内会・ 自治会を 中心にし た自主防 犯活動の 充実	小・中学 校 PTA な どによる 地域での 青少年指 導、青少 年の犯罪 防止の充 実	防犯講座 の実施な どによる 市民の防 犯意識の 向上	各種広報 媒体を活 用して各 種団体等 に情報提 供を行う ことによ る防犯意 識の高揚
今回（R7）	40.4	34.9	21.7	19.1	14.9	8.8	6.2	6.2	5.9	5.3
前回（R2）	40.9	34.9	22.5	19.5	18.2	9.1	5.4	9.3	5.0	4.6
前々回（H27）	44.0	39.0	22.0	20.1	14.5	9.3	11.0	13.7	3.1	4.4

性・年代別で見ると、[男性70歳以上]で「防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実」(26.8%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性40歳代]と[女性60歳代]で「交番への警察官の常時配置の要請」が全体よりやや高くなっています。

居住地区で見ると、[羽東]で「安全パトロールの充実」(31.4%)が全体よりやや高くなっています。

		回答者数(n)	問31 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの									
			公共の場 などへの 防犯カメラ の設置	パトロー ルカーによる 巡回の強 化の要請	交番への 警察官の 常時配置 の要請	安全パト ロールの 充実	防犯協会 と連携した 地域にお ける防犯 体制の充 実	交番の増 設の要請	町内会・自 治会を中 心にした自 主防犯活 動の充実	小・中学校 PTAなど による地域 での青年 年指導、 青少年の 犯罪防止 の充実	防犯講座 の実施な どによる市 民の防犯 意識の向 上	各種広報 媒体を活 用して各 種団体等 に情報提 供を行う ことによる 防災意識 の高揚
全 体		545	40.4	34.9	21.7	19.1	14.9	8.8	6.2	6.2	5.9	5.3
性 別	男	226	37.6	36.3	16.8	19.0	15.5	9.7	8.4	8.0	6.2	5.8
	女	293	44.7	33.4	23.9	19.8	15.7	7.5	4.8	5.5	5.5	4.4
	回答しない	16	● 25.0	○ 50.0	31.3	■ 6.3	■ 0.0	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	★ 8.3	○ 50.0	16.7	25.0	■ 0.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3
	男・30歳代	17	■ 29.4	● 17.6	11.8	11.8	5.9	17.6	11.8	5.9	11.8	11.8
	男・40歳代	27	37.0	40.7	18.5	18.5	11.1	11.1	7.4	7.4	0.0	7.4
	男・50歳代	54	38.9	44.4	14.8	11.1	11.1	9.3	5.6	5.6	9.3	7.4
	男・60歳代	44	45.5	38.6	22.7	22.7	13.6	11.4	9.1	9.1	6.8	0.0
	男・70歳以上	71	39.4	29.6	15.5	23.9	□ 26.8	5.6	9.9	8.5	2.8	5.6
	女・20歳未満	1	★ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	47.8	34.8	21.7	■ 8.7	17.4	0.0	4.3	13.0	13.0	4.3
	女・30歳代	28	○ 57.1	28.6	25.0	25.0	10.7	7.1	3.6	7.1	7.1	3.6
	女・40歳代	36	41.7	33.3	□ 33.3	19.4	16.7	2.8	0.0	5.6	0.0	0.0
	女・50歳代	57	45.6	40.4	19.3	17.5	12.3	14.0	1.8	0.0	7.0	7.0
女・60歳代	47	31.9	34.0	□ 31.9	23.4	17.0	6.4	8.5	6.4	0.0	6.4	
女・70歳以上	101	47.5	30.7	18.8	20.8	17.8	6.9	6.9	5.9	6.9	4.0	
居 住 地 区	神明台	80	43.8	36.3	18.8	21.3	13.8	3.8	2.5	8.8	5.0	6.3
	双葉町	29	44.8	31.0	31.0	20.7	20.7	10.3	3.4	10.3	6.9	6.9
	五ノ神	40	32.5	40.0	15.0	22.5	7.5	17.5	7.5	2.5	7.5	5.0
	富士見平・羽4000番台	41	31.7	34.1	19.5	22.0	14.6	14.6	0.0	12.2	7.3	2.4
	緑ヶ丘	61	31.1	39.3	27.9	16.4	18.0	13.1	9.8	3.3	4.9	1.6
	栄町	50	48.0	28.0	26.0	16.0	22.0	16.0	6.0	4.0	2.0	6.0
	小作台	55	43.6	30.9	23.6	■ 9.1	14.5	12.7	9.1	7.3	7.3	3.6
	羽西	29	44.8	○ 51.7	24.1	□ 31.0	13.8	0.0	6.9	0.0	3.4	6.9
	羽加美	45	40.0	■ 24.4	22.2	22.2	22.2	2.2	6.7	8.9	8.9	13.3
	羽中	35	42.9	28.6	20.0	■ 8.6	14.3	8.6	8.6	2.9	8.6	0.0
	羽東	35	40.0	37.1	20.0	□ 31.4	5.7	0.0	8.6	8.6	2.9	2.9
	川崎	22	□ 54.5	40.9	22.7	■ 9.1	9.1	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5
	玉川・羽600～700番台	17	● 23.5	□ 47.1	● 5.9	□ 29.4	11.8	11.8	11.8	5.9	5.9	11.8

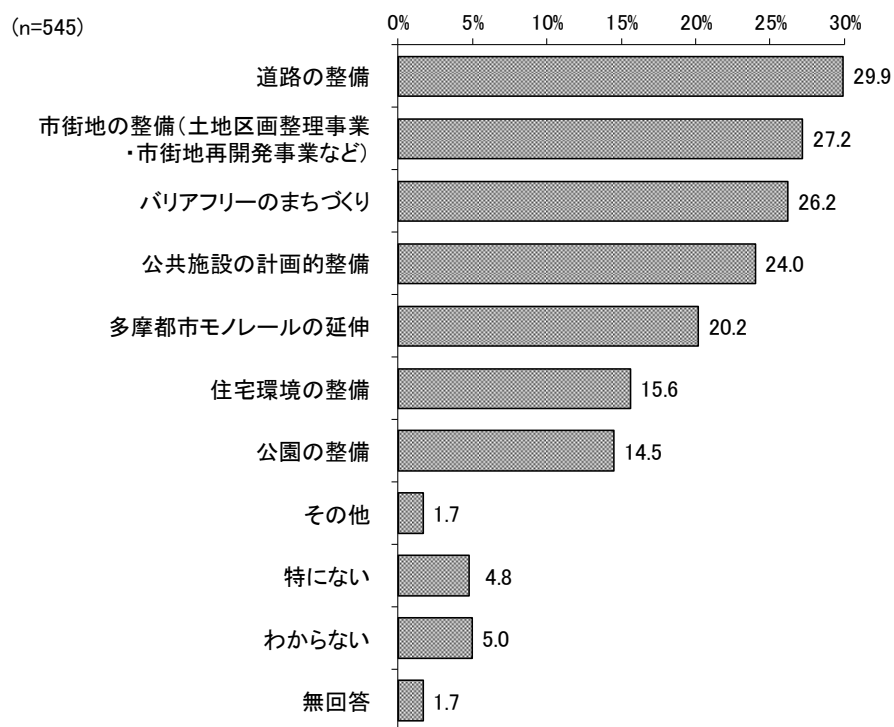
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

15 都市基盤

(1) 市の都市基盤整備に望むこと

問 32 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。次の中から選んでください。
(○は2つまで)

全体では、「道路の整備」が 29.9%と最も高く、次いで「市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）」(27.2%)、「バリアフリーのまちづくり」(26.2%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
災害に強い都市基盤	1
高齢者社会を見据えた交通網の充実	1
上下水道など基本インフラの安定的な維持	1
自転車専用道路が狭すぎるし、電信柱も通行の邪魔になっている。	1
公園・道路等樹木等が飛び出し、見通しが悪く危険性もある	1
その他	4

過去の調査と比較では、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	道路の整備	市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）	バリアフリーのまちづくり	公共施設の計画的整備	多摩都市モノレールの延伸（※）	住宅環境の整備	公園の整備	わからない	特にない
今回（R7）	29.9	27.2	26.2	24.0	20.2	15.6	14.5	5.0	4.8
前回（R2）	26.6	27.3	30.9	18.4	19.3	13.2	13.0	5.0	6.5
前々回（H27）	27.0	27.4	35.5	16.2	-	13.7	11.6	4.1	6.6

※「多摩都市モノレールの延伸」は R2から新設

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「公園の整備」(25.9%)が、[男性60歳代]で「市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)」(40.9%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性60歳代]で「バリアフリーのまちづくり」(40.4%)が全体よりやや高くなっています。

居住地区で見ると、[羽中]で「道路の整備」(57.1%)が全体よりとても高くなっています。また、[五ノ神]で「市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)」(42.5%)が全体より高くなっています。

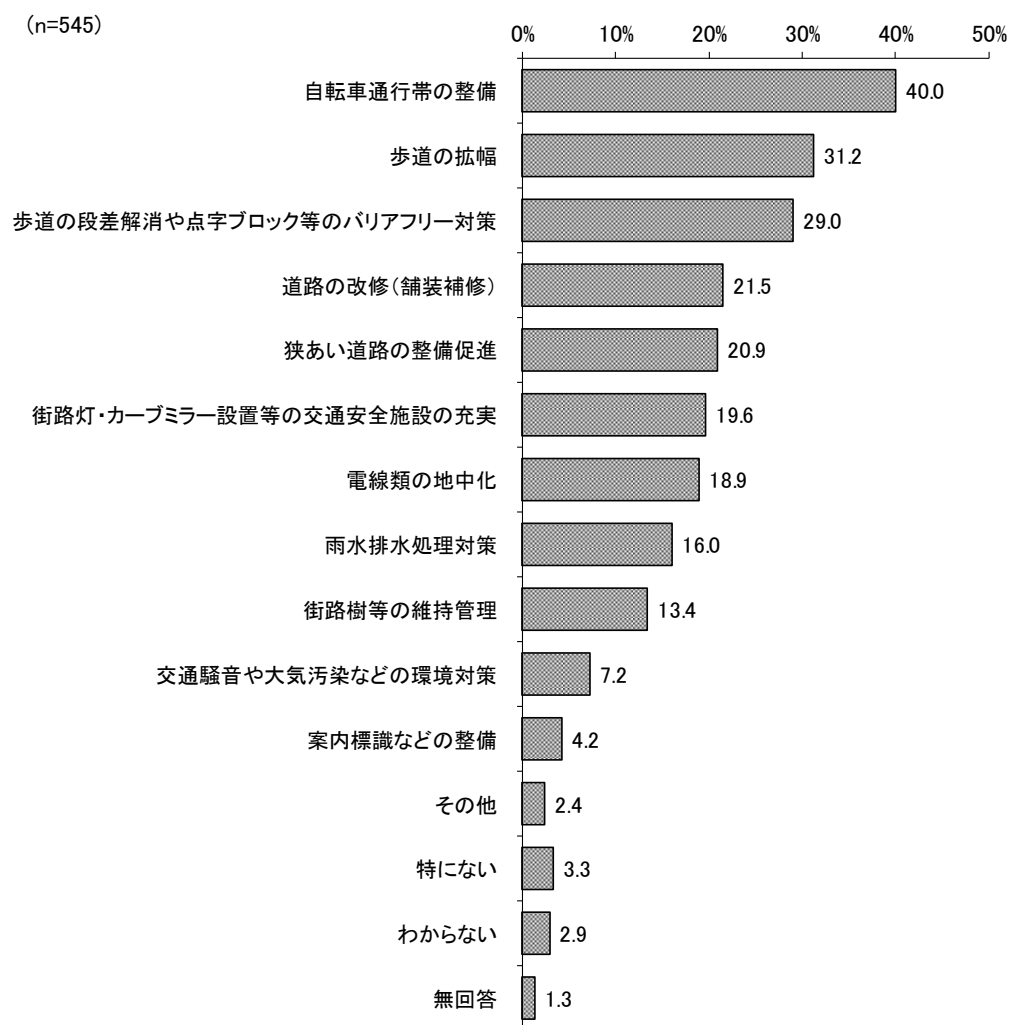
		回答者数(n)	問32 市の都市基盤整備に望むこと									
			道路の整備	市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)	バリアフリーのまちづくり	公共施設の計画的整備	多摩都市モノレールの延伸	住宅環境の整備	公園の整備	わからない	特にない	その他
全 体		545	29.9	27.2	26.2	24.0	20.2	15.6	14.5	5.0	4.8	1.7
性別	男	226	27.4	34.1	22.6	23.9	24.3	13.3	15.9	4.0	5.3	3.1
	女	293	31.7	22.2	29.4	24.6	16.4	16.7	14.0	5.1	4.4	0.7
	回答しない	16	37.5	■ 12.5	18.8	18.8	○ 37.5	☆ 37.5	6.3	6.3	6.3	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	■ 16.7	■ 16.7	● 8.3	33.3	16.7	8.3	□ 25.0	□ 16.7	□ 16.7	0.0
	男・30歳代	17	■ 17.6	□ 41.2	■ 11.8	17.6	○ 35.3	11.8	17.6	5.9	11.8	0.0
	男・40歳代	27	● 14.8	☆ 51.9	22.2	14.8	☆ 40.7	7.4	■ 3.7	3.7	0.0	7.4
	男・50歳代	54	31.5	25.9	22.2	18.5	24.1	13.0	□ 25.9	7.4	7.4	1.9
	男・60歳代	44	29.5	□ 40.9	25.0	22.7	20.5	13.6	18.2	2.3	6.8	0.0
	男・70歳以上	71	31.0	31.0	25.4	32.4	19.7	16.9	9.9	0.0	1.4	5.6
	女・20歳未満	1	★ 0.0	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	■ 17.4	26.1	21.7	21.7	26.1	13.0	17.4	4.3	8.7	0.0
	女・30歳代	28	39.3	25.0	21.4	28.6	■ 7.1	25.0	□ 25.0	3.6	3.6	0.0
	女・40歳代	36	30.6	22.2	33.3	22.2	25.0	13.9	11.1	5.6	2.8	0.0
	女・50歳代	57	29.8	29.8	28.1	22.8	15.8	19.3	10.5	3.5	1.8	1.8
	女・60歳代	47	31.9	21.3	□ 40.4	25.5	19.1	17.0	8.5	4.3	2.1	0.0
	女・70歳以上	101	34.7	■ 15.8	26.7	25.7	12.9	14.9	15.8	6.9	6.9	1.0
居住地区	神明台	80	25.0	25.0	27.5	20.0	30.0	17.5	10.0	5.0	5.0	1.3
	双葉町	29	34.5	24.1	27.6	17.2	□ 31.0	○ 31.0	6.9	0.0	3.4	0.0
	五ノ神	40	■ 17.5	○ 42.5	30.0	30.0	22.5	7.5	15.0	2.5	7.5	2.5
	富士見平・羽4000番台	41	24.4	19.5	29.3	● 7.3	24.4	19.5	14.6	9.8	9.8	0.0
	緑ヶ丘	61	31.1	21.3	32.8	29.5	19.7	13.1	19.7	4.9	3.3	0.0
	栄町	50	20.0	28.0	34.0	28.0	12.0	14.0	16.0	4.0	6.0	4.0
	小作台	55	20.0	23.6	23.6	□ 36.4	14.5	14.5	16.4	7.3	7.3	1.8
	羽西	29	37.9	34.5	■ 13.8	31.0	17.2	17.2	17.2	3.4	3.4	3.4
	羽加美	45	□ 40.0	35.6	20.0	33.3	17.8	8.9	22.2	2.2	0.0	0.0
	羽中	35	☆ 57.1	31.4	17.1	17.1	11.4	11.4	14.3	8.6	0.0	2.9
	羽東	35	28.6	28.6	28.6	14.3	17.1	17.1	■ 2.9	2.9	8.6	0.0
	川崎	22	36.4	22.7	31.8	18.2	27.3	13.6	■ 4.5	4.5	4.5	4.5
	玉川・羽600～700番台	17	□ 41.2	● 11.8	17.6	★ 0.0	17.6	□ 29.4	□ 29.4	11.8	0.0	5.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(2) 市の道路整備で優先すべきもの

問 33 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。次の中から選んでください。
(○は3つまで)

全体では、「自転車通行帯の整備」が 40.0%と最も高く、次いで「歩道の拡幅」(31.2%)、「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」(29.0%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
落ち葉がたまったり、見通しが悪くなるため、街路樹を切してほしい	4
でこぼこな道を直してほしい	3
街灯を増やしてほしい。LED化を進めてほしい	1
街路灯が消えているものが多い。	1
車イスでも安全に移動できるような道路整備	1
その他	3

上位10項目について、過去の調査と比較すると、「自転車通行帯の整備」は前々回よりやや低くなっています。「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」は前回より低く、前々回よりやや低くなっています。

	自転車通行帯の整備(※1)	歩道の拡幅	歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策	道路の改修(舗装補修)(※2)	狭あい道路の整備促進	街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実	電線類の地中化	雨水排水処理対策	街路樹等の維持管理(※3)	交通騒音や大気汚染などの環境対策
今回(R7)	40.0	31.2	29.0	21.5	20.9	19.6	18.9	16.0	13.4	7.2
前回(R2)	40.3	33.1	31.6	12.6	16.4	35.5	26.4	15.6	11.9	8.7
前々回(H27)	53.5	31.1	32.6	12.7	20.8	34.0	22.0	13.9	8.7	9.7

※1 R2、H27の選択肢は「自転車の通行スペースの確保」

※2 R2、H27の選択肢は「道路の改修(舗装)」

※3 R2、H27の選択肢は「街路樹等の緑化対策」

上位10項目について、性・年代別で見ると、[女性60歳代]で「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」(51.1%)が全体よりとても高くなっています。

居住地区で見ると、[五ノ神]で「自転車通行帯の整備」(52.5%)と「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」(30.0%)が全体よりやや高くなっています。また、[羽東]で「狭い道路の整備促進」(34.3%)が全体よりやや高くなっています。

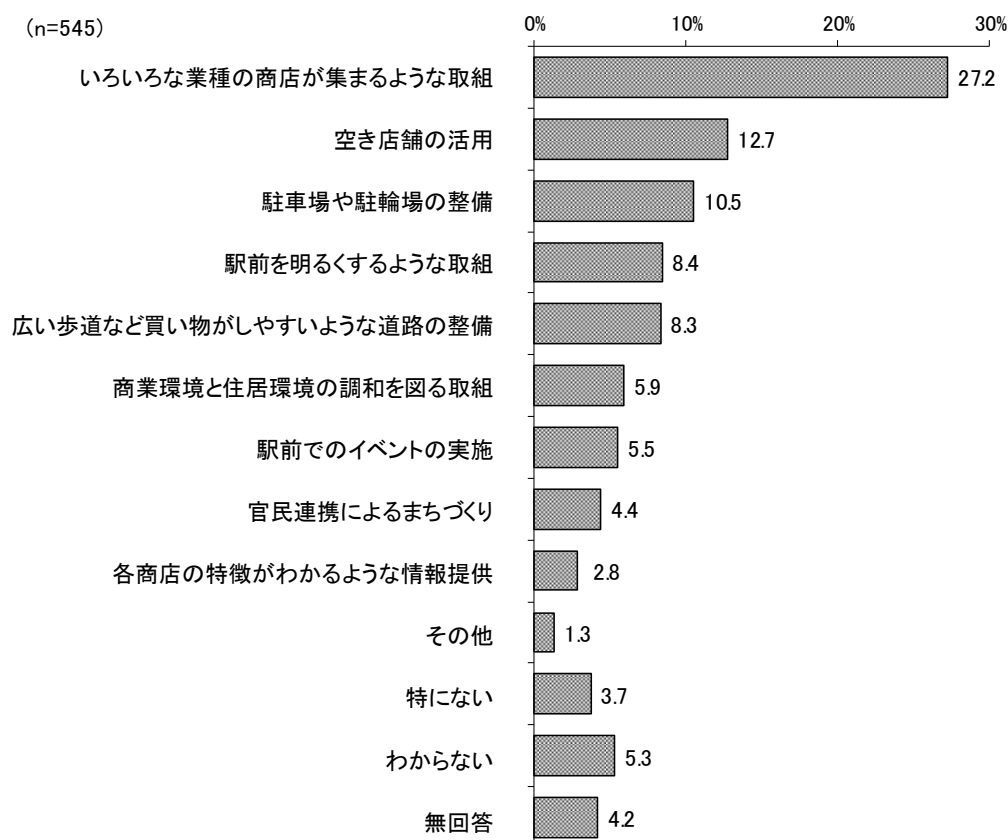
		回答者数(n)	問33 市の道路整備で優先すべきもの									
			自転車通行帯の整備	歩道の拡幅	歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策	道路の改修(舗装補修)	狭あい道路の整備促進	街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実	電線類の地中化	雨水排水処理対策	街路樹等の維持管理	交通騒音や大気汚染などの環境対策
全 体		545	40.0	31.2	29.0	21.5	20.9	19.6	18.9	16.0	13.4	7.2
性別	男	226	36.7	31.4	23.0	24.3	26.1	18.6	25.2	15.0	15.0	8.4
	女	293	41.6	30.4	34.8	19.5	17.4	20.8	14.7	16.4	12.3	5.1
	回答しない	16	□ 50.0	37.5	● 12.5	25.0	18.8	18.8	12.5	25.0	6.3	☆ 31.3
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	12	41.7	■ 16.7	★ 8.3	□ 33.3	16.7	16.7	● 0.0	16.7	8.3	0.0
	男・30歳代	17	35.3	23.5	■ 17.6	23.5	23.5	11.8	□ 29.4	11.8	5.9	○ 23.5
	男・40歳代	27	44.4	37.0	■ 14.8	□ 33.3	○ 37.0	22.2	11.1	11.1	11.1	3.7
	男・50歳代	54	38.9	29.6	20.4	■ 9.3	20.4	□ 29.6	24.1	16.7	20.4	7.4
	男・60歳代	44	34.1	27.3	25.0	29.5	29.5	13.6	○ 36.4	□ 29.5	22.7	4.5
	男・70歳以上	71	32.4	36.6	31.0	28.2	26.8	14.1	28.2	7.0	11.3	9.9
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	34.8	■ 17.4	■ 17.4	17.4	★ 0.0	17.4	■ 4.3	21.7	8.7	8.7
	女・30歳代	28	□ 50.0	□ 42.9	■ 14.3	17.9	17.9	○ 35.7	17.9	10.7	17.9	14.3
	女・40歳代	36	38.9	□ 41.7	22.2	25.0	13.9	22.2	11.1	11.1	■ 0.0	5.6
	女・50歳代	57	43.9	33.3	35.1	21.1	15.8	21.1	14.0	15.8	10.5	0.0
	女・60歳代	47	38.3	23.4	☆ 51.1	17.0	21.3	21.3	19.1	14.9	17.0	2.1
	女・70歳以上	101	41.6	27.7	□ 40.6	18.8	21.8	16.8	15.8	19.8	14.9	5.9
	居住地区	神明台	80	43.8	36.3	22.5	17.5	26.3	12.5	25.0	13.8	11.3
双葉町		29	48.3	☆ 62.1	27.6	20.7	○ 37.9	10.3	13.8	6.9	13.8	3.4
五ノ神		40	□ 52.5	30.0	30.0	25.0	12.5	□ 30.0	22.5	12.5	12.5	7.5
富士見平・羽4000番台		41	43.9	31.7	26.8	12.2	12.2	12.2	14.6	9.8	14.6	7.3
緑ヶ丘		61	■ 29.5	23.0	36.1	18.0	13.1	27.9	21.3	14.8	21.3	9.8
栄町		50	42.0	22.0	38.0	26.0	14.0	20.0	18.0	16.0	18.0	16.0
小作台		55	36.4	■ 20.0	36.4	16.4	12.7	20.0	16.4	25.5	14.5	9.1
羽西		29	○ 55.2	34.5	■ 17.2	□ 34.5	○ 37.9	27.6	13.8	13.8	■ 3.4	10.3
羽加美		45	■ 28.9	31.1	33.3	28.9	28.9	26.7	15.6	17.8	13.3	2.2
羽中		35	31.4	40.0	20.0	28.6	11.4	■ 8.6	22.9	8.6	8.6	2.9
羽東		35	31.4	22.9	25.7	22.9	□ 34.3	11.4	17.1	22.9	20.0	5.7
川崎		22	□ 54.5	31.8	27.3	27.3	18.2	○ 36.4	22.7	13.6	4.5	4.5
玉川・羽600～700番台		17	■ 29.4	○ 47.1	23.5	11.8	29.4	17.6	17.6	☆ 41.2	5.9	5.9

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(3) まちの活性化のために必要な取組

問 34 今後、活力に満ちたにぎわいのあるまちを目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な取組を次の中から選んでください。(〇は1つ)

全体では、「いろいろな業種の商店が集まるような取組」が 27.2%と最も高く、次いで「空き店舗の活用」(12.7%)、「駐車場や駐輪場の整備」(10.5%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
夏祭りのようなイベントの復活、充実化	1
美観を損なう看板（特に性的なもの）の排除	1
羽村の中で衣・食・住が出来る町、駅周辺を高層化（規制緩和等の検討・商業施設一体化）し、明るい街づくりを	1
子どもたちが模擬商店での職業体験を通じてキャリア教育も兼ねるような取組	1
その他	3

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「官民連携によるまちづくり」(18.2%)が全体よりやや高くなっています。また、[女性40歳代]で「空き店舗の活用」(25.0%)と「駅前を明るくするよ
うな取組」(19.4%)が全体よりやや高くなっています。

		回答者数(n)	問34 まちの活性化のために必要な取組									
			いろいろな業種の商店が集まるような取組	空き店舗の活用	駐車場や駐輪場の整備	駅前を明るくするような取組	広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備	商業環境と住居環境の調和を図る取組	駅前でのイベントの実施	官民連携によるまちづくり	各商店の特徴がわかるような情報提供	わからない
全 体		545	27.2	12.7	10.5	8.4	8.3	5.9	5.5	4.4	2.8	5.3
性別	男	226	31.4	10.6	9.7	5.8	7.1	8.0	5.3	7.5	1.3	5.8
	女	293	25.3	14.7	10.6	10.6	8.9	4.8	5.1	2.4	3.4	4.8
	回答しない	16	■ 12.5	12.5	12.5	6.3	□ 18.8	0.0	12.5	0.0	6.3	6.3
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	☆ 50.0	8.3	■ 0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	□ 16.7
	男・30歳代	17	□ 41.2	17.6	■ 0.0	0.0	5.9	0.0	□ 17.6	0.0	0.0	11.8
	男・40歳代	27	29.6	18.5	11.1	3.7	3.7	3.7	7.4	7.4	0.0	7.4
	男・50歳代	54	22.2	7.4	11.1	9.3	13.0	11.1	9.3	1.9	1.9	7.4
	男・60歳代	44	27.3	15.9	6.8	4.5	4.5	9.1	2.3	□ 18.2	0.0	2.3
	男・70歳以上	71	35.2	5.6	14.1	5.6	7.0	9.9	0.0	7.0	2.8	2.8
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	26.1	13.0	8.7	8.7	4.3	4.3	□ 17.4	0.0	8.7	0.0
	女・30歳代	28	21.4	21.4	14.3	3.6	3.6	□ 17.9	10.7	0.0	3.6	3.6
	女・40歳代	36	27.8	□ 25.0	2.8	□ 19.4	2.8	5.6	5.6	0.0	2.8	2.8
	女・50歳代	57	26.3	15.8	14.0	7.0	12.3	3.5	1.8	1.8	5.3	3.5
	女・60歳代	47	25.5	4.3	14.9	14.9	12.8	4.3	6.4	0.0	2.1	6.4
女・70歳以上	101	23.8	13.9	8.9	9.9	9.9	2.0	2.0	5.9	2.0	6.9	

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

16 生涯学習

(1)「学び」に関する活動の実施

問35 あなたは、この1年間で、ご自身の「学び」に関する活動を行いましたか。(○は1つ)

全体では、「はい」が51.6%、次いで「いいえ」が44.8%となっています。



過去の調査と比較すると、「はい」が50%台前半、「いいえ」が40%台前半で推移しており、いずれも大きな変化は見られません。

	はい	いいえ
今回 (R7)	51.6	44.8
前回 (R2)	53.5	42.8
前々回 (H27)	51.2	44.8

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「いいえ」(61.4%)が全体より高くなっています。また、[男性50歳代]と[女性40歳代]で「いいえ」が全体よりやや高くなっています。

		回答者数 (n)	問35 「学び」に関する活動の実施		
			はい	いいえ	無回答
全 体		545	51.6	44.8	3.7
性 別	男	226	46.5	52.7	0.9
	女	293	56.0	38.9	5.1
	回答しない	16	43.8	□ 56.3	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	男・20歳代	12	58.3	41.7	0.0
	男・30歳代	17	■ 41.2	□ 58.8	0.0
	男・40歳代	27	○ 66.7	■ 33.3	0.0
	男・50歳代	54	42.6	□ 57.4	0.0
	男・60歳代	44	● 36.4	○ 61.4	2.3
	男・70歳以上	71	46.5	52.1	1.4
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	○ 69.6	● 26.1	4.3
	女・30歳代	28	○ 67.9	■ 32.1	0.0
	女・40歳代	36	41.7	□ 58.3	0.0
	女・50歳代	57	52.6	40.4	7.0
	女・60歳代	47	55.3	36.2	8.5
	女・70歳以上	101	56.4	37.6	5.9

全体値より

☆: +20%以上高い
★: -20%以上低い

○: +15〜20%高い
●: -15〜20%低い

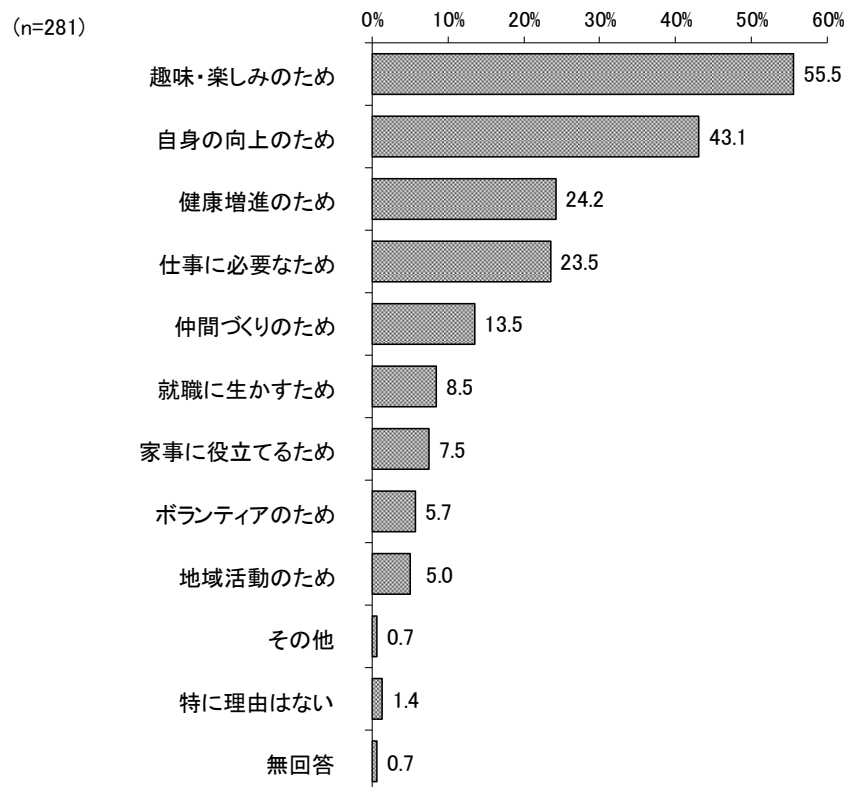
□: +10〜15%高い
■: -10〜15%低い

(2)「学び」を行う目的

※(2)は、(1)で「はい」と回答した方みの数値です。

問 35-1 あなたが「学び」を行っている目的は何ですか。(〇はいくつでも)

「学び」に関する活動を行っている目的は、「趣味・楽しみのため」が 55.5%と最も高く、次いで「自身の向上のため」(43.1%)、「健康増進のため」(24.2%)と続いています。



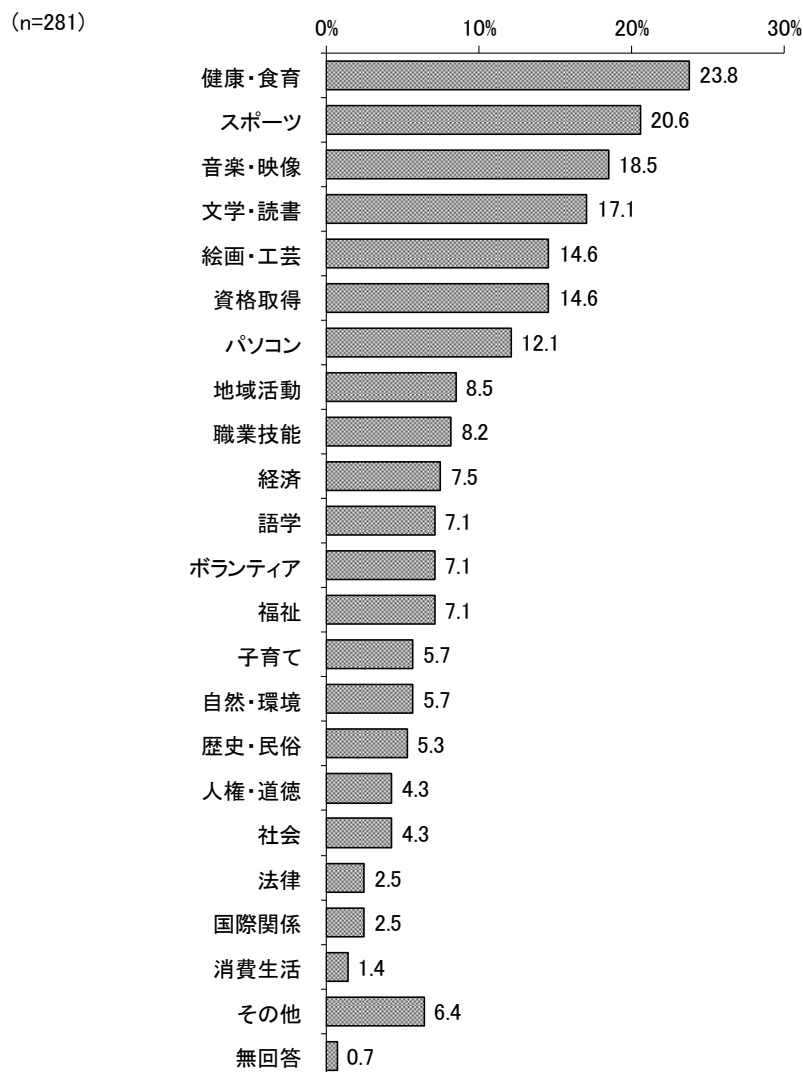
「その他」の回答内容	件数
学生なので	2

(2)-①「学び」の分野

※(2)-①は、(1)で「はい」と回答した方のみの数値です。

問 35-2 あなたが行っている「学び」は、どのような分野ですか。(〇はいくつでも)

行っている「学び」の分野は、「健康・食育」が 23.8%と最も高く、次いで「スポーツ」(20.6%)、「音楽・映像」(18.5%)と続いています。

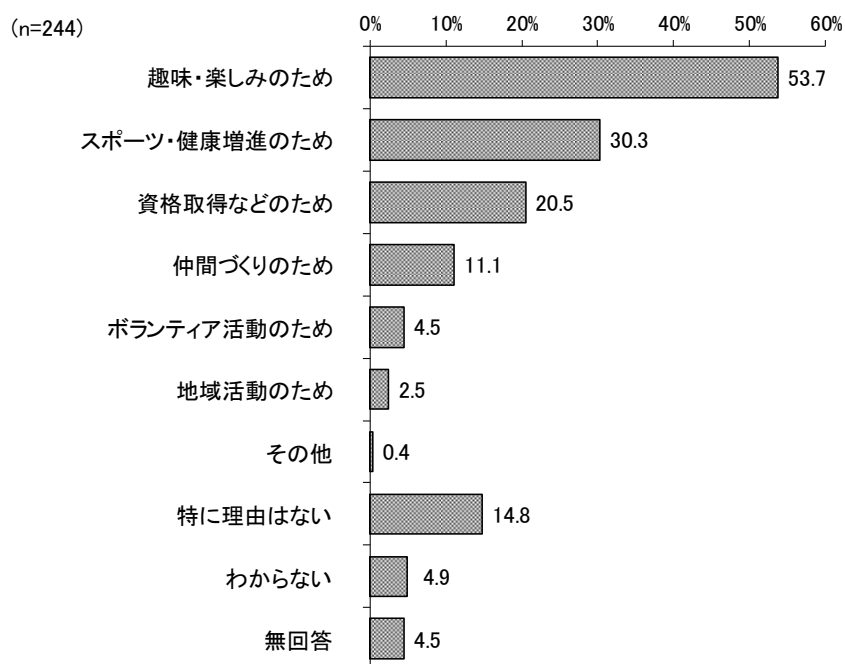


「その他」の回答内容	件数
手芸	2
芸術	2
詩吟・俳句	2
仕事に関すること	2
茶道	1
そば・うどん打ち	1
その他	8

(3) これからの「学び」に取り組むための目的 ※(3)は、(1)で「いいえ」と回答した方のみの数値です。

問 35-3 あなたが「学び」に取り組むとしたら、どのような目的で取り組んでみたいですか。
(〇はいくつでも)

「学び」に関する活動を行っていない人がこれから「学び」に取り組む場合、その目的は、「趣味・楽しみのため」が 53.7%と最も高く、次いで「スポーツ・健康増進のため」(30.3%)、「資格取得などのため」(20.5%)と続いています。

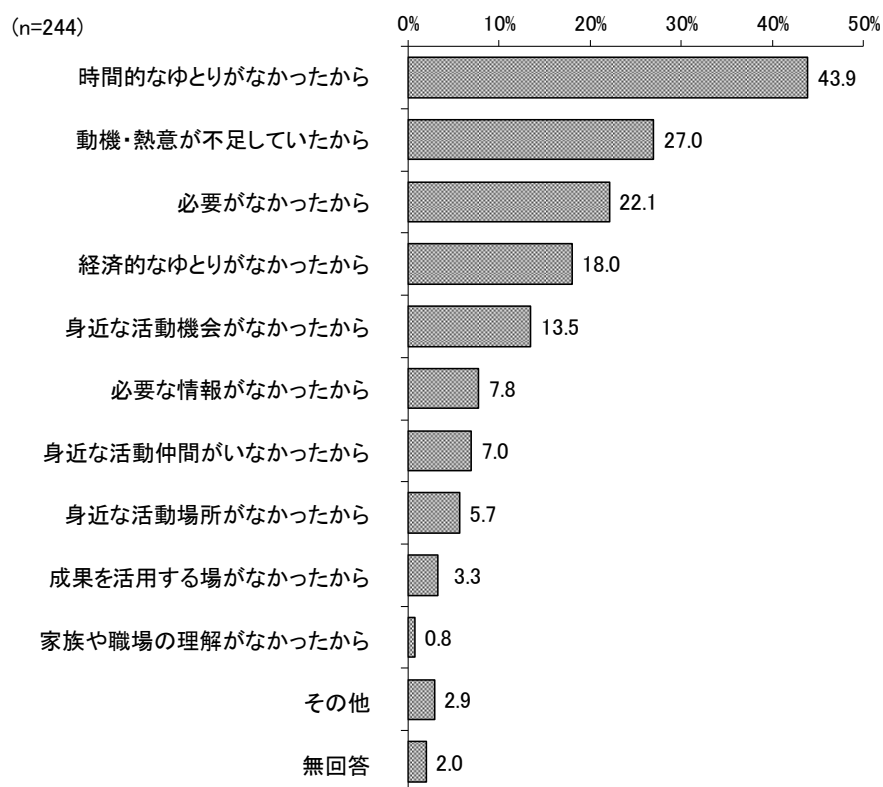


「その他」の回答内容	件数
ボケ防止	1

(3)-①「学び」に取り組まなかった理由 ※(3)-①は、(1)で「いいえ」と回答した方のみの数値です。

問 35-4 あなたが「学び」に取り組まなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「学び」に取り組まなかった理由は、「時間的なゆとりがなかったから」が43.9%と最も高く、次いで「動機・熱意が不足していたから」(27.0%)、「必要がなかったから」(22.1%)と続いています。

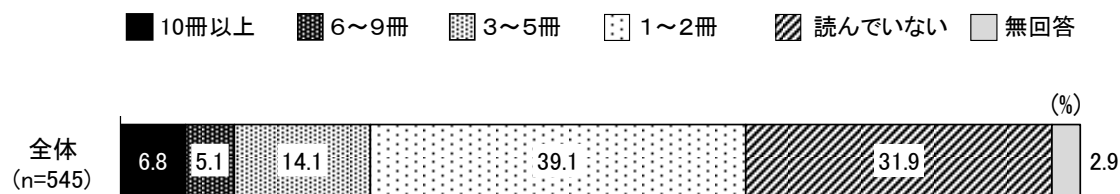


「その他」の回答内容	件数
体調がよくなかったから	4
心の余裕がなかったから	1
家族の介護のため	1
特に理由はない	1

(4) 月間の読書冊数

問 36 あなたは、この1年間において、本（一般図書・小説・専門書・雑誌など）を、1か月あたり平均して何冊ぐらい読みましたか。次の中から選んでください。（○は1つ）

全体では、「1～2冊」が39.1%と最も高く、次いで「3～5冊」（14.1%）、「10冊以上」（6.8%）と続いています。一方で、「読んでいない」との回答は31.9%となっています。



過去の調査と比較すると、「読んでいない」は前々回よりやや高くなっています。

	10冊以上	6～9冊	3～5冊	1～2冊	読んでいない
今回 (R7)	6.8	5.1	14.1	39.1	31.9
前回 (R2)	7.4	5.0	22.9	40.5	22.1
前々回 (H27)	13.3	5.6	21.4	39.0	18.3

性・年代別で見ると、[男性60歳代]で「読んでいない」（47.7%）が全体より高く、[女性60歳代]で「読んでいない」（19.1%）が全体よりやや低くなっています。

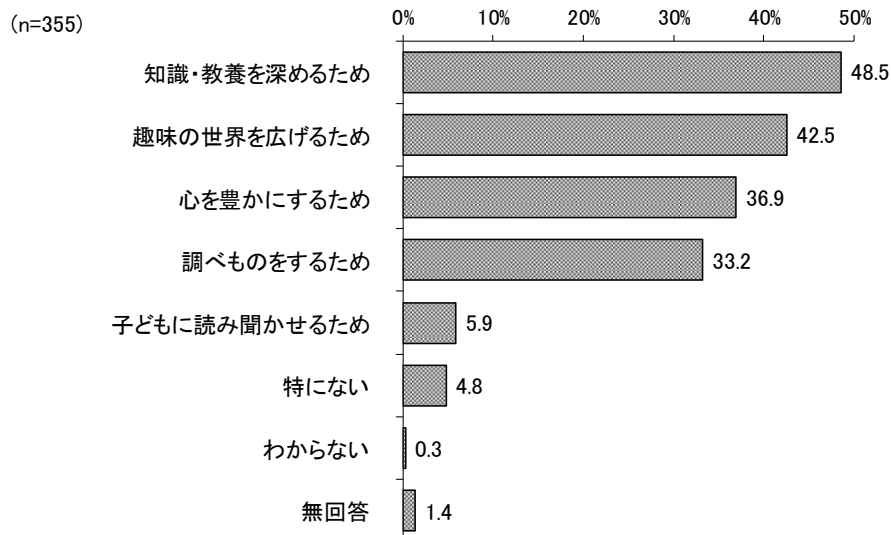
		回答者数 (n)	問36 月間の読書冊数					
			10冊以上	6～9冊	3～5冊	1～2冊	読んでいない	無回答
全 体		545	6.8	5.1	14.1	39.1	31.9	2.9
性 別	男	226	6.2	4.0	13.3	39.4	36.7	0.4
	女	293	7.2	6.1	15.0	38.9	28.7	4.1
	回答しない	16	6.3	6.3	12.5	43.8	31.3	0.0
性・年代別	男・20歳未満	1	0.0	0.0	■ 0.0	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
	男・20歳代	12	8.3	0.0	■ 0.0	○ 58.3	33.3	0.0
	男・30歳代	17	0.0	5.9	○ 29.4	● 23.5	41.2	0.0
	男・40歳代	27	0.0	7.4	11.1	48.1	33.3	0.0
	男・50歳代	54	13.0	3.7	13.0	42.6	27.8	0.0
	男・60歳代	44	2.3	4.5	11.4	34.1	○ 47.7	0.0
	男・70歳以上	71	7.0	2.8	14.1	38.0	36.6	1.4
	女・20歳未満	1	0.0	0.0	■ 0.0	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	23	0.0	0.0	17.4	34.8	□ 43.5	4.3
	女・30歳代	28	14.3	0.0	14.3	46.4	25.0	0.0
	女・40歳代	36	8.3	11.1	11.1	44.4	25.0	0.0
	女・50歳代	57	3.5	1.8	10.5	47.4	35.1	1.8
	女・60歳代	47	12.8	□ 17.0	14.9	31.9	■ 19.1	4.3
	女・70歳以上	101	5.9	5.0	18.8	33.7	28.7	7.9
全体値より			☆: +20%以上高い	○: +15～20%高い	□: +10～15%高い			
			★: -20%以上低い	●: -15～20%低い	■: -10～15%低い			

(4) - ①読書の目的

※(4)-①は、(4)で「読んでいない」以外を回答した方のみの数値です。

問 36-1 本を読む目的について、次の中からあなたの考えに一番近い項目を選んでください。
(○はいくつでも)

本を読む目的は、「知識・教育を深めるため」が48.5%と最も高く、次いで「趣味の世界を広げるため」(42.5%)、「心を豊かにするため」(36.9%)と続いています。



性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「知識・教養を深めるため」(64.1%)が全体より高くなっています。また、[男性70歳以上]で「調べ物をするため」(43.2%)が全体よりやや高くなっています。

		回答者数 (n)	問36-1 読書の目的							
			知識・教養 を深めるた め	趣味の世 界を広げる ため	心を豊かに するため	調べものを するため	子どもに読 み聞かせ るため	特にな	わからない	無回答
全 体		355	48.5	42.5	36.9	33.2	5.9	4.8	0.3	1.4
性 別	男	142	52.8	51.4	32.4	33.8	4.2	4.9	0.7	1.4
	女	197	46.2	37.1	39.1	32.0	7.1	4.6	0.0	1.5
	回答しない	11	■ 36.4	★ 18.2	36.4	36.4	9.1	9.1	0.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	8	★ 25.0	50.0	★ 0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	男・30歳代	10	☆ 80.0	■ 30.0	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0
	男・40歳代	18	☆ 88.9	○ 61.1	27.8	38.9	□ 16.7	0.0	0.0	0.0
	男・50歳代	39	○ 64.1	48.7	28.2	28.2	0.0	5.1	0.0	0.0
	男・60歳代	23	39.1	☆ 65.2	30.4	■ 21.7	4.3	4.3	0.0	0.0
	男・70歳以上	44	■ 34.1	47.7	43.2	□ 43.2	2.3	6.8	2.3	2.3
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	12	58.3	○ 58.3	■ 25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・30歳代	21	□ 61.9	33.3	38.1	28.6	☆ 33.3	4.8	0.0	0.0
	女・40歳代	27	51.9	37.0	40.7	29.6	11.1	0.0	0.0	0.0
	女・50歳代	36	52.8	33.3	44.4	27.8	2.8	5.6	0.0	0.0
	女・60歳代	36	44.4	38.9	36.1	27.8	8.3	5.6	0.0	2.8
	女・70歳以上	64	● 32.8	34.4	40.6	39.1	0.0	6.3	0.0	3.1

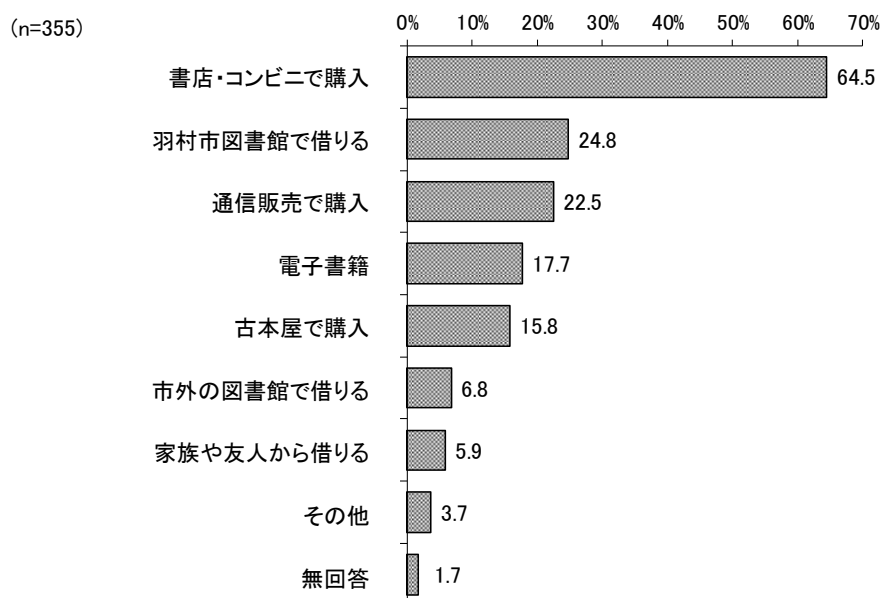
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15~20%高い □: +10~15%高い
★: -20%以上低い ●: -15~20%低い ■: -10~15%低い

(4) - ②本の入手方法

※(4)-②は、(4)で「読んでいない」以外を回答した方みの数値です。

問 36-2 あなたは、読みたい本をどのようにして入手しますか。次の中から選んでください。
(○はいくつでも)

本の入手方法は、「書店・コンビニで購入」が 64.5%と最も高く、次いで「羽村市図書館で借りる」(24.8%)、「通信販売で購入」(22.5%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
自分の持っているものを読み直す	4
職場で購入しているもの	2
定期購読、配達	1
その他	6

性・年代別で見ると、[男性50歳代]で「電子書籍」(30.8%)が全体よりやや高くなっています。

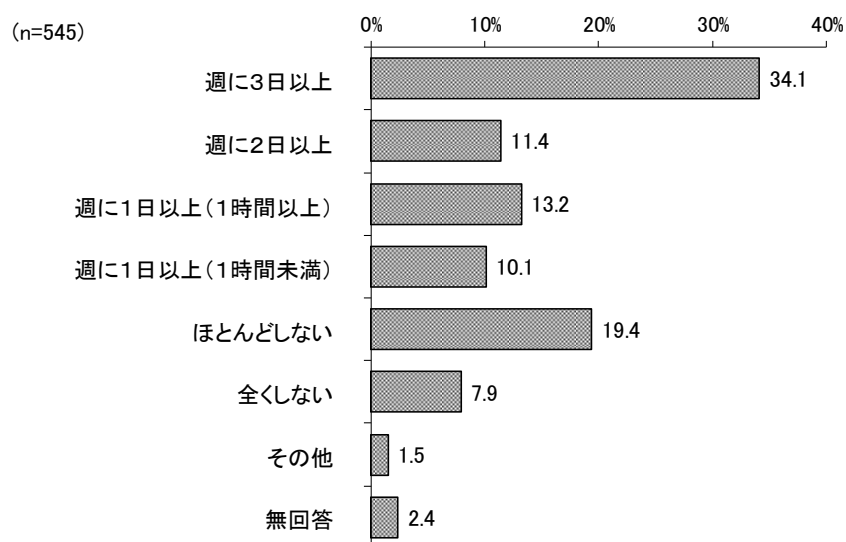
		回答者数 (n)	問36-2 本の入手方法								
			書店・コン ビニで購入	羽村市図 書館で借り る	通信販売 で購入	電子書籍	古本屋で 購入	市外の図 書館で借り る	家族や友 人から借り る	その他	無回答
全 体		355	64.5	24.8	22.5	17.7	15.8	6.8	5.9	3.7	1.7
性 別	男	142	64.8	19.7	23.9	20.4	18.3	5.6	4.9	1.4	1.4
	女	197	62.4	28.4	20.8	16.2	13.7	7.6	7.1	5.6	2.0
	回答しない	11	☆ 90.9	18.2	□ 36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	8	☆ 87.5	■ 12.5	■ 12.5	● 0.0	☆ 37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	10	70.0	■ 10.0	○ 40.0	□ 30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・40歳代	18	□ 77.8	■ 11.1	27.8	☆ 38.9	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0
	男・50歳代	39	56.4	17.9	28.2	□ 30.8	15.4	5.1	0.0	2.6	2.6
	男・60歳代	23	60.9	■ 13.0	26.1	17.4	□ 26.1	0.0	4.3	4.3	0.0
	男・70歳以上	44	63.6	31.8	15.9	■ 6.8	18.2	6.8	11.4	0.0	2.3
	女・20歳未満	1	☆ 100.0	☆ 100.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	☆ 100.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	12	□ 75.0	25.0	16.7	☆ 58.3	● 0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	女・30歳代	21	■ 52.4	23.8	○ 38.1	○ 33.3	14.3	14.3	0.0	9.5	0.0
	女・40歳代	27	63.0	25.9	25.9	22.2	14.8	3.7	3.7	7.4	0.0
	女・50歳代	36	■ 52.8	30.6	30.6	19.4	16.7	11.1	8.3	2.8	0.0
	女・60歳代	36	66.7	19.4	16.7	■ 2.8	13.9	5.6	8.3	5.6	8.3
	女・70歳以上	64	65.6	34.4	■ 10.9	■ 6.3	14.1	4.7	10.9	6.3	1.6

全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
 ★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(5) スポーツ・運動の頻度

問 37 あなたが、この1年間に行ったスポーツ・運動の頻度はどのくらいですか。次の中から選んでください。(○は1つ)

全体では、「週に3日以上」が34.1%と最も高く、次いで「ほとんどしない」(19.4%)、「週に1日以上(1時間以上)」(13.2%)、「週に2日以上」(11.4%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
月に2回	2
自転車での買い物等	2
調子の良い日に	1
その他	3

過去の調査と比較すると、「週に3日以上」が前回よりやや高く、「ほとんどしない」が前回よりやや低くなっています。

	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上(1時間以上)	週に1日以上(1時間未満)	ほとんどしない	全くしない	その他
今回 (R7)	34.1	11.4	13.2	10.1	19.4	7.9	1.5
前回 (R2)	19.5	12.3	15.2	8.9	30.1	10.6	1.7

性・年代別で見ると、[男性70歳以上]と[女性70歳以上]で「週に3日以上」が全体よりやや高くなっています。また、[女性40歳代]で「ほとんどしない」（33.3%）が全体よりやや高くなっています。

		回答者数 (n)	問37 年間のスポーツ・運動日数							
			週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上 (1時間以上)	週に1日以上 (1時間未満)	ほとんど しない	全くしない	その他	無回答
全 体		545	34.1	11.4	13.2	10.1	19.4	7.9	1.5	2.4
性 別	男	226	32.7	11.5	16.4	8.4	20.4	9.3	1.3	0.0
	女	293	35.8	11.9	11.6	11.9	18.8	6.1	1.7	2.0
	回答しない	16	31.3	■ 0.0	6.3	6.3	□ 31.3	○ 25.0	0.0	0.0
性・ 年 代 別	男・20歳未満	1	★ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	■ 0.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	12	33.3	8.3	☆ 33.3	8.3	■ 8.3	8.3	0.0	0.0
	男・30歳代	17	● 17.6	■ 0.0	11.8	□ 23.5	○ 35.3	11.8	0.0	0.0
	男・40歳代	27	33.3	11.1	11.1	7.4	□ 29.6	7.4	0.0	0.0
	男・50歳代	54	■ 20.4	13.0	20.4	13.0	25.9	7.4	0.0	0.0
	男・60歳代	44	34.1	13.6	15.9	2.3	20.5	9.1	4.5	0.0
	男・70歳以上	71	□ 45.1	12.7	12.7	5.6	11.3	11.3	1.4	0.0
	女・20歳未満	1	★ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 100.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	23	26.1	4.3	8.7	○ 26.1	26.1	4.3	0.0	4.3
	女・30歳代	28	25.0	7.1	14.3	□ 25.0	25.0	3.6	0.0	0.0
	女・40歳代	36	★ 13.9	11.1	13.9	13.9	□ 33.3	11.1	2.8	0.0
	女・50歳代	57	35.1	10.5	14.0	8.8	21.1	8.8	1.8	0.0
	女・60歳代	47	38.3	14.9	8.5	10.6	10.6	6.4	6.4	4.3
	女・70歳以上	101	□ 48.5	14.9	10.9	5.9	12.9	4.0	0.0	3.0

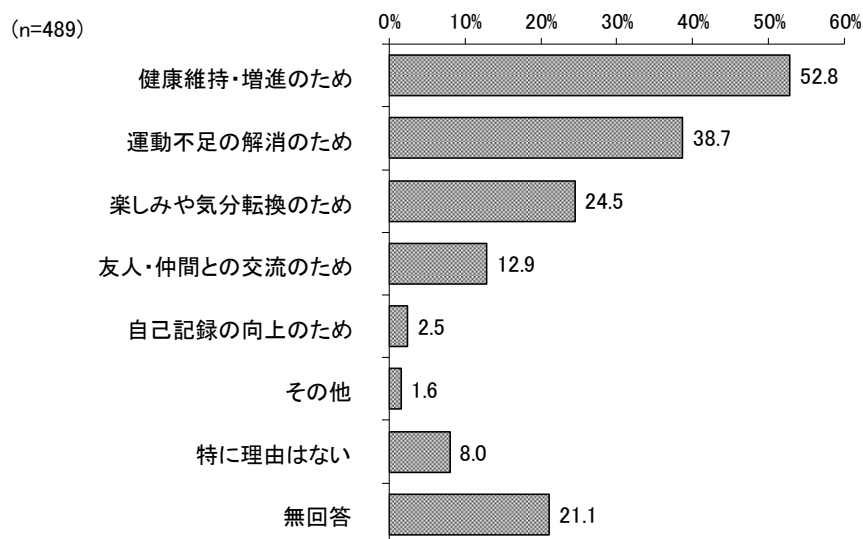
全体値より ☆: +20%以上高い ○: +15～20%高い □: +10～15%高い
★: -20%以上低い ●: -15～20%低い ■: -10～15%低い

(5)-①スポーツ・運動を行う理由

※(5)-①は、(5)で「全くしない」以外を回答した方のみの数値です。

問 37-1 あなたがスポーツや運動を行った理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

スポーツ・運動を行う理由は、「健康維持・増進のため」が 52.8%と最も高く、次いで「運動不足の解消のため」(38.7%)、「楽しみや気分転換のため」(24.5%)と続いています。

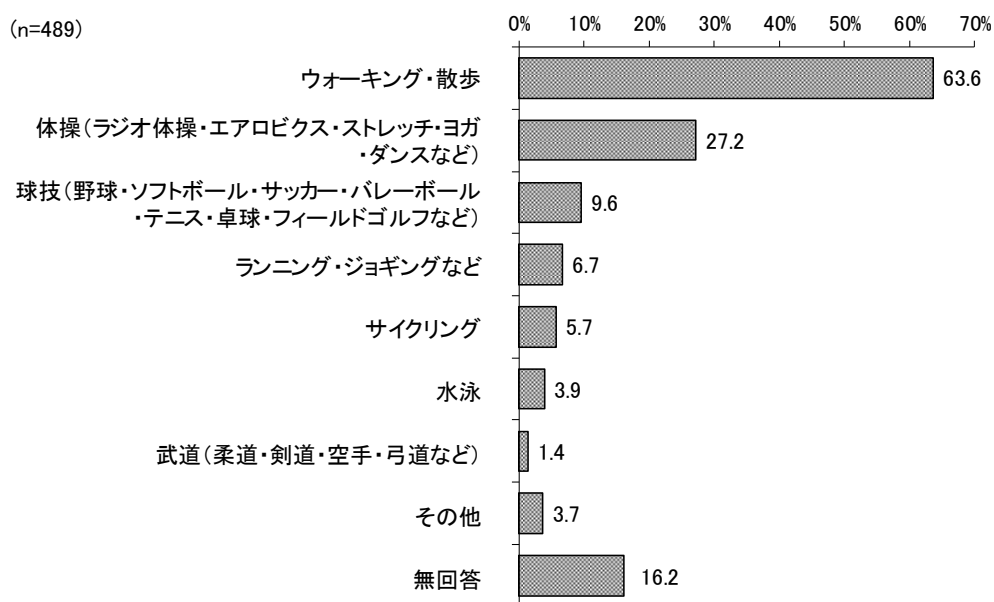


「その他」の回答内容	件数
病院や買い物に行くため	3
リハビリ施設に通っている	2
犬の散歩	1
その他	2

(5)-②この1年間に行ったスポーツ・運動の種目 ※(5)-②は、(5)で「全くしない」以外を回答した方のみの数値です。

問 37-2 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の種目について、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

行ったスポーツ・運動の種目は、「ウォーキング・散歩」が63.6%と最も高く、次いで「体操（ラジオ体操・エアロビクス・ストレッチ・ヨガ・ダンスなど）」(27.2%)、「球技（野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・テニス・卓球・フィールドゴルフなど）」(9.6%)と続いています。



「その他」の回答内容	件数
筋力トレーニング	10
ゴルフ・ゴルフスイング	3
自転車で移動	2
徒歩で買い物	1
その他	2

Ⅲ 調査票

令和7年度 羽村市 市政世論調査 ご協力をお願い

日ごろから、市政運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

このたび羽村市では、市民の皆様のご意見をお聞きし、市の施策に反映させるため、市政世論調査を実施することといたしました。

ご多忙のところ、ご面倒をおかけしますが、今後の市政運営に必要である大事な調査ですので、ぜひ、ご協力をお願いします。

なお、この調査は、市内にお住いの満18歳以上の方から無作為に1,200人を選ばせていただきました（令和7年6月1日基準日）。

また、この調査集計結果は、市公式サイト等で公表させていただきますが、調査は無記名とし、ご回答いただきました内容は、調査目的以外に利用することはありません。

このため、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、ご安心のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年6月

羽村市長

橋本弘山

【調査票記入上のご注意】

- ・封筒の宛名にあるご本人様がお答えください。ご本人様の記入が困難な場合は身近な方がご本人様の意見を聞きながら代筆していただいても結構です。
- ・ありのままのお考え、状況をお答えください。
- ・鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。
- ・回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ・調査票および封筒には住所・氏名をお書きにならなくて結構です。
- ・ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、回答期限までにお近くのポストへご投函ください。



【インターネット回答について】

- ・この紙の調査票に代えて、インターネットで回答することもできます。インターネットで回答する場合は、別紙「インターネットでの回答方法」をご覧ください。

インターネット回答に
必要な回答番号

※個人を特定する番号では
ありませんので、ご安心
ください。



回答ページURL： <https://logoform.jp/form/QHAW/1082693>

回答期限：令和7年7月18日（金）

【お問い合わせ先】 羽村市 企画部 秘書広報課 市民相談係

電話：042-555-1111（内線540・541）

封入の際は、
線に沿って三つ折りにしてください。

(1) 定住性と住みよさ

問1 あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。

(○は1つ)

- 1. とても住みよい
- 2. まあ住みよい
- 3. 普通
- 4. あまり住みよいとは思わない
- 5. 非常に住みにくい

問2へ

【問1で「1」「2」と回答した方に伺います。】

問1-1 羽村市を住みよいと思う主な理由は何ですか。

(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 自然環境がよい | 7. 子育てする環境がよい |
| 2. 交通の便がよい | 8. 医療体制やサービスが充実している |
| 3. 都市環境がよい | 9. その他 |
| 4. 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている | 具体的に： |
| 5. 住んでいる人の人情や気風がよい | |
| 6. 買い物が便利 | |

【問1で「4」「5」と回答した方に伺います。】

問1-2 羽村市を住みよいと思わない主な理由は何ですか。

(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 1. 自然環境がよくない | 7. 子育てする環境がよくない |
| 2. 交通の便がよくない | 8. 医療体制やサービスが充実していない |
| 3. 都市環境がよくない | 9. その他 |
| 4. 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が不十分 | 具体的に： |
| 5. 住んでいる人の人情や気風がよくない | |
| 6. 買い物が不便 | |

【全ての方に伺います。】

問2 あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いませんか。

(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 3. できれば他の市区町村に転出したい |
| 2. 当分の間住みたい | 4. 他の市区町村に転出する |

問2-1 問2で回答した、その主な理由は何ですか。

(記述)

(2) 市の取組に対する満足度

問3 羽村市が取り組んでいる以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを1～4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	満足度				重要度			
	満足である	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満である	重要である	どちらかと言えば重要でない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
○は満足度、重要度にそれぞれ1つずつ								
① 小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
② 高齢の方がいきいきと安心して暮らせるための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
③ 障害のある方が地域の中で安心して暮らせるための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
④ 安心して子どもを産み、育てられる子育て支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤ 生活保護世帯などへの経済給付や自立に向けた支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
⑥ 介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑦ 健全な国民健康保険制度運営のための保険税率の適正化や収納率向上など	1	2	3	4	1	2	3	4
⑧ 後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
⑨ 国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
⑩ 市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくりの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
⑪ 医療体制や福生病院の充実に向けた支援	1	2	3	4	1	2	3	4
⑫ 家庭教育・幼児教育の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑬ 小・中学校での教育活動や学習環境	1	2	3	4	1	2	3	4
⑭ 青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
⑮ 生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）	1	2	3	4	1	2	3	4
⑯ 生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑰ 文化・芸術に関する取組	1	2	3	4	1	2	3	4
⑱ スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	1	2	3	4
⑲ 羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
⑳ 水や緑などの自然環境の保全	1	2	3	4	1	2	3	4
㉑ ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築	1	2	3	4	1	2	3	4
㉒ 地球温暖化の防止、公害防止、愛護動物対策などの都市環境の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
㉓ 災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
㉔ 交通安全対策	1	2	3	4	1	2	3	4
㉕ 防犯体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4

	満足度				重要度			
	満足である	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	不満である	重要である	どちらかと言えば重要	どちらかと言えば重要でない	重要でない
○は満足度、重要度にそれぞれ1つずつ								
②⑥ 横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保	1	2	3	4	1	2	3	4
②⑦ 個性的で魅力あふれる都市景観	1	2	3	4	1	2	3	4
②⑧ 地域特性にあった土地利用	1	2	3	4	1	2	3	4
②⑨ 区画整理やバリアフリーのまちづくりなどの市街地整備	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑩ 道路の整備状況	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑪ 広域交通（ＪＲなど）や市内の交通網（コミュニティバスはむらんなど）の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑫ 市内の公園	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑬ 羽村市独自（市単独）の水道事業	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑭ 雨水管渠整備など、公共下水道の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑮ 市営住宅の維持管理や良好な住環境を作るための取組	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑯ 工業の振興策	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑰ 商業の活性化や魅力ある商業環境づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑱ 農業の振興と農地の保全	1	2	3	4	1	2	3	4
③⑲ 観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑩ 消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活向上の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑪ 雇用機会の創出	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑫ 市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑬ わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑭ 市の行事や観光情報、事業者・農業者などの活動のＰＲなど、市の魅力発信	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑮ 町内会・自治会、市民団体、ＮＰＯ法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑯ 男女共同参画、人権の尊重、平和思想の主旨普及など共生社会を推進していく取組	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑰ 国際感覚をもった人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑱ 電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	1	2	3	4	1	2	3	4
④⑲ 窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤⑩ マイナンバーカード等を活用したオンラインによる行政手続きやサービスの充実	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤⑪ 長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	1	2	3	4	1	2	3	4
⑤⑫ 羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応	1	2	3	4	1	2	3	4

(3) 羽村市の魅力・羽村らしさ

問4 羽村市に関するキーワードの中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。
次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 羽村の堰	13. チューリップ畑
2. 玉川上水	14. はむら市民と産業のまつり
3. 多摩川	15. 文化祭
4. ヒノトントン Z00 (動物公園)	16. 市民スポーツ祭
5. プリモホールゆとろぎ (生涯学習センターゆとろぎ)	17. どんどこ焼き
6. S&D スポーツアリーナ羽村 (スポーツセンター)	18. テレビはむら
7. S&D スイミングプラザ羽村 (スイミングセンター)	19. 地下水 100%の水道水
8. プリモライブラリーはむら (図書館)	20. コミュニティバスはむらん
9. 郷土博物館	21. 東京で子育てしやすいまち
10. 羽村駅前の商店街	22. 羽村市公式キャラクター「はむりん」
11. マミーショッピングセンター	23. 特にない
12. はむら花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)	24. わからない
	25. その他 (具体的に:)

問5 将来の羽村市はどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から選んでください。
(○は2つまで)

1. 災害につよいまち
2. 防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち
3. 安心して子育てができるまち
4. 高齢の方や障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせるまち
5. 地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れた人と生物にやさしいまち
6. 自然と都市が調和した美しい景観のまち
7. 公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち
8. 商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち
9. 文化活動やスポーツ活動が盛んなまち
10. 地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち
11. ICT (※) の活用により地域課題の解決や地域の魅力向上にチャレンジするまち
12. 駅前に活気のあるまち
13. 今のままでよい
14. わからない
15. その他 (具体的に:)

(※) ICT:「Information and Communication Technology (情報通信技術)」の略で、パソコンやスマートフォン、タブレット、ロボットなどを使って、情報を伝達し、社会生活の様々な分野で活用すること。

(4) 暮らしへの満足度・幸福度について

問6 現在、あなたはどの程度幸せですか。

「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

いずれかの数字を1つだけお答えください。(○は1つ)

とても 不幸											とても 幸せ
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

問7 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

いずれかの数字を1つだけお答えください。(○は1つ)

とても 不満足											とても 満足
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

(5) 市政への関心度

問8 あなたは市政にどの程度関心をもっていますか。次の中から選んでください。(○は1つ)

1. 大いに関心がある	3. どちらともいえない	5. 全く関心がない
2. やや関心がある	4. あまり関心がない	

問9 市の取組みの中で今後、あなたが市に特に力を入れてほしいと思う取組み、新たに実施してもらいたい取組みはどんなことですか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 高齢者福祉	21. 区画整理等による市街地の整備
2. 障害者(児)福祉	22. 道路の整備
3. 生活保護世帯等の福祉対策	23. 公園の整備
4. 少子化対策	24. 上・下水道の整備
5. 子育て支援対策	25. 中心市街地の活性化
6. 健康診査などの保健衛生対策	26. 住宅対策
7. 医療機関の充実に向けた支援	27. 公共アクセスの充実
8. 学校教育の充実	28. 産業の活性化
9. 児童青少年の健全育成	29. 物価・消費者対策
10. スポーツ・レクリエーションの振興	30. コミュニティ活動の推進
11. 生涯学習の推進	31. 男女共同参画などの推進
12. 文化・芸術の振興	32. 情報化の推進
13. 公害や愛護動物の適正飼育など地域環境対策	33. ICT(※)の活用
14. 水や緑を守る自然環境対策	34. 移住・定住の促進
15. 次世代エネルギーを活用した持続的な発展を可能とするまちづくり	35. まちの魅力等の発信
16. ごみの減量・リサイクルの推進	36. 公共施設の適切な維持管理
17. 防災対策	37. 特にない
18. 交通安全対策	38. わからない
19. 防犯対策	39. その他
20. テロ対策	〔具体的に：〕

(※) ICT：前ページの注釈を御参照ください。

問 10 市では、「市政への市民参画・市民との協働」を進めていますが、あなたは、どのような形で市政に参加・協働したいと思いますか。次の中から選んでください。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1. 市長への手紙などの制度 | 10. 各種イベントにおけるアンケート調査・ワークショップへの参加 |
| 2. 市長との懇談会 | 11. 参加をためらっている |
| 3. まちづくりフォーラムなどの対話集会 | 12. 参加したくない |
| 4. 公聴会 | 13. わからない |
| 5. 事業実施のための実行委員会 | 14. その他 |
| 6. 公募による審議会などの委員 | （具体的に： |
| 7. 出前講座などへの参加 | ） |
| 8. 公園ボランティア等の公共施設管理など | |
| 9. 市民生活安全パトロールなどのボランティア | |

問 11 あなたは、市政に関する情報をどのような手段で得ることが多いですか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 広報はむら | 7. 市公式 Facebook、Instagram |
| 2. テレビはむら（YouTube 含む） | 8. チラシ、ポスターなど |
| 3. 市公式サイト | 9. 町内会・自治会の回覧 |
| 4. メール配信サービス | 10. 新聞、テレビなどのマスメディア |
| 5. 市公式 LINE | 11. その他 |
| 6. 市公式 X（旧 Twitter） | （具体的に： |
| | ） |

（6）市民活動

問12 あなたは、次のような市民活動に参加していますか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 町内会・自治会組織に参加 | → 問 13 へ |
| 2. 地域の団体（PTA、地区委員会など）に参加 | |
| 3. ボランティア活動や地域福祉活動をする団体に参加 | |
| 4. 文化、学習、芸術活動をする団体に参加 | |
| 5. スポーツ活動をする団体に参加 | |
| 6. 個人として、ボランティア等の活動に参加 | |
| 7. 参加はしていない | → 問 12-1 に回答後、問 12-2 へ |

【問 12 で「1. 町内会・自治会組織に参加」以外を回答した方に伺います。】

問 12-1 町内会・自治会組織に参加していない理由を次の中から選んでください。（○は2つまで）

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 隣近所のつきあいがわずらわしい | |
| 2. 役員などになりたくない | |
| 3. 会費の支払が負担である | |
| 4. 加入してもメリットが感じられない | |
| 5. 仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間がない | |
| 6. どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない | |
| 7. 加入の仕方がわからない | |
| 8. その他 | （具体的に： |
| | ） |

【問 12 で「7. 参加はしていない」と回答した方に伺います。】

問 12-2 市民活動に参加していない理由を次の中から選んでください。（○は2つまで）

1. 活動に関する情報がない 情報が得られない
2. 忙しくて時間がとれない
3. 家族など周囲から、参加の理解が得られない
4. 健康に自信がない 続けられるかが不安
5. 人間関係がわずらわしい
6. 活動自体に興味関心がない
7. その他

〔具体的に：

（7）男女共同参画

【全ての方に伺います。】

問 13 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選び、○をつけてください。

○はア～クにそれぞれ1つずつ	男性の方が優遇 されている	男性の方が優遇 されている	どちらかと言えば 男性の方が優遇 されている	平等になっている	どちらかと言えば 女性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	わからない
ア 家庭生活の中で	1	2	3	4	5	6	
イ 職場の中で	1	2	3	4	5	6	
ウ 社会通念や慣習で	1	2	3	4	5	6	
エ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6	
オ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6	
カ 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6	
キ 政治の場で	1	2	3	4	5	6	
ク 全体として	1	2	3	4	5	6	

問 14 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。
次の中から選んでください。 (○は2つまで)

1. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
2. 広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする
3. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談の機能を充実する
4. 学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する
5. 保育の施設やサービスを充実する
6. 高齢者介護の施設やサービスを充実する
7. 職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する
8. 女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する
9. 子育て相談など男性の子育て参画を支援する
10. リーダー養成講座などで女性の市民活動への参画を支援する
11. 性的少数者の方々が生活しやすくなるための施策の充実
12. 困難な問題を抱える女性への支援の充実
13. 特にない
14. わからない
15. その他 { 具体的に： }

問 15 女性が職業を持ち続けるために必要なことについて、次の中から選んでください。
(○は2つまで)

- | | |
|--------------------|--|
| 1. 家族の協力 | 7. 介護保険制度の充実 |
| 2. 働きやすい職場環境づくり | 8. 地域の協力 |
| 3. 妊娠出産育児休業制度の利用促進 | 9. その他 { 具体的に： } |
| 4. 再就職や創業支援 | |
| 5. 保育施設の充実 | |
| 6. 子育て支援制度の充実 | |

問 16 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。 (○は1つ)
(※「配偶者」には、パートナーを含みます。)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 17 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。次の中から選んでください。(○は2つまで)

1. 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う 2. 学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う 3. 地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う 4. メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う 5. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす 6. 加害者への罰則を強化する 7. 暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、コンピューターソフトなど）を取り締まる 8. 特にない 9. わからない 10. その他	具体的に：
--	-------

問 18 あなたの家庭では、次のことを主にどなたが行っていますか。

○はア～オにそれぞれ1つずつ (※「配偶者」には、パートナーを含みます。)	主に自分	自分と配偶者が 同じくらい	主に配偶者	主に配偶者以外 の家族	家族以外の人に 依頼	あてはまらない
ア 炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6
イ 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
ウ 親や家族の介護	1	2	3	4	5	6
エ 町内会・自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6
オ 子どもの学校・保育園等の行事への参加	1	2	3	4	5	6

問 19 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす 2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす 3. 夫婦や家族間でコミュニケーションを積極的に行う 4. 年配者や周りの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考えを尊重する 5. 社会の中で、男性が家事などに参加することに対する評価を高める 6. 講習会や研修等を行い、男性の家事、育児、介護の技術を高める 7. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める 8. 男性が家事などに関心を高めるよう啓発や情報提供を行う 9. 男性が子育て、介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進める 10. 特にない 11. わからない 12. その他	具体的に：
---	-------

問 20 あなたは、次にあげる言葉を知っていますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

○はア～クにそれぞれ1つずつ	意味や内容を 知っている	聞いたことは あるが意味や 内容は知らない	はじめて聞いた
ア SOGI	1	2	3
イ LGBTQ	1	2	3
ウ セクシュアル・マイノリティ（性的マイノリティ）	1	2	3
エ パートナーシップ宣誓制度	1	2	3
オ アウティング	1	2	3
カ ALLY（アライ）	1	2	3
キ アンコンシャス・バイアス	1	2	3
ク マイクロアグレッション	1	2	3

（８）行財政改革

問 21 市は、どのような考え方で行財政改革を進めたらよいと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から選んでください。（○は2つまで）

- 限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である - 市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である - 休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである - 事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである - ICT（※）の活用、情報化にもっと力を入れるべきである - 近隣自治体との広域行政を進めるべきである - 公共施設等の廃止・統合（多機能化・集約化）などを行うべきである - 民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組みを行うべきである - 特にない - わからない - その他 { 具体的に： }
--

（※）ICT：「Information and Communication Technology（情報通信技術）」の略で、パソコンやスマートフォン、タブレット、ロボットなどを使って、情報を伝達し、社会生活の様々な分野で活用すること。

問 22 羽村市の水道事業は、昭和 36 年に通水を開始して以来、安全でおいしい水道水の供給に努めています。

あなたは、羽村市の水道事業が市独自の事業であり、市内の井戸から汲み上げた地下水 100%の水道水であることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

問 23 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。

(○は1つ)

1. おいしい

4. おいしくない

2. どちらかと言えばおいしい

5. わからない(飲まない)

3. どちらかと言えばおいしくない

(10) 環境

問 24 市は、環境への取組みとして何に重点をおくべきと思いますか。次の中から選んでください。

(○は3つまで)

1. 樹木や緑地を守り育てる取組み

2. 多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組み

3. 昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取組み

4. 雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取組み

5. 大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取組み

6. 犬、猫の適正飼育、都市景観などの生活環境を向上する取組み

7. 温室効果ガスの抑制や温暖化への適応など地球温暖化を防止する取組み

8. 省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策

9. 先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取組み

10. 環境に関する情報発信を通じて、市民の環境意識を高める取組み

11. 次世代の環境活動を担う人材を育成する取組み

12. ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組み

13. 特にない

14. わからない

問 25 エコマーク付き商品など、できるだけ環境負荷の少ない製品を優先的に購入する「グリーン購入」制度について、あなたは知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている

2. 知らない

問 26 へ

【問 25 で「1. 知っている」と回答した方に伺います。】

問 25-1 あなたは「グリーン購入」の製品を購入していますか。

(○は1つ)

1. よく購入している

3. 購入したことがない

2. 購入したことがある

4. わからない

(11) 高齢者福祉

【全ての方に伺います。】

問 26 高齢社会では介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力を入れてほしい取組みを、次の中から選んでください。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1. 高齢の方の生きがいづくりにつながる取組みの充実 | 7. 成年後見制度等の取組みの充実 |
| 2. 高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実 | 8. 高齢の方が外出しやすくするための交通手段の充実 |
| 3. 認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実 | 9. 特にない |
| 4. ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実 | 10. わからない |
| 5. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実 | 11. その他 |
| 6. 高齢の方が外出しやすいバリアフリーの推進 | （具体的に： _____） |

問 27 あなたは老後をどのように暮らしていきたいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。（○は2つまで）

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 1. 自分に適した仕事を持ちたい | 6. あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい |
| 2. 趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい | 7. わからない |
| 3. 高齢者クラブや地域のサークル活動に参加したい | 8. その他 |
| 4. 日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい | （具体的に： _____） |
| 5. 自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい | |

(12) 障害者（児）福祉

問 28 市として、今後どのような障害者（児）福祉に関する取組が必要だと思いますか。次の中から選んでください。（○は2つまで）

- | |
|------------------------------------|
| 1. 障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実 |
| 2. 障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実 |
| 3. 福祉手当や各種助成金など経済給付の充実 |
| 4. 障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実 |
| 5. グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実 |
| 6. 福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実 |
| 7. ホームヘルパーの派遣や通所サービス等の日中生活の支援 |
| 8. 障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実 |
| 9. 障害児のための通所サービス等の充実 |
| 10. 成年後見制度等の取組みの充実 |
| 11. 特にない |
| 12. わからない |
| 13. その他 |
| （具体的に： _____） |

(13) 子育て支援

問 29 市では、東京で子育てしやすいまちとして、シティプロモーションを実施しながら、子育て支援の充実に取り組んでいます。今後、市に力を入れてほしい取組みまたは、充実が必要である取組みを、次の中から選んでください。(○は2つまで)

1. 妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援
2. 子育てに関する情報提供
3. 親同士の交流の場の充実（子育てサークルの活動支援）
4. 子育ての経済的負担の軽減
5. 保育サービスの充実（質の向上、ショートステイ事業の拡充等）
6. 放課後児童対策の取組み（学童クラブ、放課後子ども教室等）
7. 青少年の育成に関する取組み
8. 特色ある学校教育
9. 安全・安心な遊び場の整備や子どもの居場所づくり（児童館、公園等）
10. 安全対策の充実（交通・防犯）
11. 配慮が必要な子ども・若者と子育て家庭への支援の充実
12. 特にない
13. わからない
14. その他 { 具体的に： }

(14) 防災・防犯対策

問 30 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 防災訓練の充実・徹底
2. 自主防災組織の拡充・充実
3. 防災に関する知識や情報の提供の充実
4. 食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実
5. 消防水利の整備
6. 公共施設の耐震化の推進（公共の建築物、上下水道設備等）
7. 子どもや高齢の方、障害のある方などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実
8. 避難場所や避難道路などの標識・案内の整備
9. 被災者の視点に立った対策の推進・充実（女性や子ども、性的マイノリティ、高齢者、外国人等）
10. 応急医療体制の充実
11. 救援ボランティアの受入れ態勢の充実
12. 広域的な災害時相互応援体制の充実
13. 誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備
14. 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の広報・啓発
15. 特にない
16. わからない
17. その他 { 具体的に： }

問 31 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。
(○は2つまで)

1. 交番の増設の要請
2. 交番への警察官の常時配置の要請
3. パトロールカーによる巡回の強化の要請
4. 防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実
5. 安全パトロールの充実
6. 町内会・自治会を中心にした自主防犯活動の充実
7. 小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実
8. 防犯講座の実施などによる市民の防犯意識の向上
9. 各種広報媒体を活用して各種団体等に情報提供を行うことによる防犯意識の高揚
10. 公共の場などへの防犯カメラの設置
11. 特にない
12. わからない
13. その他 { 具体的に： }

(15) 都市基盤

問 32 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。次の中から選んでください。
(○は2つまで)

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など） 2. バリアフリーのまちづくり 3. 公共施設の計画的整備 4. 道路の整備 5. 多摩都市モノレールの延伸 6. 公園の整備 | <ol style="list-style-type: none"> 7. 住宅環境の整備 8. 特にない 9. わからない 10. その他 { 具体的に： } |
|---|--|

問 33 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。次の中から選んでください。
(○は3つまで)

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策 2. 歩道の拡幅 3. 自転車通行帯の整備 4. 街路樹等の維持管理 5. 電線類の地中化 6. 交通騒音や大気汚染などの環境対策 7. 案内標識などの整備 8. 街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実 | <ol style="list-style-type: none"> 9. 狭あい道路の整備促進 10. 道路の改修（舗装補修） 11. 雨水排水処理対策 12. 特にない 13. わからない 14. その他 { 具体的に： } |
|--|--|

問 34 今後、活力に満ちたにぎわいのあるまちを目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な取組みを、次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 1. いろいろな業種の商店が集まるような取組み | 8. 駅前を明るくするような取組み |
| 2. 駅前でのイベントの実施 | 9. 官民連携によるまちづくり |
| 3. 駐車場や駐輪場の整備 | 10. 特にない |
| 4. 各商店の特徴がわかるような情報提供 | 11. わからない |
| 5. 空き店舗の活用 | 12. その他 |
| 6. 商業環境と住居環境の調和を図る取組み | 具体的に： |
| 7. 広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備 | |

(16) 生涯学習

問 35 あなたは、この1年間で、ご自身の「学び」に関する活動を行いましたか。(○は1つ)

1. はい

2. いいえ

問 35-3 に回答後、問 35-4 へ

【問 35 で「1. はい」と回答した方に伺います。】

問 35-1 あなたが「学び」を行っている目的はどれですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1. 趣味・楽しみのため | 6. 仲間づくりのため | 11. その他 |
| 2. 自身の向上のため | 7. ボランティアのため | 具体的に： |
| 3. 家事に役立てるため | 8. 地域活動のため | |
| 4. 仕事に必要なため | 9. 健康増進のため | |
| 5. 就職に生かすため | 10. 特に理由はない | |

【問 35 で「1. はい」と回答した方に伺います。】

問 35-2 あなたが行っている「学び」は、どのような分野ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|------------|----------|
| 1. 絵画・工芸 | 9. パソコン | 17. 経済 |
| 2. 音楽・映像 | 10. 地域活動 | 18. 法律 |
| 3. スポーツ | 11. ボランティア | 19. 福祉 |
| 4. 文学・読書 | 12. 子育て | 20. 消費生活 |
| 5. 歴史・民俗 | 13. 健康・食育 | 21. 国際関係 |
| 6. 語学 | 14. 人権・道徳 | 22. その他 |
| 7. 資格取得 | 15. 自然・環境 | 具体的に： |
| 8. 職業技能 | 16. 社会 | |

【問 35 で「2. いいえ」と回答した方に伺います。】

問 35-3 あなたが「学び」に取り組むとしたら、どのような目的で取り組んでみたいですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------------|--------|
| 1. 趣味・楽しみのため | 5. スポーツ・健康増進のため | 9. その他 |
| 2. 資格取得などのため | 6. 地域活動のため | 具体的に： |
| 3. ボランティア活動のため | 7. 特に理由はない | |
| 4. 仲間づくりのため | 8. わからない | |

【問 35 で「2. いいえ」と回答した方に伺います。】

問 35-4 あなたが「学び」に取り組まなかった理由は何ですか。 (○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 動機・熱意が不足していたから | 7. 必要な情報がなかったから |
| 2. 身近な活動機会がなかったから | 8. 家族や職場の理解がなかったから |
| 3. 身近な活動仲間がいなかったから | 9. 成果を活用する場がなかったから |
| 4. 身近な活動場所がなかったから | 10. 必要がなかったから |
| 5. 経済的なゆとりがなかったから | 11. その他 |
| 6. 時間的なゆとりがなかったから | 【具体的に： |

【全ての方に伺います。】

問 36 あなたは、この1年間において、本（一般書籍・小説・専門書・雑誌など）を、1か月あたり平均して何冊ぐらい読みましたか。次の中から選んでください。 (○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 10冊以上 | 5. 読んでいない | → 問 37 へ |
| 2. 6～9冊 | | |
| 3. 3～5冊 | | |
| 4. 1～2冊 | | |

【問 36 で「1」から「4」と回答した方に伺います。】

問 36-1 本を読む目的について、次の中からあなたの考えに一番近い項目を選んでください。 (○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 調べものをするため | 5. 心を豊かにするため |
| 2. 趣味の世界を広げるため | 6. 特にない |
| 3. 知識・教養を深めるため | 7. わからない |
| 4. 子どもに読み聞かせるため | |

【問 36 で「1」から「4」と回答した方に伺います。】

問 36-2 あなたは、読みたい本をどのようにして入手しますか。次の中から選んでください。 (○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 書店・コンビニで購入 | 6. 市外の図書館で借りる |
| 2. 古本屋で購入 | 7. 電子書籍 |
| 3. 通信販売で購入 | 8. その他 |
| 4. 家族や友人から借りる | 【具体的に： |
| 5. 羽村市図書館で借りる | |

【全ての方に伺います。】

問 37 あなたが、1年間に行ったスポーツ・運動の日数は、どのくらいですか。次の中から選んでください。

※運動には、競技スポーツのほか、散歩や徒歩での移動、ストレッチなど含みます。

(○は1つ)

1. 週に3日以上
2. 週に2日以上
3. 週に1日以上（1時間以上）
4. 週に1日以上（1時間未満）
5. ほとんどしない
6. 全くしない
7. その他

具体的に：

18 ページ「(17) あなた自身のことについて」へ

【問 37 で「6. 全くしない」以外を回答した方に伺います。】

問 37-1 あなたがスポーツや運動を行った理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。

(○はいくつでも)

1. 健康維持・増進のため
2. 楽しみや気分転換のため
3. 友人・仲間との交流のため
4. 運動不足の解消のため

5. 自己記録の向上のため

6. 特に理由はない

7. その他

具体的に：

【問 37 で「6. 全くしない」以外を回答した方に伺います。】

問 37-2 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の種目について、次の中から選んでください。

(○はいくつでも)

1. ウォーキング・散歩
2. 体操（ラジオ体操・エアロビクス・ストレッチ・ヨガ・ダンスなど）
3. ランニング・ジョギングなど
4. 水泳
5. 球技（野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・テニス・卓球・フィールドゴルフなど）
6. 武道（柔道・剣道・空手・弓道など）
7. サイクリング
8. その他

具体的に：

(17) あなた自身のことについて

次の F 1 ～ F 8 までの質問は、アンケートを分析するために必要ですので、必ずご記入ください。

【全ての方に伺います。】

F 1. あなたの性別をお伺いします。 (○は1つ)

1. 男	2. 女	3. 回答しない
------	------	----------

F 2. あなたの年齢をお伺いします。 (○は1つ)

1. 18～19 歳	4. 40～49 歳	7. 70 歳以上
2. 20～29 歳	5. 50～59 歳	
3. 30～39 歳	6. 60～69 歳	

F 3. 婚姻の有無 (○は1つ)

1. 配偶者あり（パートナーを含む）	3. 離別・死別
2. 未婚	4. 回答しない

F 4. あなたの職業（2つ以上の職業をお持ちのかたは主な方）をお答えください。 (○は1つ)

1. 農林漁業	}	家族従業者・自営業
2. 商工サービス業（工場、商店などの個人経営）		
3. 自由業（開業医、弁護士、作家、僧侶、塾の経営者など）		
4. 管理職（会社、官公庁、団体の課長以上）	}	勤め人
5. 事務職・専門技術職（事務員、教員、研究員、病院勤務医師など）		
6. 技能職・労務職（店員、工員、外交員、運転手など）		
7. 学生	}	無職
8. 主婦（夫） → F 5 へ		
9. 無職 → F 5 へ		
10. その他 [具体的に:]		

F 4で「1」から「7」と回答した方に伺います。】

F 4-1 あなたの通勤地、通学地についてお伺いします。 (○は1つ)

1. 自宅	4. 都内 23 区内
2. 羽村市内	5. 他県
3. 都内市町村	

【全ての方に伺います。】

F 5. あなたを含めたお宅の家族人数をお伺いします。(○は1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人 |
| 3. 3人 | 6. 6人以上 |

F 6. あなたは羽村市に住み始めて何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 3年未満 | 4. 10年以上 20年未満 |
| 2. 3年以上 5年未満 | 5. 20年以上 |
| 3. 5年以上 10年未満 | |

F 7. あなたのお住まいをお伺いします。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 持家（一戸建） | 6. 社宅、寮、公務員住宅 |
| 2. 持家（分譲マンション） | 7. 間借り |
| 3. 公営（都、市、公団）の賃貸住宅 | 8. その他 |
| 4. 借家（一戸建） | 【具体的に： |
| 5. 民間アパート、マンション | |

F 8. あなたのお住まいは、どちらですか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 神明台1～4丁目 |
| 2. 双葉町1～3丁目 |
| 3. 五ノ神1～4丁目 |
| 4. 富士見平1～3丁目・羽4131～4184・五ノ神番地 |
| 5. 緑ヶ丘1～5丁目 |
| 6. 栄町1～3丁目 |
| 7. 小作台1～5丁目 |
| 8. 羽西1～3丁目 |
| 9. 羽加美1～4丁目 |
| 10. 羽中1～4丁目 |
| 11. 羽東1～3丁目 |
| 12. 川崎1～4丁目 |
| 13. 玉川1～2丁目・羽690～744 |
| 14. 横田基地内 |

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて 令和7年7月18日（金） までにご投函ください。

令和7年9月発行

令和7年度 羽村市市政世論調査報告書

発 行

羽村市企画部秘書広報課

所在地：〒205 - 8601 東京都羽村市緑ヶ丘5丁目2番地1

TEL：042 - 555 - 1111（代表）

FAX：042 - 554 - 2921

URL：<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

調査委託

株式会社総合企画

所在地：〒111 - 0053 東京都台東区浅草橋1丁目7番2号 岩崎ビル4階

TEL：03 - 5829 - 6203

URL：<https://www.sogo-k.co.jp/>